



Information Technology

# 第10回情報科学技術フォーラム

## プログラム

FIT2011実行委員長・プログラム委員長ご挨拶	1
インフォメーション	2
交通案内図	3
函館バス時刻表(FIT2011臨時バス時刻表)	4
キャンパス図・会場図	6
各種イベントのご案内	9
プログラム(タイムテーブル)	10
講演論文集の内容	14
会場別スケジュール	15
イベント企画概要	17
展示会のご案内	37
査読付き論文について	38
一般講演プログラム	39
論文査読者一覧	66
委員会名簿	68

平成23年9月7日(水)～9日(金)  
函館大学・函館短期大学

懇親会 9月8日(木) 19:00より  
金森赤レンガ倉庫「金森ホール」

FIT2011本部 函館大学 1F 会議室  
臨時電話(FAX 兼用)0138-57-1116(会期中のみ)

【共催】



一般社団法人 情報処理学会  
Information Processing Society of Japan



社団法人 電子情報通信学会

The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

情報・システムソサイエティ (ISS) ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)  
Information and Systems Society Human Communication Group

【協賛】

函館大学・函館短期大学・公立はこだて未来大学

【後援】

函館市・函館国際観光コンベンション協会

## FIT2011 実行委員長・プログラム委員長 ご挨拶



FIT2011 実行委員会 委員長

高橋 修

公立はこだて未来大学 システム情報科学部情報アーキテクチャ学科 教授



FIT2011 プログラム委員会 委員長

井宮 淳

千葉大学 総合メディア基盤センター情報メディア教育研究部門 教授

今回の開催で10回目を迎えるFIT2011は、函館で開催いたします。例年通りの、船井業績賞受賞記念講演および研究会提案によるイベント企画セッションと査読付き論文・一般論文からなる通常の一般講演セッションに加えて、FIT創設10周年記念特別講演からなっています。

船井業績賞受賞記念講演は、2足歩行ロボット「ASIMO」の開発者である本田技術研究所基礎技術研究センター 主席研究員の広瀬真人氏に船井業績賞を贈呈し、ご講演を頂きます。また、FIT創設10周年記念特別講演は、粘菌の研究で「イグ・ノーベル賞」を受賞された公立はこだて未来大学複雑系知能学科教授の中垣俊之氏をご招待しご講演を頂きます。この2つの講演は、一般の方々にも広く聴講を頂きたいという主旨で無料公開講演といたしました。なお、査読付き論文を含む一般講演数は870件に達しております。

通常の一般講演セッションのプログラム編成には、情報処理学会研究会、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ研究専門委員会のご協力を頂きました。ここに各研究会、研究専門委員会のFIT開催に関するご協力に深く感謝いたします。

最後になりますが、会場をご提供頂いた函館大学様、函館短期大学様、並びに、開催地域全般の受け入れ体制準備、会場準備等、ご協力を頂きました公立はこだて未来大学の関係各位、函館市の関係各位に深く御礼申し上げます。

## インフォメーション

### ■総受付（インフォメーションコーナー）函館大学 1F 玄関

受付時間：7日（水）8:30-17:00 8日（木）8:30-17:00 9日（金）8:30-15:00  
各種受付、講演論文集・DVD-ROM 販売、問合せ窓口

### ■FIT2011 本部・手荷物預かり 函館大学 1F 会議室

臨時電話（FAX 兼用）0138-57-1116（会期中のみ）

### ■聴講参加費〔プログラム・参加章・DVD-ROM 付き〕（税込）

正会員：10,000 円 一般非会員：20,000 円 学生：無料（プログラム・参加章のみ）  
FIT 創設 10 周年記念特別講演・船井業績賞受賞記念講演 限定聴講参加（会員・非会員問わず）：無料（参加章のみ）

### ■講演論文集・DVD-ROM（税込）

講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：個人・法人共 57,000 円  
講演論文集各分冊：個人購入 12,000 円／法人購入 15,000 円  
講演論文集 DVD-ROM：個人購入 8,000 円／法人購入 55,000 円／学割会場販売：4,000 円  
\* DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

### ■懇親会

日時：9月8日（木）19:00-21:00  
会場：金森赤レンガ倉庫「金森ホール」  
参加費（税込）：一般（正会員・非会員）5,000 円 学生 2,000 円 一般講演座長または査読者 3,000 円  
\* FIT2011 会場の函館大学から懇親会会場までは送迎バスで移動いたします。送迎バス乗車場所は P. 6 のキャンパス図をご確認ください。送迎バス乗車の際には、懇親会参加章引換券をスタッフにご提示ください。

### ■お知らせ事項

#### [連絡掲示板]

FIT に関する周知および伝言等は、総受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意ください。各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

#### [インターネット接続コーナー（無線 LAN）]

利用可能エリア：函館大学 2F リラックスコーナー・3F 学生ホール・ラウンジ・リラックスコーナー  
函館短期大学 1F のコミュニケーションラウンジ  
ご希望の方は、FIT2011 総受付で利用申込書に必要事項をご記入のうえ、受付に提出してください。引き換えに利用案内をお渡し致します。なお電源の提供はしておりませんのでご了承ください。

#### [食堂]

函館大学 1F 食堂・喫茶 営業時間 11:00-14:00  
\* なお、函館大学 1F 学生ホールで 11:00～14:00 のあいだ、お弁当の販売もいたします。  
（みかど（幕の内弁当等）／ラッキーピエロ（ハンバーガー））

#### [喫煙について]

大学構内は指定の場所以外は禁煙です。喫煙場所は P. 6, 7 のキャンパス図をご確認ください。

#### [駐車場について]

一般参加者用の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。  
会場へは、公共交通機関等をご利用のうえ、お越しくださいますようお願いいたします。

#### [会場（函館大学）までの交通]

・函館駅周辺からは、市電、バスを乗り継ぎ 50 分程度  
・函館空港からは、タクシーで 10 分程度（バスの本数があまり多くありません）  
・タクシー会社 函館タクシー：0138-51-0168 道南ハイヤー：0138-46-1100  
北の星タクシー：0138-48-8171 金星函館ハイヤー：0138-41-6131

#### [観光案内]

函館市観光協会ならびに JTB のデスクが函館大学 1F 学生ホールにあります。

### ■今後の FIT・大会情報

・FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム  
会期：2012 年 9 月 4 日（火）～6 日（木） 会場：法政大学 小金井キャンパス  
・情報処理学会 第 74 回全国大会  
会期：2012 年 3 月 6 日（火）～8 日（木） 会場：名古屋工業大学  
・電子情報通信学会 2012 年総合大会  
会期：2012 年 3 月 20 日（火）～23 日（金） 会場：岡山大学

## 交通案内図



### ■ 函館空港から⇒会場

交通機関	区間	およその所要時間・料金
タクシーの場合	函館空港—函館大学	所要時間約 10 分・1,200 円程度
函館バス乗継の場合	函館バス：函館空港—湯倉神社前 「下車乗継」 函館バス：湯倉神社前—函館大学前	所要時間約 30 分・270 円

\* 空港から会場へ直行する場合、バスの本数があまり多くないのでタクシーのご利用をお勧めいたします。

### ■ 函館空港から⇒宿泊エリア

交通機関	区間	およその所要時間・料金
シャトルバス (函館タクシー(株))	函館空港—湯の川温泉—金堀町—函館駅前—函館国際ホテル—ベイエリア前—チサンランド函館	湯の川温泉 所要時間約 8 分 函館駅前 所要時間約 20 分

\* 飛行機のダイヤにあわせてシャトルバスの運行ダイヤも変更になります。  
シャトルバスの運行ダイヤなど詳しくは函館タクシー株式会社のページをご確認ください。

### ■ 主な宿泊エリアから⇒会場

宿泊エリア1：JR 函館駅周辺・函館山周辺		
交通機関	区間	およその所要時間・料金
函館バス(直行)の場合	函館バス：函館駅前—函館大学前	所要時間約 40 分・260 円
市電から函館バス乗継の場合	市電：函館駅前—湯の川 「下車乗継」 函館バス：湯倉神社前—函館大学前	所要時間約 50 分・280 円
タクシーの場合	タクシー：函館駅—函館大学	所要時間約 30 分・2,000 円程度

宿泊エリア2：五稜郭周辺		
交通機関	区間	およその所要時間・料金
函館バス(直行)の場合	函館バス：五稜郭—函館大学前	所要時間約 25 分・250 円
市電から函館バス乗継の場合	市電：五稜郭公園前—湯の川 「下車乗継」 函館バス：湯倉神社前—函館大学前	所要時間約 40 分・240 円
タクシーの場合	タクシー：五稜郭—函館大学	所要時間約 20 分・1,800 円程度

宿泊エリア3：湯の川温泉街		
交通機関	区間	およその所要時間・料金
徒歩から函館バス乗車の場合	徒歩：湯の川温泉街—湯倉神社前 「バス乗車」 函館バス：湯倉神社前—函館大学前	所要時間約 20 分・200 円
タクシーの場合	タクシー：湯の川温泉街—函館大学	所要時間約 10 分・900 円程度

\* 市電は5分間隔くらいの頻度で運行しております。

## 函館バス時刻表（通常便）

宿泊エリア⇒会場【行き】				
行き先：滝沢町（往路）				
系統番号：14番系統				
時間	函館駅前	五稜郭	湯倉神社前	函館大学前
6				
7	48			
8	24	01・37	18・54	24
9	08	21	38	00・44
10	21・48	34	16・50	56
11	16	01・29	17・45・46	23・51
12	56			
13	26	09・39	16・25・55	31
14	06	19	35・46	01・41
15	16	29	45	51
16	33	46		
17	23・49	36	03・53	09・59
18	23	02・36	18・25・52	24・58
19	33	46	02・50	
20	21	34		08・56
21				
この時間帯	7日～9日(8:00-10:00, 11:00-12:00)の3日間 湯倉神社前⇄函館大学前のバスは10分間隔のピストン運行			
この時間帯	7日(13:00-14:15) 湯倉神社前⇄函館大学前のバスは10分間隔のピストン運行			
この時間帯	8日(14:00-15:15) 湯倉神社前⇄函館大学前のバスは10分間隔のピストン運行			

会場⇒宿泊エリア【帰り】				
行き先：函館駅前（復路）				
系統番号：14番系統				
時間	函館大学前	湯倉神社前	五稜郭	函館駅前
6	(54)			
7	05・41	(03)・14・50	28	44
8	25	34	04・48	20
9	40	49		04
10	07・35	16・44	01・28・56	19・46
11				14
12	15・45	24・54	36	54
13	25	34	06・46	24
14	35	44	56	04
15	50	59		14
16	(09)・40	(18)・49	13	29
17	06・40	15・49	03・29	19・45
18	40	49	03	19・45
19	40	49	03	19
20	40	49	01	19
21				19
この時間帯	7日～8日(17:30-18:30) 湯倉神社前⇄函館大学前のバスは10分間隔のピストン運行			
この時間帯	9日(16:00-17:00) 湯倉神社前⇄函館大学前のバスは10分間隔のピストン運行			
( ) のバス	五稜郭、函館駅前 方面には行きません			

函館空港⇄湯倉神社前				
函館空港⇒湯倉神社前【行き】		時間	湯倉神社前⇒函館空港【帰り】	
函館空港	湯倉神社前		湯倉神社前	函館空港
00・31・40	13・44・53	8	30・41	43・54
20・30・55	33・43	9	20・37・56	33・50
30・55	08・43	10	40	09・53
30・55	08・43	11	09・16・27・41	22・29・40・54
05・30	08・18・34	12	16・45・52	29・58
00・30	13・43	13	14・21・45	03・27・34・58
00・25・30	13・38・43	14	16・27・41	29・40・54
20	33	15	15・36・56	28・49
00・30	13・43	16	40	09・53
30	43	17	20・27・39・56	33・40・52
11・30	24・43	18	51	09
30	43	19		04

## FIT2011 臨時バス時刻表 (増便時間帯)・バス停案内図

日	9月7日(水)		9月8日(木)		9月9日(金)	
発着	湯倉神社前発	函館大学着	湯倉神社前発	函館大学着	湯倉神社前発	函館大学着
朝便	8:05	8:15	8:05	8:15	8:05	8:15
	8:15	8:25	8:15	8:25	8:15	8:25
	8:25	8:35	8:25	8:35	8:25	8:35
	8:35	8:45	8:35	8:45	8:35	8:45
	8:45	8:55	8:45	8:55	8:45	8:55
	8:55	9:05	8:55	9:05	8:55	9:05
	9:05	9:15	9:05	9:15	9:05	9:15
	9:15	9:25	9:15	9:25	9:15	9:25
	9:25	9:35	9:25	9:35	9:25	9:35
	9:35	9:45	9:35	9:45	9:35	9:45
昼便	9:45	9:55	9:45	9:55	9:45	9:55
	9:55	10:05	9:55	10:05	9:55	10:05
	11:10	11:20	11:10	11:20	11:10	11:20
	11:20	11:30	11:20	11:30	11:20	11:30
	11:30	11:40	11:30	11:40	11:30	11:40
	11:40	11:50	11:40	11:50	11:40	11:50
	11:50	12:00	11:50	12:00	11:50	12:00
	13:00	13:10	14:00	14:10		
	13:10	13:20	14:10	14:20		
	13:20	13:30	14:20	14:30		
13:30	13:40	14:30	14:40			
13:40	13:50	14:40	14:50			
13:50	14:00	14:50	15:00			
14:00	14:10	15:00	15:10			
14:10	14:20	15:10	15:20			
発着	函館大学発	湯倉神社前着	函館大学発	湯倉神社前着	函館大学発	湯倉神社前着
夜便	17:20	17:30	17:20	17:30	15:50	16:00
	17:30	17:40	17:30	17:40	16:00	16:10
	17:40	17:50	17:40	17:50	16:10	16:20
	17:50	18:00	17:50	18:00	16:20	16:30
	18:00	18:10	18:00	18:10	16:30	16:40
	18:10	18:20	18:10	18:20	16:40	16:50
	18:20	18:30	18:20	18:30	16:50	17:00

【湯倉神社前バス停・FIT2011臨時バス停案内図】 ※湯の川駅からバス停のりばのご案内です。

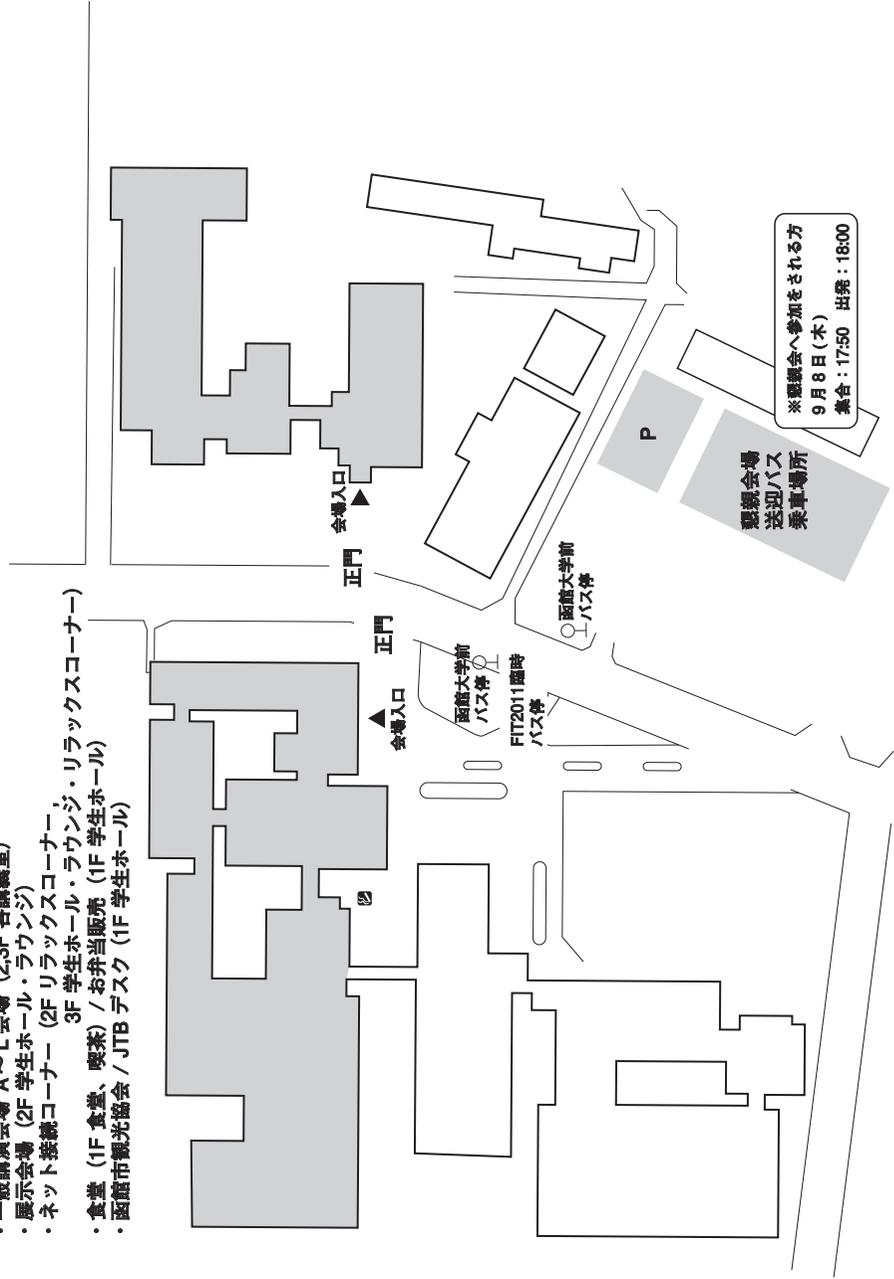


## 函館大学 キャンパス図

- FIT2011 総受付 (1F 玄関)
- FIT2011 本部 (1F 会議室)
- 第1 イベント会場 (2F 262 大講義室)
- 第2 イベント会場 (3F 301 講義室)
- 一般講演会場 A～L 会場 (2,3F 各講義室)
- 展示会場 (2F 学生ホール・ラウンジ)
- ネット接続コーナー (2F リラックスコーナー  
3F 学生ホール・ラウンジ・リラックスコーナー)
- 食堂 (1F 食堂、喫茶) / お弁当販売 (1F 学生ホール)
- 函館市観光協会 / JTB テラスク (1F 学生ホール)

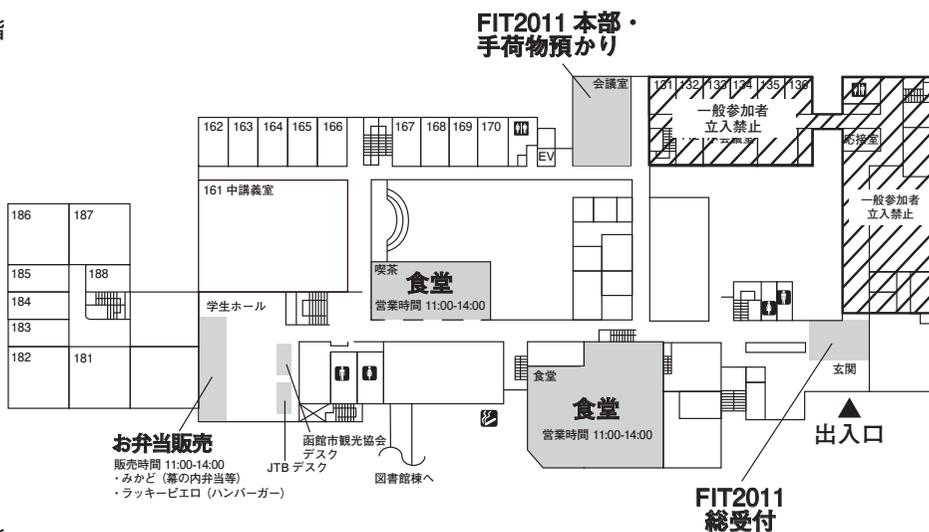
## 函館短期大学 キャンパス図

- 一般講演会場 M～W 会場 (2,3F 各講義室)
- ネット接続コーナー (1F コミュニケーションラウンジ)

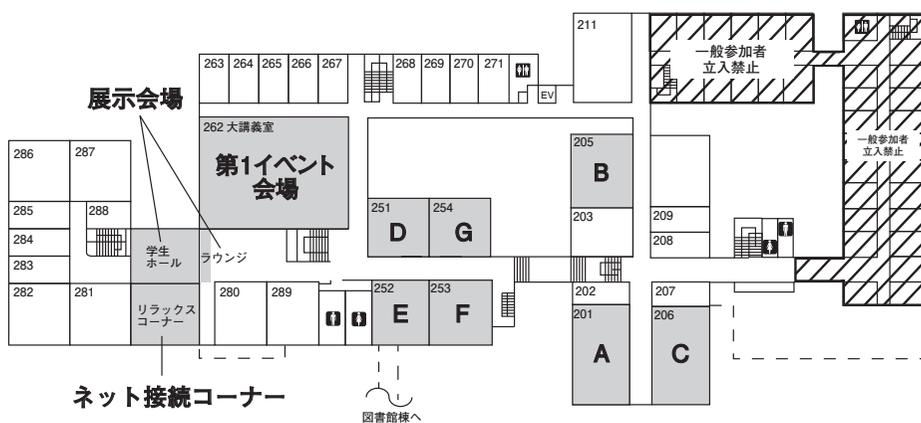


# 函館大学会場図

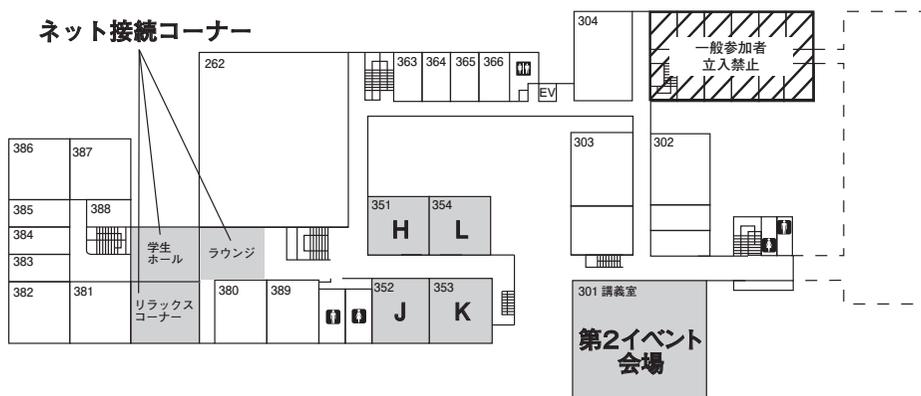
1 階



2 階

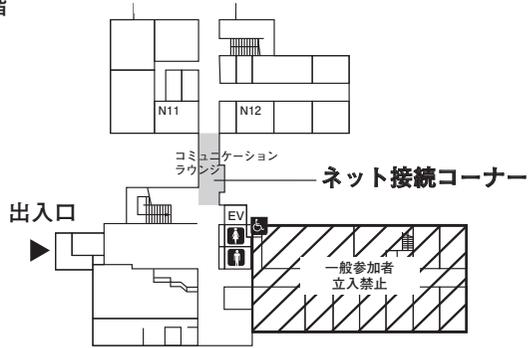


3 階

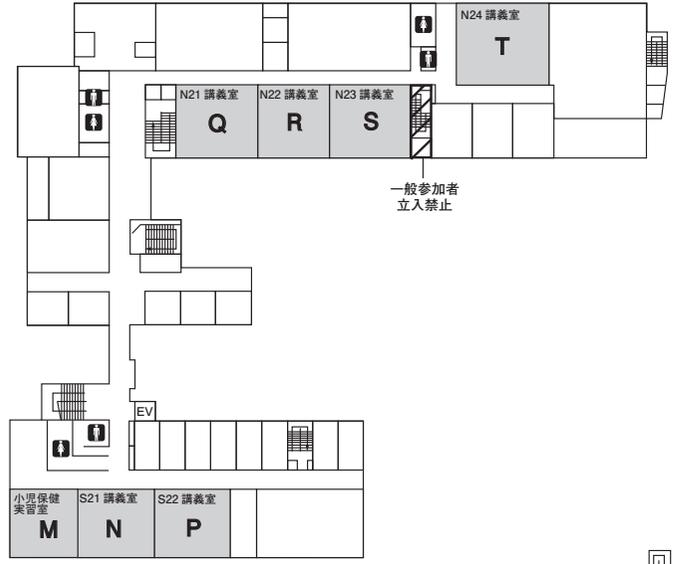


# 函館短期大学会場図

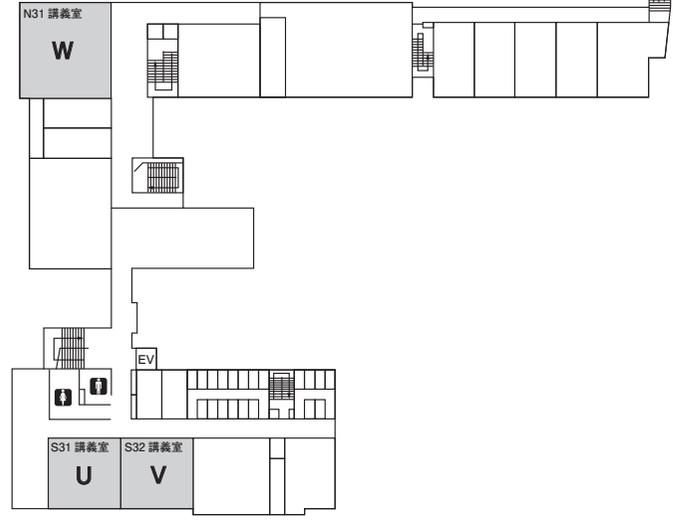
1階



2階



3階



## 各種イベントのご案内

### ■ FIT 創設 10 周年記念特別講演 7 日 (水) 13:00-14:15 [無料公開講演]

- 第 1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)  
 「粘菌の行動知 ～原始生命システムの自律分散情報処理～」  
 中垣 俊之 (公立はこだて未来大学 複雑系知能学科 教授)

### ■ 船井業績賞受賞記念講演 8 日 (木) 14:00-15:15 [無料公開講演]

- 第 1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)  
 「人との共存を目指すヒューマノイドロボットの開発  
 ～優しく頼もしいパートナーを目指して～」  
 広瀬 真人 (株式会社本田技術研究所 基礎技術研究センター 主席研究員)

### ■ FIT 学術賞表彰式 8 日 (木) 13:00-13:50

- 第 1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)  
 FIT2011 船井業績賞・船井ベストペーパー賞・論文賞 / FIT2010 ヤングリサーチャー賞

### ■ イベント企画

- 第 1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)
- ・ 7 日 9:30-11:50 やさしく分かる機械学習の最前線～データから意味を読み取る～
  - ・ 7 日 14:30-17:30 地域医療と異文化コラボレーション
  - ・ 8 日 9:30-12:00 サイバーテロの実情と対策～身近になりつつあるサイバーテロの脅威～
  - ・ 8 日 15:30-17:30 学習環境のクラウド化とパーソナル化
  - ・ 9 日 9:30-12:00 クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える
  - ・ 9 日 13:00-16:00 そこそこセキュリティ～必要なレベルで適切なセキュリティ対策を提供するには～
- 第 2 イベント会場 (函館大学 3F 講義室 301)
- ・ 7 日 9:30-12:00 気になる最近の計算幾何学の話題から
  - ・ 7 日 14:30-17:30 第 15 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
  - ・ 8 日 9:30-12:00 「サイバーフィジカル情報革命」～情報爆発から価値創造へ～
  - ・ 8 日 15:30-17:30 EMM が目指すマルチメディア情報処理の未来
  - ・ 9 日 9:30-11:30 実践が拓く情報処理の次なるステップ～デジタルプラクティスの試み～
  - ・ 9 日 13:00-15:50 サイバーワールドとリアルワールドとの接点～農業・漁業とサイバーワールド～

### ■ 展示会

- 展示会場：函館大学 2F 学生ホール・ラウンジ  
 展示期間：7 日 (水) ～ 9 日 (金) 9:30-17:00 \*9 日は 15:00 まで  
 出展企業・団体 (五十音順)
- ・ 株式会社エスイーシー
  - ・ NTT アドバンステクノロジー株式会社
  - ・ NTT ラーニングシステムズ株式会社
  - ・ 東日本電信電話株式会社

日	会場	第1イベント会場	第2イベント会場	展示会場
	時間	函館大学 2F 大講義室 262	函館大学 3F 講義室 301	函館大学 2F 学生ホール・ラウンジ
9 月 7 日 (水)	9:30	9:30-11:50	9:30-12:00	展示会 9:30 ~ 17:00
	1	やさしく分かる 機械学習の最前線 ～データから意味を読み取る～	気になる最近の 計算幾何学の話題から	
	12:00	P. 18	P. 27	
	13:00	13:00-14:15	/	
14:15	P. 17			
9 月 8 日 (木)	14:30	14:30-17:15	14:30-17:30	展示会 9:30 ~ 17:00
	2	地域医療と 異文化コラボレーション	第15回パターン認識・ メディア理解アルゴリズム コンテスト	
	17:30	P. 19	P. 29	
	9:30	9:30-12:00	9:30-12:00	
9 月 8 日 (木)	3	サイバーテロの実情と対策 ～身近になりつつある サイバーテロの脅威～	サイバーフィジカル情報革命 ～情報爆発から価値創造へ～	展示会 9:30 ~ 17:00
	12:00	P. 20	P. 30	
	13:00	13:00-13:50	/	
	13:50	FIT 学術賞 表彰式		
	14:00	14:00-15:15		
15:15	P. 17	15:30-17:30	15:30-17:30	
9 月 9 日 (金)	4	学習環境の クラウド化とパーソナル化	EMM が目指す マルチメディア情報処理の未来	展示会 9:30 ~ 15:00
	17:30	P. 21	P. 31	
	9:30	9:30-12:00	9:30-11:30	
	5	クラウド時代における 知的社会基盤の サステナビリティを考える	実践が拓く 情報処理の次なるステップ ～デジタルプラクティスの試み～	
9 月 9 日 (金)	12:00	P. 23	P. 32	展示会 9:30 ~ 15:00
	13:00	13:00-16:00	13:00-15:50	
9 月 9 日 (金)	6	そこそこセキュリティ ～必要なレベルで適切な セキュリティ対策を提供するには～	サイバーワールドと リアルワールドとの接点 ～農業・漁業とサイバーワールド～	展示会 9:30 ~ 15:00
	16:00	P. 25	P. 35	

# プログラム (タイムテーブル)

A	B	C	D	E	F	G
函館大学 2F 201  数理モデル化と 問題解決 (1)  小林 聡 (電通大)  A 分野 P. 39	函館大学 2F 205  テスト・検証  岸 知二 (早大)  B 分野 P. 40	函館大学 2F 206  OS・ストレージ  早坂 光雄 (日立)  B 分野 P. 41	函館大学 2F 251  システム設計  吉田 浩章 (東大)  C 分野 P. 42	函館大学 2F 252  クラスタリング  鈴木 優 (名大)  D 分野 P. 43	函館大学 2F 253  生成・対話・ 知識獲得  田村 直良 (横浜国大)  E 分野 P. 44	函館大学 2F 254  エージェント  松原 繁夫 (京大)  F 分野 P. 46
/	/	/	/	/	/	/
アルゴリズム・コン ピューテーション (1)  大館 陽太 (東北大)  A 分野 P. 39	ソフトウェア アーキテクチャ  山本里枝子 (富士通研)  B 分野 P. 40	並列分散・ 仮想化技術  大谷 真 (湘南工科大)  B 分野 P. 41	組み込みシステム  中本 幸一 (兵庫県大)  C 分野 P. 42	データベース システム  横山 昌平 (静岡大)  D 分野 P. 43	感情・評判  鈴木 基之 (徳島大)  E 分野 P. 45	知識処理  大須賀昭彦 (電通大)  F 分野 P. 46
プログラミングと 数理モデル  伊藤 恵 (はこだて未来大)  A 分野 P. 39	開発支援・ プロジェクト管理  白銀 純子 (東京女子大)  B 分野 P. 40	計算機アーキテク チャと並列処理  窪田 昌史 (広島市大)  C 分野 P. 41	情報・映像推薦  牛尼 剛聡 (九大)  D 分野 P. 43	情報抽出・検索  森 辰則 (横浜国大)  E 分野 P. 44	音楽情報科学 (MUS)  平田 圭二 (はこだて未来大)  E 分野 P. 45	パタン識別  片上 大輔 (東京工芸大)  F 分野 P. 46
/	/	/	/	/	/	/
アルゴリズム・コン ピューテーション (2)  喜田 拓也 (北大)  A 分野 P. 39	デジタルドキュメ ント・ソフトウェ アサイエンス 神谷 年洋 (はこだて未来大)  B 分野 P. 40	デイペンダブル システム  米田 友洋 (NII)  C 分野 P. 42	ストレージと検索  中野美由紀 (東大)  D 分野 P. 43	言語資源  梅基 宏 (富士ゼロックス)  E 分野 P. 44	言語分析・多言語  乾 孝司 (筑波大)  E 分野 P. 45	情報推薦  栗原 聡 (阪大)  F 分野 P. 46
数理モデル化と 問題解決 (2)  當間 愛晃 (琉球大)  A 分野 P. 39	ソフトウェア サイエンス  樋口 昌宏 (近畿大)  B 分野 P. 41	リコンフィギャラ ブルシステムと応用  長名 保範 (琉球大)  C 分野 P. 42	情報アクセス支援  森 辰則 (横浜国大)  D 分野 P. 43	音声・音響の 分析・生成  森 大毅 (宇都宮大)  E 分野 P. 44	応用  荒木 健治 (北大)  E 分野 P. 45	複雑系及び一般  菅原 俊治 (早大)  F 分野 P. 46
アルゴリズム・コン ピューテーション (3)  藤岡 薫 (九大)  A 分野 P. 40	GPGPU  山口 実靖 (工学院大)  B 分野 P. 41	コンピュータ システム  天野 英晴 (慶大)  C 分野 P. 42	Web とソーシャ ルメディア  酒井 哲也 (Microsoft)  D 分野 P. 43	音声言語処理  西村 竜一 (和歌山大)  E 分野 P. 44	分類  大塚 裕子 (はこだて未来大)  E 分野 P. 45	Web 情報処理  大須賀昭彦 (電通大)  F 分野 P. 47

日	会場	H	J	K	L	M	N	P
	時間	函館大学 3F 351	函館大学 3F 352	函館大学 3F 353	函館大学 3F 354	函館短期大学 2F 小児保健実習室	函館短期大学 2F S21	函館短期大学 2F S22
9 月 7 日 (水)	9:30	知能システム  大平 茂輝 (名大)  F 分野 P. 47	人物検出・ 移動検知  子安 大士 (埼玉大)  H 分野 P. 49	光源・照明  玉木 徹 (広島大)  H 分野 P. 50	画像測定・ 検出  如澤 裕尚 (NTT)  I 分野 P. 51	アートと デザイン  高井 昌彰 (北大)  I 分野 P. 52	セキュリティ・ 電子透かし  松田 一朗 (東理大)  I 分野 P. 53	HIP (1)  渋谷 進 (大学評価・学 位授与機構)  J 分野 P. 55
	12:00	/						
	13:00	/						
	14:15	/						
9 月 8 日 (木)	14:30	学習とゲーム  竹内 一郎 (名工大)  F 分野 P. 47	一般物体認識  内田 祐介 (KDDI 研)  H 分野 P. 49	文字認識  田中 宏 (富士通研)  H 分野 P. 50	エンタテイン メント  戸田 真志 (はこだて未来大)  I 分野 P. 51	画像符号化 (1)  久保田 彰 (中大)  I 分野 P. 52	HCI (1)  三浦 元喜 (九工大)  J 分野 P. 54	HIP (2)  大西 仁 (放送大)  J 分野 P. 55
	17:30	/						
	9:30	医用画像  早川 吉彦 (北見工大)  G 分野 P. 47	3次元処理  近藤 一晃 (京大)  H 分野 P. 49	動作解析  島田 伸敬 (立命館大)  H 分野 P. 50	超解像  松本 信幸 (東芝)  I 分野 P. 51	画像符号化 (2)  浜本 隆之 (東理大)  I 分野 P. 52	HCI (2)  真鍋 宏幸 (NTT ドコモ)  J 分野 P. 54	HIP (3)  大野 健彦 (NTT)  J 分野 P. 55
	12:00	/						
9 月 8 日 (木)	13:00	/						
	13:50	/						
	14:00	/						
	15:15	/						
9 月 9 日 (金)	15:30	ニューロンコ ンピューティング・ 身体性情報学 岡田 真人 (東大)  G 分野 P. 47	特定物体認識  堀田 一弘 (名城大)  H 分野 P. 49	映像解析  新田 直子 (阪大)  H 分野 P. 50	画像補正  市ヶ谷敦郎 (NHK放送技研)  I 分野 P. 52	画像検索・認識  三須 俊枝 (NHK放送技研)  I 分野 P. 53	HCI (3)  井原 雅行 (NTT)  J 分野 P. 54	HIP (4)  金子 寛彦 (東工大)  J 分野 P. 55
	17:30	/						
	9:30	MEとバイオサイ バネティックス  吉田 正樹 (大阪電通大)  G 分野 P. 48	顔・ジェスチャ  椋木 雅之 (京大)  H 分野 P. 49	ITS・リモート センシング  奥村 文洋 (豊田中研)  H 分野 P. 51	形状モデリング  藤代 一成 (慶大)  I 分野 P. 52	雑音除去・ 画像復元  坂東 幸浩 (NTT)  I 分野 P. 53	HCS (1)  岡崎 哲夫 (北海道工大)  J 分野 P. 54	HCI (4)  笹間 亮平 (NEC)  J 分野 P. 56
	12:00	/						
9 月 9 日 (金)	13:00	バイオ情報学  関嶋 政和 (東工大)  G 分野 P. 48	AR・VR・生物  北原 格 (筑波大)  H 分野 P. 50	ホログラム  藤井 俊彰 (名大)  I 分野 P. 51	映像時空間処理  岡谷 貴之 (東北大)  I 分野 P. 52	画像処理応用  高村 誠之 (NTT)  I 分野 P. 53	HCS (2)  森島 繁生 (早大)  J 分野 P. 54	HIP (5)  繁樹 博昭 (高知工科大)  J 分野 P. 56
	16:00	/						

# プログラム (タイムテーブル)

Q 函館短期大学 2F N21	R 函館短期大学 2F N22	S 函館短期大学 2F N23	T 函館短期大学 2F N24	U 函館短期大学 3F S31	V 函館短期大学 3F S32	W 函館短期大学 3F N31
教育工学 (1) 中村 勝一 (福島大) K 分野 P. 56	作業・理学療法のための福祉情報工学 酒向 慎司 (名工大) K 分野 P. 57	通信制御 渡辺 健次 (佐賀大) L 分野 P. 59	携帯端末アプリケーション 荒川 豊 (九大) M 分野 P. 60	コンテンツ配信・流通 白石 陽 (はこだて未来大) M 分野 P. 61	コンピュータと教育 (1) 土肥 紳一 (電機大) N 分野 P. 62	業務プロセス・システム 野地 保 (東海大) O 分野 P. 64
/	/	/	/	/	/	/
教育工学 (2) 小尻 智子 (関西大) K 分野 P. 56	マルチメディア・仮想環境基礎 天目 隆平 (産総研) K 分野 P. 57	セキュリティ運用管理 須賀 祐治 (IIJ) L 分野 P. 59	実環境センシング 植原 啓介 (慶大) M 分野 P. 60	作業支援ほか 高井 昌彰 (北大) M 分野 P. 61	コンピュータと教育 (2) 中野 由章 (大阪電通大) N 分野 P. 63	安心・安全 清水 明宏 (高知工大) O 分野 P. 64
/	/	/	/	/	/	/
教育工学 (3) & 福祉情報工学 若月 大輔 (筑波技術大) K 分野 P. 56	高機能マルチメディア 青木 直史 (北大) K 分野 P. 58	仮想化・クラウド・データセンター 松本 直人 (さくらインターネット) L 分野 P. 59	機器操作 大内 一成 (東芝) M 分野 P. 60	位置情報とセンサネットワーク 白石 陽 (はこだて未来大) M 分野 P. 62	電子化知的財産・社会基盤 井出 明 (追手門学院大) N 分野 P. 63	情報検索 谷本 茂明 (千葉工大) O 分野 P. 64
/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/
サイバーワールド (1) 宮崎 勝 (NHK 放送技研) K 分野 P. 57	人間支援のためのセンシングとマルチメディア 蔵田 武志 (産総研) K 分野 P. 58	暗号・認証プロトコル 浅野 智之 (ソニー) L 分野 P. 59	地理情報とナビゲーションシステム 屋代 智之 (千葉工大) M 分野 P. 60	人文科学とコンピュータ 関野 樹 (総合地球環境学研) N 分野 P. 62	コンテンツ分析・配信 関 良明 (NTT) O 分野 P. 63	モデリング・一般 西 宏之 (崇城大) O 分野 P. 64
/	/	/	/	/	/	/
教育工学 (4) 渡辺 健次 (佐賀大) K 分野 P. 57	サイバーワールド (2) 井原 雅行 (NTT) K 分野 P. 58	バイオメトリクス 朴 美娘 (神奈川工大) L 分野 P. 59	高度交通システム 屋代 智之 (千葉工大) M 分野 P. 61	教育学習支援情報システム (1) 渡辺 博芳 (帝京大) N 分野 P. 62	情報発信・プレゼンテーション 大場みち子 (はこだて未来大) O 分野 P. 63	ライフログ・レコメンデーション 柿崎 淑郎 (東理大) O 分野 P. 64
/	/	/	/	/	/	/
教育工学 (5) 宮寺 庸造 (東京学芸大) K 分野 P. 57	生活支援のための福祉情報工学 大倉 典子 (芝浦工大) K 分野 P. 58	可視化・認証セキュリティ・TE 山井 成良 (岡山大) L 分野 P. 60	行動パターン分析 横山 浩之 (KDDI 研) M 分野 P. 61	教育学習支援情報システム (2) 山川 修 (福井県大) N 分野 P. 62	センサー・環境 畑山 満則 (京大) O 分野 P. 63	Web サービス・クラウド 梶田 将司 (名大) O 分野 P. 65

## 講演論文集の内容

発行日 平成 23 年 8 月 22 日

### 講演論文集 第 1 分冊

#### 査読付き論文

分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング

分野 B：ソフトウェア

分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

#### 一般論文

分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング

分野 B：ソフトウェア

分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

### 講演論文集 第 2 分冊

#### 査読付き論文

分野 D：データベース

分野 E：自然言語・音声・音楽

分野 F：人工知能・ゲーム

分野 G：生体情報科学

#### 一般論文

分野 D：データベース

分野 E：自然言語・音声・音楽

分野 F：人工知能・ゲーム

分野 G：生体情報科学

### 講演論文集 第 3 分冊

#### 査読付き論文

分野 I：グラフィクス・画像

分野 J：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

#### 一般論文

分野 H：画像認識・メディア理解

分野 I：グラフィクス・画像

分野 J：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

### 講演論文集 第 4 分冊

#### 査読付き論文

分野 L：ネットワーク・セキュリティ

分野 M：ユビキタス・モバイルコンピューティング

分野 N：教育・人文科学

分野 O：情報システム

#### 一般論文

分野 L：ネットワーク・セキュリティ

分野 M：ユビキタス・モバイルコンピューティング

分野 N：教育・人文科学

分野 O：情報システム

### 講演論文集 DVD-ROM

上記全論文およびプログラムを収録（著者、所属、キーワードによる索引付き）

# 会場別スケジュール

第1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)			
日	時間	内 容	
9月	やさしく分かる機械学習の最前線 ～データから意味を読み取る～		
	9:30-9:35	オープニング	
	9:35-10:20	講演1「隠れた構造をあぶり出す ～トピックモデルを用いた潜在意味解析～」 岩田具治 (NTT)	
	10:20-11:05	講演2「こんなに使える最適化手法」 梅谷俊治 (阪大)	
	11:05-11:50	講演3「自然画像の事前確率分布を応用した画質改善」 田中正行 (東工大)	
	FIT 創設 10 周年記念特別講演 [無料公開講演]		
	13:00-14:15	粘菌の行動知 ～原始生命システムの自律分散情報処理～ 中垣 俊之 (公立はこだて未来大学 複雑系知能学科 教授)	
7日	地域医療と異文化コラボレーション		
	14:30-14:45	オープニング	
	14:45-15:30	講演1「医療情報の利活用の拡大と地域見守り推進事業」 山本隆一 (東大)	
	(水)	15:30-16:15	講演2「シームレスな医療・介護連携の実現に向けて ～地域見守り型サービスを通じた連携文化の育成～」 高橋肇 (特定医療法人社団 高橋病院)
		16:15-16:45	講演3「診察室における電子カルテとコミュニケーション ～大規模病院と診療所の事例から～」 南部美砂子 (はこだて未来大)
		16:45-17:15	講演4「精神保健にとってなぜ地域医療が必然なのか ～多くの人を巻き込む多相的コミュニケーションへのいざない～」 榎本美香 (東京工科大)
サイバーテロの実情と対策 ～身近になりつつあるサイバーテロの脅威～ [パネルセッション]			
9:30-12:00	司 会：松浦幹太 (東大) パネリスト：寺田真敏 (日立)、齋藤衛 (IIJ)、杉浦芳樹 (NTT)		
9月	FIT 学術賞 表彰式		
	13:00-13:50	FIT 推進委員長 挨拶	
		FIT2010 ヤングリサーチャー賞 表彰式	
		FIT2011 論文賞 表彰式	
		財団法人 船井情報科学振興財団 挨拶	
		FIT2011 船井ベストペーパー賞 表彰式	
		FIT2011 船井業績賞 表彰式	
8日	FIT2011 船井業績賞受賞記念講演 [無料公開講演]		
14:00-15:15	人との共存を目指すヒューマノイドロボットの開発 ～優しく頼もしいパートナーを目指して～ 広瀬 真人 (株式会社本田技術研究所 基礎技術研究センター 主席研究員)		
(木)	学習環境のクラウド化とパーソナル化		
	15:30-15:35	趣旨説明	
	15:35-15:50	講演1「教育・学習環境のパーソナル化のための PC 必携化」 藤村直美 (九大)	
	15:50-16:05	講演2「明治大学版 VCL システムの導入とその利用について」 齋藤孝道 (明大)	
	16:05-16:20	講演3「静岡大学における学内情報システムのクラウド化とその効果」 長谷川孝博 (静岡大)	
	16:20-16:35	講演4「東海アカデミッククラウドの実装と課題」 松尾啓志 (名工大)	
	16:35-16:50	講演5「クラウド時代における教育学習情報環境と標準化」 梶田将司 (名大)	
	16:50-17:30	パネル討論 司 会：竹村治雄 (阪大) パネリスト：藤村直美 (九大)、齋藤孝道 (明大)、長谷川孝博 (静岡大)、松尾啓志 (名工大)、梶田将司 (名大)	
	9月	クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える	
		9:30-9:35	オープニング
9:35-10:05		講演1「永続されるべき価値とはなにか ～クラウド化が迫る社会的価値選択～」 松王政浩 (北大)	
10:05-10:35		講演2「スマート・クラウド戦略の最新動向」 寺岡秀礼 (総務省)	
10:35-11:05		講演3「クラウド・コンピューティングのリスクと法的課題」 町村泰貴 (北大)	
11:05-11:35		講演4「クラウド時代におけるマルチエージェントシステム」 櫻井祐子 (九大)	
9日		11:35-12:00	パネル討論 司 会：金子格 (東京工芸大) パネリスト：松王政浩 (北大)、寺岡秀礼 (総務省)、町村泰貴 (北大)、櫻井祐子 (九大)
		そこそこセキュリティ ～必要なレベルで適切なセキュリティ対策を提供するには～	
		13:00-13:05	オープニング
(金)		13:05-13:35	講演1「企業が期待する「適切」なセキュリティ」大西克美 (日本 IBM)
	13:35-14:05	講演2「そこそこセキュリティを達成するために必要なことをどう担保するか？」 神田雅透 (IPA)	
	14:05-14:35	講演3「最適なセキュリティを提供するセキュリティアーキテクチャに向けて」 松尾真一郎 (NICT)	
	14:45-16:00	パネル討論 「「そこそこセキュリティ」ってなんだ？」	
		司 会：金岡晃 (筑波大) パネリスト：大西克美 (日本 IBM)、神田雅透 (IPA)、松尾真一郎 (NICT)、小川隆一 (NEC)、齋藤衛 (IIJ)、二木真明 (住商情報システム)	

第2イベント会場 (函館大学 3F 講義室 301)		
日	時間	内容
9月7日 (水)	気になる最近の計算幾何学の話題から	
	9:30-9:40	オープニング (全体挨拶と講師の紹介)
	9:40-10:20	講演1「計算幾何学問題に対する省メモリアルゴリズム」 浅野哲夫 (北陸先端大)
	10:30-11:10	講演2「計算幾何学における離散幾何図形」 今井桂子 (中央大)
	11:20-12:00	講演3「アルゴリズム設計と幾何学: 数学の成果を利用したアルゴリズム」 徳山豪 (東北大)
	第15回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト	
	14:30-14:35	開会挨拶 山田敬嗣 (NEC)
14:35-15:00	概要説明・審査結果発表・入賞者表彰	
15:00-16:30	入賞者によるアルゴリズム紹介	
16:30-17:30	講演「ジェスチャインターフェースの過去・現在・未来」 島田伸敬 (立命館大)	
9月8日 (木)	サイバーフィジカル情報革命～情報爆発から価値創造へ～	
	9:30-10:15	講演1「Big Dataとサイバーフィジカル」 喜連川優 (東大)
	10:15-11:00	講演2「統合情報基盤としてのサイバー・フィジカル・システムにおけるオープン・スマート・フェデレーション」 田中譲 (北大)
11:15-12:00	講演3「ポストベタスケール時代の情報分析技術」 森本典繁 (日本IBM)	
EMMが目指すマルチメディア情報処理の未来 [パネルセッション]		
15:30-17:30	司会: 馬場口登 (阪大) パネリスト: 青木直史 (北大), 岩村恵市 (東理大), 越前功 (NII), 新見道治 (九工大), 西村明 (東京情報大), 西村竜一 (NICT), 日置尋久 (京大)	
9月9日 (金)	実践が拓く情報処理の次なるステップ～デジタルプラクティスの試み～	
	9:30-9:40	オープニング
	9:40-9:55	講演1「なぜ企業の技術者が論文を書くのか」 丸山宏 (情報・システム研究機構)
	9:55-10:10	講演2「論文という形式を守ることの意味」 平田圭二 (はこだて未来大)
	10:10-10:25	講演3「論文の書ける基幹人材を育成する」 諏訪良武 (ワクコンサルティング)
	10:25-10:40	講演4「編集員も汗をかきます!!～デジタルプラクティスの論文の質の向上に向けて～」 中田登志之 (NEC)
	10:50-11:30	パネル討論「情報技術者にとってのデジタルプラクティスの意義と位置付け」 司会: 平田圭二 (はこだて未来大) パネリスト: 丸山宏 (情報・システム研究機構), 諏訪良武 (ワクコンサルティング), 中田登志之 (NEC), 田中秀樹 (グリー), 下間芳樹 (IPSI)
サイバーワールドとリアルワールドとの接点～農業・漁業とサイバーワールド～		
13:00-13:50	講演1「情報技術と農業・漁業」 松原仁 (はこだて未来大)	
14:00-14:50	講演2「農林水産研究支援の現場からー研究と研究成果を支える基盤構築」 林賢紀 (農水省)	
15:00-15:50	講演3「BIGLOBEの農業ICTへの取り組み」 明石剛 (NEC ビッグロープ)	

一般講演会場 (函館大学 2, 3F 各講義室 (A～L会場) (函館短期大学 2, 3F 各講義室 (M～W会場))	
7日 (水) 9:30～12:00, 14:30～17:30	8日 (木) 9:30～12:00, 15:30～17:30
9日 (金) 9:30～12:00, 13:00～16:00	

展示会 (函館大学 2F 学生ホール・ラウンジ)	
7日 (水)・8日 (木) 9:30～17:00	9日 (金) 9:30～15:00

懇親会会場 (金森赤レンガ倉庫「金森ホール」)	
8日 (木) 19:00～21:00	
* FIT2011 会場の函館大学から懇親会場までは送迎バスで移動します。懇親会へ参加を希望される方は、「懇親会参加章引換券」をご持参頂き、集合時間に送迎バス乗車場所にお越しください。	
* 送迎バス乗車場所はキャンパス図をご確認ください。	
* 送迎バス乗車集合日時: 8日 (木) 17:50 (送迎バス出発時間 18:00)	

## イベント企画概要

### FIT 創設 10 周年記念特別講演 [無料公開講演] 粘菌の行動知 ～原始生命システムの自律分散情報処理～ 9月7日(水) 13:00-14:15 [第1イベント会場(函館大学 2F 大講義室 262)]

#### [講演概要]

単細胞生物である粘菌(モジホコリ)の情報処理能力についてお話しします。細胞は最もシンプルな生きシステムですから、生き物としての根源的な性質を調べるには利点もありましょう。数億年も生き延びていますから、侮るべきではありません。粘菌の賢さはどれほどなのか?また、その賢さをもたらす「からくり」とはどのようなものなのか?三つのトピックス、

- (1) 迷路などの幾何学的なパズルを解く、
- (2) 周期的な環境変動を学習して思い出す、
- (3) 個性や逡巡とおぼしき行動を示す、

ことについてお話しします。情報処理の「生き物らしさ」について考えます。参考図書:「粘菌 -その驚くべき知性-」中垣俊之、PHPサイエンスワールド新書。



中垣 俊之(公立ほこだて未来大学 複雑系知能学科 教授)

1987年北海道大学薬学部卒業、ファイザー製薬(株)中央研究所勤務の後、1997年名古屋大学大学院人間情報学研究科博士課程修了(学術博士)。理化学研究所をへて、2000年北海道大学電子科学研究所准教授、2010年より現職。その間、オックスフォード大学数学研究所などに留学。イグノーベル賞、函館市長賞、NHK【爆笑問題の日本の教養】爆ノーベル賞など受賞。

### FIT2011 船井業績賞受賞記念講演 [無料公開講演] 人との共存を目指すヒューマノイドロボットの開発 ～優しく頼もしいパートナーを目指して～ 9月8日(木) 14:00-15:15 [第1イベント会場(函館大学 2F 大講義室 262)]

#### [講演概要]

1986年から今までにない全く新しい価値の創造を目指して、人間型ロボットの研究開発を進めている。目標は、人の生活空間で共存できパートナーとなるロボットであり、人と話し共に歩き、作業をするなど、知的・身体的能力を高次元で併せ持つ機械である。基本的な技術である二足歩行機能の実現に着手し、1996年には人間型ロボット「P2」を発表した。研究開始当時は、人間のように2本足で歩くことは非常に困難と言われていたが、物理的に安定な静歩行、人間の歩行をベースにした駆動機構により動的な歩行に挑戦し実現、基礎技術を完成した。その開発経緯を話すとともに「ASIMO」の開発、現在抱えている課題や解決策について述べる。



広瀬 真人(株式会社本田技術研究所 基礎技術研究センター 主席研究員)

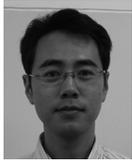
1956年栃木県生まれ。1980年宇都宮大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了。同年日立精工株式会社入社後、自動製図機などの設計に従事。1986年(株)本田技術研究所に入社。以来一貫して人間型ロボットの研究開発に従事し、プロジェクトリーダーとして1996年には完全自立人間型ロボット「P2」、2000年11月にASIMOを発表。2009年主席研究員に就任し現在に至る。

## やさしく分かる機械学習の最前線 ～データから意味を読み取る～ 9月7日(水) 9:30-11:50 [第1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)]

### [セッション概要]

観測データのよりよい扱い方を求めて悩む全ての皆様を対象とした、やさしく分かる機械学習のチュートリアル企画です。機械学習技術は、画像、自然言語、音楽、自動システムログ、生命情報などを扱う多くの研究分野に応用の幅を拡大し続けています。日々産み出される大量のデータの裏に隠れる「意味」を見出したいというニーズは、科学技術に関わるあらゆる分野に共通するものであるからです。しかし、機械学習の方法は高度な数理統計理論や計算技術に支えられており、理解して使用するまでに至るハードルの高いものと思われがちです。

そこで本チュートリアル企画では、機械学習応用の威力を世界に示し続けている気鋭の若手研究者3名に「データから意味を読み取る」をテーマにわかりやすく話してもらいます。大規模実データを目の前にして、何を考えればよいか悩む実務家、学生の方々に、機械学習応用への入り口を見つけてもらうことを狙います。



#### 司会：大羽 成征 (京大)

京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻講師。2002年 奈良先端情報学研究科博士後期課程修了。博士(工学)2003年同助手。2008年より現職。2008年よりJST さきがけ研究者兼任。統計的バイオフィンマティクスとくに超多重検定とその応用に興味を持っている。電子情報通信学会、情報処理学会各会員。

#### ● [9:30-9:35] オープニング

#### ● [9:35-10:20] 講演 (1) 「隠れた構造をあぶりだす ～トピックモデルを用いた潜在意味解析～」

### [講演概要]

私たちのまわりには膨大な情報があふれており、その中から有益な知識を取り出すことは、重要な研究課題となっています。トピックモデルを用いることにより、重要で特徴的な構造を発見し理解することが可能になります。トピックモデルとは、文書が潜在意味(トピック)に基づいて生成される過程を表現した確率モデルです。本講演では、基本となるモデルについて解説した後、トピックモデルを用いた時系列文書、ソーシャルデータ、ファッション画像等の解析について紹介します。



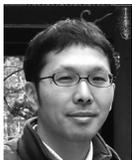
#### 岩田 具治 (NTT)

2001年 慶大・環境情報卒。2003年 東大大学院・総合文化修士課程了。同年 NTT 入社。2008年 京大大学院・情報学博士課程了。博士(情報学)。現在、NTT コミュニケーション科学基礎研究所研究員。機械学習、データマイニング、情報可視化の研究に従事。2004年 船井ベストペーパー賞、2009年 情報処理学会論文誌論文賞等受賞。電子情報通信学会、情報処理学会各会員。

#### ● [10:20-11:05] 講演 (2) 「こんなに使える最適化手法」

### [講演概要]

最近、産業や学術における多くの現実問題が最適化問題として定式化できることが認識されるようになり、大規模かつ複雑な最適化問題を現実的な計算時間で解く需要が急速に高まっています。一方で、最適化手法の進歩と計算機の性能向上が相まって、これらの計算困難な最適化問題が現実的な計算時間で解けるようになり、最適化手法はその応用範囲と規模を拡大し続けています。本講演では「こんな問題が本当に最適化手法で解けるの?」と思うようないくつかの現実問題に対する最適化手法の取り組みを通じて、近年の最適化手法の広がりとし深まりを紹介させていただきます。



#### 梅谷 俊治 (阪大)

大阪大学大学院情報科学研究科准教授。博士(情報学)。2002年京都大学大学院情報学研究科数理工学専攻指導認定退学。豊田工業大学助手、電気通信大学助手、同助教を経て、2008年より現職。2010年より科学技術振興機構さきがけ研究員を兼任。主に組合せ最適化とアルゴリズムの研究とそれらの手法の現実問題への適用に興味を持つ。情報処理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、INFORMS(Institute for Operations Research and the Management Sciences)、MPO(Mathematical Optimization Society)各会員。

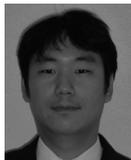
---

● [11:05-11:50] 講演 (3) 「自然画像の事前確率分布を応用した画質改善」

**[講演概要]**

近年、MAP法(事後確率最大化法)に基づく画質改善処理が多数提案されている。MAP法においては、自然画像の事前確率分布モデルが大きな鍵となる。事前確率分布モデルとして、古くから、隣接2画素の関係を利用したMRF(マルコフランダムフィールド)モデルが利用されてきたが、近年では、複数の画素間の関係を同時に考慮したパッチベースMRFモデルが盛んに研究され、高い評価を得ている。

本発表では、まず、我々が行ってきた研究事例を紹介しながら、自然画像の事前確率分布に基づくMAP法の有効性を示す。次いで、パッチベースMRFモデルを概説し、パッチベースMRFモデルの局所適応的学習について、紹介する。



田中 正行 (東工大)

2003年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了、同年アジレント・テクノロジー株式会社 入社、2004年東京工業大学 研究員、2008年東京工業大学 准教授、現在に在る。コンピュータショナルフォトグラフィ、統計画像処理などの研究を行う。2005年MIRU長尾賞(最優秀論文賞)、2009年船井情報科学奨励賞、2010年画像電子学会 優秀論文賞、他。

## 地域医療と異文化コラボレーション

9月7日(水) 14:30-17:15 [第1イベント会場(函館大学2F大講義室262)]

**[セッション概要]**

日本社会全体の高齢化に加えて大都市への人口集中が進展する中で、地域住民への適切な医療サービス提供および健康生活の支援のために地域医療の役割は増大している。特にICT技術を活用して地域の医療、健康、介護に関わる人々が総合的に関わることを可能とする社会医療システム構築が必要となっている。このようなシステムの実現・運用には、医療情報技術の開発にとどまらず、異なる知識・文化・背景を持つプロフェッショナルおよび住民の間で円滑な異文化コラボレーションを実現することが重要な課題である。本シンポジウムでは、医療の現場従事者、医療情報処理技術者、医療コミュニケーション研究者など関連分野の実務者および研究者にそれぞれの立場から現状と問題点を報告いただき、今後の方向について議論を行うことを目的とする。



司会: 片桐 恭弘 (はこだて未来大)

---

● [14:30 - 14:45] オープニング

● [14:45 - 15:30] 講演 (1) 「医療情報の利活用の拡大と地域見守り推進事業」



山本 隆一 (東大)

1979年大阪医科大学卒業、1986年大阪医科大学第一病理学助手、大阪医科大学病院医療情報部助教授を経て、2003年より現職。

● [15:30 - 16:15] 講演 (2) 「シームレスな医療・介護連携の実現に向けて  
～地域見守り型サービスを通じた連携文化の育成～」



高橋 肇 (高橋病院)

1984年北海道大学医学部卒業、同大学循環器内科入局、1992年札幌厚生病院循環器内科医長、1996年高橋病院院長、2001年より現職。

● [16:15 - 16:45] 講演 (3) 「診察室における電子カルテとコミュニケーション  
～大規模病院と診療所の事例から～」



南部 美砂子 (はこだて未来大)

筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了、東京大学大学院総合文化研究科 21 世紀 COE プログラム「心とことば - 進化認知科学的展開」特任研究員を経て、2005 年 4 月より現職。

● [16:45 - 17:15] 講演 (4) 「精神保健にとってなぜ地域医療が必然なのか  
～多くの人を巻き込む多相的コミュニケーションへのいざない～」



榎本 美香 (東京工科大)

1995 年 神戸大学教育学部卒業、2006 年 千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了、東京農工大学工学府・工学部 産学官連携研究員を経て 2008 年より現職。

## サイバーテロの実情と対策 ～身近になりつつあるサイバーテロの脅威～ [パネルセッション] 9 月 8 日 (木) 9:30-12:00 [第 1 イベント会場 (函館大学 2F 大講義室 262)]

### [セッション概要]

2010 年は、Wikileaks に端を発した、支持者、不支持者間でのサイバー戦の勃発、尖閣諸島問題をめぐるサイバー攻撃、社会インフラを標的とした StuxNet ワームなど、多くのサイバーテロ行為が発生した年でありました。この傾向は、2011 年以降も継続して発生すると予想され、より身近な脅威となりつつあります。

本パネル討議では、サイバーテロにおける攻撃側の手口の理解とそれに対する現状の対策と今後求められる対策について、技術面、法制度面、心理面から議論を行うことを目的としています。産学一体となってこの問題について議論することによって、現状の課題を浮き彫りにし、新しい対策技術が創出されるきっかけの一助になることを期待します。



司会：松浦 幹太 (東大)

1997 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士 (工学)。同年東京大学生産技術研究所助手、1998 年同講師などを経て 2002 年より同助教授 (2007 年、法令改正により准教授)。暗号からセキュリティマネジメントまで情報セキュリティ全般の研究に従事。日本セキュリティ・マネジメント学会常任理事、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各シニア会員、IACR 会員、情報処理学会会員・同コンピュータセキュリティ研究会主査。



パネリスト：寺田 真敏 (日立)

1986 年千葉大学大学院工学研究科写真工学専攻修士課程終了。同年 (株)日立製作所入社。博士 (工学)。現在、横浜研究所にてネットワークセキュリティの研究に従事。2004 年から Hitachi Incident Response Team チーフコーディネーションデザイナー。2004 年 4 月から JPCERT コーディネーションセンター専門委員。2004 年 4 月から 2007 年まで中央大学研究開発機構客員研究員。2004 年 8 月から情報処理推進機構セキュリティセンター研究員。2008 年から中央大学大学院客員講師を兼務。Telecom-ISAC Japan、日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会運営委員。



パネリスト：齋藤 衛 (IIJ)

1967 年生れ。1993 年中央大学大学院 理工学研究科 管理工学専攻修了。1995 年株式会社インターネットイニシアティブに入社。法人向けセキュリティサービス開発等に従事した後、2001 年より IIJ グループの緊急対応チーム IIJ-SECT の代表として活動し、CSIRT の国際団体である FIRST に加盟。Telecom-ISAC Japan、日本シーサート協議会、日本セキュリティオペレーション事業者協議会等、複数の団体の運営委員を務めるとともに、インターネットの安定的な運用に関する協議会、安心ネットづくり促進協議会 児童ポルノ対策作業部会 技術者 SWG 等複数の団体に活動を行う。



パネリスト：杉浦 芳樹 (NTT)

NTT-CERT メンバー。1998 年よりセキュリティ及び CSIRT の活動に携わる。2004 年に NTT に入社、NTT-CERT の設立を行い、現在は NTT-CERT のインシデントハンドリングチーム及び CSIRT 構築 / 運用支援に携わっている。日本シーサート協議会運営委員。

## 学習環境のクラウド化とパーソナル化

9月8日(木) 15:30-17:30 [第1イベント会場(函館大学 2F 大講義室 262)]

### [セッション概要]

大学における共通教育基盤として導入されてきた学習管理システム(LMS)は、これまで大学ごとに導入され維持管理されることが多かった。しかしながら、管理コストの低減や安定したサービス向上のために、学外のクラウドサービスを導入する大学も出てきている。また、特定分野における教育コンソーシアムでは、大学間で教育コンテンツを共有するために、大学に依存しない環境を利用している。その一方で、学習・教育環境は、学部・学科さらには個人ごとに異なるために、同一組織内においても求められる機能が異なっている。さらに、個人の学習は大学以外でも継続することを考えると個人に適応した学習環境が必要になる。このような背景から、本パネル討論では学習環境のクラウド化とパーソナル化について討論する。



司会：竹村 治雄(阪大)

1987年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程物理系専攻単位取得退学。同年株式会社国際電気通信基礎技術研究所入社(ATR)、エイ・ティ・アール通信システム研究所勤務。1992年同主任研究員。1994年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。2001年より大阪大学サイバーメディアセンター情報メディア教育研究部門教授。2007年同センターセンター長。IEEE、ACM、電子情報通信学会、情報処理学会各会員、日本バーチャルリアリティ学会、ヒューマンインタフェース学会各会員。工学博士(大阪大学)。

### ● [15:30-15:35] 趣旨説明

### ● [15:35-15:50] 講演(1)「教育・学習環境のパーソナル化のためのPC必携化」

#### [講演概要]

九州大学では学習環境用のパソコンをこれまでレンタルで整備してきた。前回の更新では約500台のWindows PCをMacに切り替え、さらにプリンタを廃止することで約1000台のパソコンを整備した。しかしながらこの方法では、何時でも、何処でも、誰でも、自分のベースで自由に学習する環境を提供できないことが明らかになった。そこで2012年度からすべての学生にパソコン(Mac)を購入してもらい、2012年度の教育情報システムの更新ではパソコン部屋を整備せず、ソフトウェアなど、学生個人では購入しにくい部分の整備などに予算を集中することを計画している。



藤村 直美(九大)

1978年九州大学大学院単位取得満期退学後、九州大学、九州芸術工科大学を経て、現在、九州大学大学院芸術工学研究院教授、同大情報基盤研究開発センター教授(兼)。工学博士。九州大学総長特別補佐、情報統括本部長、教材開発センター長、他の任務にあたる。情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM各会員。

### ● [15:50-16:05] 講演(2)「明治大学版VCLシステムの導入とその利用について」

#### [講演概要]

本講演では、2010年に導入した学内利用向けプライベートクラウドシステムであるVCL(PC環境及びアプリケーション利用環境を配信するシステム)について、「導入者」および「利用者」という2つの視点から概観する。特に、本学におけるVCLの導入の背景に加え、大学の情報技術政策におけるその意義を確認し、導入時のシステム構成及び、昨年度実施したVCLを用いた講義について報告する。また、VCLを利用した講義を通して得た知見をもとに、教育現場におけるクラウドシステムの在り方を考察する。



齋藤 孝道(明大)

2005年に明治大学理工学部情報科学科助教授となり、現在、同学部同学科准教授。博士(工学)。情報処理推進機構・情報処理技術者試験委員。2011年度 情報処理学会・論文誌ジャーナル編集委員会 ネットワークグループ主査。

---

● [16:05-16:20] 講演 (3) 「静岡大学における学内情報システムのクラウド化とその効果」

[講演概要]

静岡大学では2010年3月にプライベートクラウドコンピューティングによる情報基盤が稼働を開始しました。クラウド全面適用化の構築段階においては、様々な課題と不安が山積していました。稼働開始から1年が経過した今、総キャンパス構成員数12000人超、約80kmの距離を隔てた2つの主要キャンパスにおける大規模なクラウド全面適用の情報基盤において見えて来たクラウドの真価についてお話をさせていただきます。学習環境におけるクラウド利用についての取り組みもご紹介致します。



長谷川 孝博 (静岡大)

国立大学法人静岡大学にて7年間の情報基盤整備経験を持つ。2008年～2010年にて、クラウド情報基盤の導入構築に携わる。MPIによる並列数値計算、WEBデータベース、安否情報システム、情報セキュリティ、キャンパスエコに関する研究活動を推進。著書に「I SMS実践講座」「進化するクラウド情報基盤」などがある。現在は学内統合認証システムの構築とクラウド情報基盤の統合化に従事。

---

● [16:20-16:35] 講演 (4) 「東海アカデミッククラウドの実装と課題」

[講演概要]

近年、コースマネージメントシステム、教務システム、ポータルフレームワーク、ICカード出欠システムなど、大学運営に関わるさまざまなシステムがオープンソースとして提供されつつある。各大学は独自の修正などを加えた後、学内で運用しているのが現状である。しかし、これらの開発・運用は、従来情報処理教育や学内LANの運営に携わってきた組織に任せられることが多く、基盤となるシステムの運用は多大な負担となっている。一方、クラウド技術の発展に伴い、サーバーやソフトウェアシステムを導入・運用するのではなく、サービスの提供を受ける形が一般的となりつつある。大学運営に必要なさまざまなシステムも、すべての大学に必要な機能は、ほぼ同一であるため、例えば教務システムを各大学で共同開発・共同運用すれば、学内業務のICT化の維持コストは激減するとともに、“フィールド情報学”の研究プラットフォームともなり得る。このような目的から、2010年度より東海地区の6つの国立大学から情報基盤を運用する組織が集まり、東海アカデミッククラウドプロジェクトを開始した。本発表では、東海アカデミッククラウドの開発状況について報告するとともに、プロジェクトを遂行する上で見えてきた課題についても報告する。



松尾 啓志 (名工大)

1989年名古屋工業大学大学院電気情報工学専攻修了。同年、名古屋工業大学電気情報工学科助手。講師、助教授を経て2003年名古屋工業大学電気情報工学科教授。現在、情報工学科教授、付属図書館長、情報基盤センター長、全学情報システム統括責任者(CIO)補佐。

---

● [16:35-16:50] 講演 (5) 「クラウド時代における教育学習情報環境と標準化」

[講演概要]

高等教育機関における情報環境整備は、集中化による費用対効果の向上を目指して、学内に散在してきた計算機資源の共通化・集約化がはじまっている。この流れは、現在のクラウドコンピューティングの流れと同期する中で、IaaSレベルでの学内プライベートクラウドの構築やパブリッククラウドの利用が模索されている。今後、PaaSやSaaSレベルへとその流れが拡大する中で、コース管理システムやeポートフォリオシステム等の教育学習活動を支える情報環境も共通化・集約化が進むと考えられるが、その過程で如何に多様な教育学習現場を支えるものにできるかは極めて重要なポイントである。そこで、本報告では、標準化の観点から教える立場の教員や学ぶ立場の学生の自由度をそれぞれ高める可能性がある現在の動向を述べる。



梶田 将司 (名大)

名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室・准教授。専門は情報基盤工学・フィールド情報学・メディア情報学。特に、様々な学問分野の人々が多様な活動を行う大学を「研究フィールド」と位置づけ、大学における教育・学習活動や学術研究活動を情報技術により質的転換するための研究開発・実践活動を行うことにより、実際の社会生活を豊かにする新しい情報技術や利用技術の実現・普及を目指している。工学博士。

---

● [16:50-17:30] パネル討論

司会：竹村 治雄（阪大）

写真および略歴は「学習環境のクラウド化とパーソナル化」司会紹介を参照。

パネリスト：藤村 直美（九大）

写真および略歴は「講演（1）教育・学習環境のパーソナル化のための PC 必携化」を参照。

パネリスト：齋藤 孝道（明大）

写真および略歴は「講演（2）明治大学版 VCL システムの導入とその利用について」を参照。

パネリスト：長谷川 孝博（静岡大）

写真および略歴は「講演（3）静岡大学における学内情報システムのクラウド化とその効果」を参照。

パネリスト：松尾 啓志（名工大）

写真および略歴は「講演（4）東海アカデミッククラウドの実装と課題」を参照。

パネリスト：梶田 将司（名大）

写真および略歴は「講演（5）クラウド時代における教育学習情報環境と標準化」を参照。

## クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える 9月9日（金）9:30-12:00 [第1イベント会場（函館大学 2F 大講義室 262）]

### [セッション概要]

クラウドコンピューティングが急速に広がる中、その社会基盤としてのサステナビリティと法制度に関する関心が高まってきた。クラウドコンピューティングではサービスやタスクが様々なハードウェア、ソフトウェアにより分業、統合される。結果、1つのサービスやタスクに多数のアクターが関与する。1冊の書籍の1つの文字を表示するという微細なタスクにも、そこに介在し得るアクターや権利関係の複雑さに上限はない。

さらにインターネットというグローバルなシステム上に構築されるため、サービスの単純さからは想像できないほど多くの地域や、それによって異なる法律が関与する可能性がある。その社会基盤としての複雑さは人類未踏の領域である。

本シンポジウムでは、クラウドコンピューティングを情報社会基盤における重要な潮流ととらえ、知的財産のサステナビリティと法制度においてどのような課題が提示されているか、各テーマの最前線で活躍されている方々にご講演いただく。これらの講演を通して、クラウドコンピューティングというきわめて重要な技術の、さらなる発展に寄与することができれば幸いである。



司会：金子 格（東京工芸大）

1982年早稲田大学大学院理工学研究科修士前期課程修了。同年日立製作所。1985-2001年アスキー。1993-1996年グラフィックス・コミュニケーション・ラボラトリーズ研究員（出向）。2003年早稲田大学理工学総合研究センター客員研究員。東京工芸大学准教授（現職）。ISO/IEC 14496-21 Editor。情報処理学会・情報規格調査会 SC29/WG11 systems 小委員会主査。情報処理学会 EIP 研究会幹事。

---

● [9:30-9:35] オープニング

● [9:35-10:05] 講演（1）「永続されるべき価値とはなにか ～クラウド化が迫る社会的価値選択～」

### [講演概要]

クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える場合、永続すべき「価値」が何であるかという問いがなされなければならない。情報哲学者の L. フロリディは、クラウド化の進行により、我々はますます物質から解放され、「情報空間」との有機的な統合の中で、「第4の科学革命」がもたらされると述べ、概ねこの事態を歓迎する。一方、R. ストールマンは企業による個人の自律の阻害が進むとして、クラウド化に強い批判的態度をとる。両者には「社会的善」と「個の自律」の重み付けに違いがあると思われるが、我々はクラウド化の進行が、ある種の社会的価値選択を伴うことを自覚する必要がある。価値設計問題としてのクラウドについて考えてみたい。



松王 政浩（北大）

京都大学大学院文学研究科博士課程修了。静岡大学情報学部助教授を経て、現在、北海道大学大学院理学研究院教授。科学の一般的方法をめぐる科学哲学に関する研究、科学技術と社会・個人の関係についての倫理問題研究を行っている。情報技術については、これまで衛星測位技術、ICチップ、防犯カメラをめぐる社会的問題（surveillance問題）、あるいは社会のバーチャル化に伴う諸問題を主に扱ってきた。知的所有問題にも関心が深い。

---

● [10:05-10:35] 講演 (2) 「スマート・クラウド戦略の最新動向」

〔講演概要〕

総務省では、クラウドサービス（クラウドコンピューティング技術を活用したサービス）の普及促進を図る観点から、「スマート・クラウド研究会」を開催し、昨年5月、「スマート・クラウド戦略」と題する報告書を取りまとめた。本報告書は、クラウドサービス普及による情報通信技術（ICT）の利活用の徹底、次世代クラウド技術の研究開発の方向性、クラウドサービスの標準化の在り方、国際的なコンセンサス醸成の必要性等について、各種提言が行われている。本講演では、この「スマート・クラウド戦略」の内容を解説するとともに、総務省としてクラウドサービスを普及させるための取組状況の紹介や今後の方向性について展望する。



寺岡 秀礼（総務省）

1999年 郵政省（現 総務省）入省。2005年 内閣官房情報セキュリティセンター 参事官補佐。2007年 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課 課長補佐。2009年7月より、現職。

---

● [10:35-11:05] 講演 (3) 「クラウド・コンピューティングのリスクと法的課題」

〔講演概要〕

クラウド・サービスの利用者は、アクセスは可能でも管理権限は持たない仮想コンピュータ上に自らのデータとプログラムを保有し、インターネットを通じて利用する。パブリック・クラウドの場合は複数の利用者がディスク領域やシステムを共用する。また仮想コンピュータは単一のディスク領域にあるとは限らず、分散している場合もありうる。ディスクの所在地すらも利用者が把握していないこともありうる。こうした特徴から、クラウド・サービス・プロバイダによる利用者のデータの滅失や流出のリスク、あるいはプロバイダの倒産による同様のリスクに対して、利用者が十分な防御策を施すことができない場合も出てくる。本報告は、こうしたリスクについて、法的な問題点を指摘して、回避可能性を検討したい。



町村 泰貴（北大）

1986年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了後、小樽商科大学、亜細亜大学、南山大学の教員を経て、2007年より現職。専攻は民事訴訟法・サイバー法。

---

● [11:05-11:35] 講演 (4) 「クラウド時代におけるマルチエージェントシステム」

〔講演概要〕

本講演では、マルチエージェントシステムについて概観するとともに、クラウドコンピューティングを安定かつ持続可能なシステムとする基盤技術としてエージェントの相互作用のプロトコルの設計方法などについて発表する。マルチエージェントシステムは、複数の自律的に行動するエージェントから構成されるシステムであり、次世代の分散システムを構築する中核的技術として盛んに研究が進められている。自律分散システムにおいて社会資源や環境資源をいかに効率的に利用するか、持続可能なシステムをどう実現するかは重要な課題であり、マルチエージェントシステムの技術が大きく貢献できると考えられる。



櫻井 祐子（九大）

1997年名古屋大学大学院多元数理科学研究科修士課程修了。同年 日本電信電話株式会社に入社。2007年より日本学術振興会特別研究員（RPD）。2009年より ヤフー株式会社。2010年より科学技術振興機構 ERATO 研究員。2011年より九州大学大学院システム情報科学研究院准教授。マルチエージェントシステム、電子商取引に関する研究に従事。博士（工学）。人工知能学会、情報処理学会各会員。

---

● [11:35-12:00] パネル討論

司会：金子 格（東京工芸大）

写真および略歴は「クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える」司会紹介を参照。

パネリスト：松王 政浩（北大）

写真および略歴は「講演（1）永続されるべき価値とはなにか ～クラウド化が迫る社会的価値選択～」を参照。

パネリスト：寺岡 秀礼（総務省）

写真および略歴は「講演（2）スマート・クラウド戦略の最新動向」を参照。

パネリスト：町村 泰貴（北大）

写真および略歴は「講演（3）クラウド・コンピューティングのリスクと法的課題」を参照。

パネリスト：櫻井 祐子（九大）

写真および略歴は「講演（4）クラウド時代におけるマルチエージェントシステム」を参照。

**そこそこセキュリティ ～必要なレベルで適切なセキュリティ対策を提供するには～  
9月9日（金）13:00-16:00 [第1イベント会場（函館大学 2F 大講義室 262）]**

[セッション概要]

学術分野における情報セキュリティの研究で得られた成果は、実際の産業界などの現場ではほとんど利用されていません。その背景にはさまざまな理由があると考えられますが、ひとつには学術研究におけるセキュリティがオーバースペックであることが挙げられます。本来現場で必要となるのは、存在するリスクに対して適切なセキュリティを最低限で達成する技術です。つまり「そこそこ」のセキュリティで十分なケースが多々あり、そのギャップは非常に大きいものです。

本企画では、さまざまな立場の方に集まって頂き、講演とパネルセッションによって「そこそこセキュリティ」を議論します。パネルセッションにおいては、より会場からの意見を取り入れるべくオープンマイクを設置し、パネリスト発表時でも随時質問ができるよう、議論優先のスタイルを採る予定です。



司会：金岡 晃（筑波大）

2004年筑波大学大学院博士課程システム情報工学研究科修了。同年セコム株式会社入社。筑波大学大学院システム情報工学研究科研究員を経て2008年より筑波大学大学院システム情報工学研究科助教。ネットワークシステムの安全設計方式、電子認証に関する研究に従事。またネットワークセキュリティの業界における産学ギャップの解消に向けた活動も行なっている。博士（工学）。電子情報通信学会、情報処理学会各会員。

---

● [13:00-13:05] オープニング

● [13:05-13:35] 講演（1）「企業が期待する「適切」なセキュリティ」

[講演概要]

企業のセキュリティ、コンプライアンス対応のコンサルティングを実施する時に、しばしば「適切」なセキュリティ・レベルに対する解答を求められることがある。企業が期待される「適切」とは何か、彼らの発言の背景にあるもの、そして「適切」レベルを定義することの難しさを解説する。長年、セキュリティは重要な課題であると認知されながらも、企業のITレベルでの対応状況は高いとは言いがたく、その理由の一つが、投資効果・被害損失に対する定量化の難しさにある。このセッションでは、企業が抱える課題を紹介する共に、産学協同で取り組むべきテーマについても提議を行う。



大西 克美（日本IBM）

1986年日本アイ・ビー・エム株式会社入社。エクゼクティブ・アーキテクト。2000年代前半よりセキュリティ案件を担当し、社内の第一人者となる。現在に至るまで、100社以上のお客様に対し、セキュリティ、プライバシー、コンプライアンス分野における提案、コンサルティング、設計を担当。近年は講演、社外執筆、外部団体活動など幅広い活動を展開中。2010年セキュリティ・エバンジェリストに就任。情報処理学会正会員。

---

● [13:35-14:05] 講演 (2) 「そこそこセキュリティを達成するために必要なことをどう担保するか？」

【講演概要】

「高い安全性」を実現する過剰なセキュリティ技術を導入しても守られないセキュリティ対策になっている。むしろ「そこそこの安全性」のセキュリティ技術であってもきちんと守れるようなセキュリティ対策を導入したほうが結果として安全性が高まるのではないかと。以上の視点が「そこそこセキュリティ」を考える出発点になるだろう。ただ、そこで問題となるのは、何をすれば「そこそこセキュリティ」を実現したといえるのかが示されていないことである。その目安がなければ「そこそこセキュリティ」は単にセキュリティ技術を導入しないための言い訳に使われかねない。本講演では、「そこそこセキュリティ」を実現するために必要な担保をどう実現していくかについて政府等の動きを踏まえ検討する。



神田 雅透 (IPA)

1991年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業、1993年同大学院修士課程了。同年NTT入社後、情報セキュリティ・暗号研究開発に従事し、ブロック暗号Camelliaの開発を担当。2004年よりNTT情報流通プラットフォーム研究所主任研究員(現職)。2002年に通信・放送機構(現NICT)、2009年よりIPAセキュリティセンター非常勤研究員としてCRYPTREC、暗号調査関連業務に従事。博士(工学)。第53回前島賞、平成17年度情報処理学会業績賞等、受賞

---

● [14:05-14:35] 講演 (3) 「最適なセキュリティを提供するセキュリティアーキテクチャに向けて」

【講演概要】

情報通信システムのセキュリティを確保する枠組みとして、個別のセキュリティ技術の他に、ISMSのようなマネジメントシステム、Common Criteriaのような評価システムなど、総合的なフレームワークがこれまでに確立されている。しかし、現実にはこれらのフレームワークの運用はすべてのケースにおいて容易で、コスト的に見合うとは言い難い。従来のクライアント-サーバに加え、クラウドや多様なモバイル機器などが組み合わされた場合、最適なセキュリティを見つけ出し、確保することは困難になる。本講演では、このように複雑になるセキュリティ環境において、最適なセキュリティを低コストで提供できるアーキテクチャの実現に向けた取り組みを紹介する。



松尾 真一郎 (NICT)

1996年NTTデータ通信株式会社入社。入社以降、情報セキュリティの研究開発に従事。2003年東京工業大学大学院博士課程理工学研究科修了。2009年より独立行政法人情報通信研究機構勤務。現在、同機構ネットワークセキュリティ研究所セキュリティアーキテクチャ研究室室長。主要な研究開発テーマは、暗号プロトコルの設計、およびシステムセキュリティの安全性評価。暗号技術検討会構成員、ISO/IEC JTC1 SC27/WG2国内委員会主査を務めている。博士(工学)。電子情報通信学会正員、日本応用数理学会正会員、IACR会員。

---

● [14:45-16:00] パネル討論 「「そこそこセキュリティ」ってなんだ？」

【討論概要】

必要以上のレベルにせず適切なセキュリティを達成するためにはいったい何を考えていかなければいけないか、何を解決しなければいけないか。またそのときに産官学それぞれの組織はどのようなことをすべきなのか。組織やシステム、ネットワークのセキュリティにおいて、必要以上に対策を行なっているケースがあり、一方で必要に達していないレベルのケースが存在する。パネルセッションではそれらに様々な局面で対応されてきたパネリストの方々が考える「そこそこセキュリティ」を共有することから始め、進むべき適切なセキュリティを考えていきます。

司会：金岡 晃 (筑波大)

写真および略歴は「そこそこセキュリティ ～必要なレベルで適切なセキュリティ対策を提供するには～」司会紹介を参照。

パネリスト：大西 克美 (日本IBM)

写真および略歴は「講演 (1) 企業が期待する「適切」なセキュリティ」を参照。

パネリスト：神田 雅透 (情報処理推進機構)

写真および略歴は「講演 (2) そこそこセキュリティを達成するために必要なことをどう担保するか？」を参照。

パネリスト：松尾 真一郎 (NICT)

写真および略歴は「講演 (3) 最適なセキュリティを提供するセキュリティアーキテクチャに向けて」を参照。



パネリスト：小川 隆一 (NEC)

1983年東京大学理学系修士卒。同年日本電気入社。研究開発グループで画像DB・マルチメディアオーサリングシステムの研究開発に従事。1989～1990年メリーランド大学計算機科学部客員研究員。2002年よりシステムセキュリティ・統合アクセス権管理方式の研究開発・国際標準化に従事。現在サービスプラットフォーム研究所主幹研究員。「オープンアンドセキュアエンタプライズ」の実現に興味を持っている。



パネリスト：齋藤 衛 (IIJ)

1967年生れ。1993年中央大学大学院 理工学研究科 管理工学専攻修了。1995年株式会社インターネットインシアティブに入社。法人向けセキュリティサービス開発等に従事した後、2001年よりIIJグループの緊急対応チームIIJ-SECTの代表として活動し、CSIRTの国際団体であるFIRSTに加盟。Telecom-ISAC Japan、日本シーサート協議会、日本セキュリティオペレーション事業者協議会等、複数の団体の運営委員を務めるとともに、インターネットの安定的な運用に関する協議会、安心ネットづくり促進協議会 児童ポルノ対策作業部会 技術者SWG等複数の団体で活動を行う。



パネリスト：二木 真明 (住商情報システム)

立命館大学理工学部卒 組み込みシステムの開発技術者を経て主にUNIX系プラットフォーム上でデバイスドライバからビジネスアプリまで雑多な開発を手がけた。間違っってファイアウォール製品を作ってしまったことからセキュリティにはまり、それがきっかけでのミレニアム転職を経て現在に至る。自社のセキュリティ対策にも深く関与している。JNSA 幹事、CISSP、CISA。

## 気になる最近の計算幾何学の話題から

9月7日(水) 9:30-12:00 [第2イベント会場 (函館大学 3F 講義室 301)]

### [セッション概要]

計算幾何学は、1970年代に理論計算機科学の一研究分野として誕生して以来、着実な進歩を遂げてきた。数学出身の研究者が多いことも関係して、理論面の研究に焦点が当てられてきた傾向はあるが、理論だけではなく、計算誤差や縮退などへの対策など、実装面の問題にも真摯に取り組んで来たことも事実である。理論面でも、初期においては連続空間の点集合や多面体を扱うことが多かったが、コンピュータ・グラフィックスへの応用などを考慮して、グリッド平面上で幾何物体を矛盾なく表示する方法などについても様々な角度から研究がなされている。本企画では、応用と離散幾何の面で、気になる最近の計算幾何学の話題を紹介する。



司会：浅野 哲夫 (北陸先端大)

1977年大阪大学大学院工学博士。大阪電気通信大学講師、助教授、教授を経て1997年より北陸先端科学技術大学院大学教授。VLSIのレイアウト設計自動化、組み合わせ最適化、計算幾何学に関する研究に従事。ACM、電子情報通信学会、情報処理学会の各フェロー。

- [9:30-9:40] オープニング (全体挨拶と講師の紹介)
- [9:40-10:20] 講演 (1) 「計算幾何学問題に対する省メモリアルゴリズム」

### [講演概要]

計算幾何学では様々な幾何計算問題が扱われてきたが、高機能の携帯電話などの普及により、新たな計算環境の下でのアルゴリズム開発も求められるようになってきた。特に、組み込みソフトでは作業用のメモリに対する制約が大きく、省メモリのアルゴリズム開発が強く求められている。本講演では、計算幾何学の幾つかの代表的な計算問題に対する省メモリアルゴリズムの設計技法を紹介する。具体的には、凸包構成問題、デローネイ三角形分割、ボロノイ図構成、ユークリッド最小木構成問題、単純な多角形の内部での最短経路発見手法などを扱う。

浅野 哲夫 (北陸先端大)

写真および略歴は「気になる最近の計算幾何学の話題から」司会紹介を参照。

---

 ● [10:30-11:10] 講演 (2) 「計算幾何学における離散幾何図形」

## [講演概要]

計算幾何学においては、凸包や Voronoi 図、Delaunay 三角形分割といった幾何学的図形を求めるアルゴリズムやそれらを実際に描いた美しい図形が示されてきた。アルゴリズムの出力を図示することによって確認出来ることは重要であり、また、そこから、また、新しい概念や問題が生まれ、アルゴリズムの開発が進んできた。これまで用いられてきた図形の多くは代数的に表現できるものであることが多い。代数的に表現できない、または、表現できるかどうかわからない図形は離散的に描かなければならない。最近、離散的に図形を描くことによって、距離等分線やゾーン図の理論的研究の動機づけになり、この分野の研究が進んだといえるだろう。本講演では、距離等分線、ゾーン図、非等方性 Voronoi 図などを題材に計算幾何学における離散幾何図形について眺めてみる。



今井 桂子 (中大)

1985 年津田塾大学大学院理学研究科数学専攻博士後期課程単位取得退学。理学博士。東京大学、九州工業大学、津田塾大学を経て、1992 年中央大学理工学部助教となり、1999 年から同大学教授。アルゴリズム理論の研究に従事。ACM 会員。

---

 ● [11:20-12:00] 講演 (3) 「アルゴリズム設計と幾何学：数学の成果を利用したアルゴリズム」

## [講演概要]

アルゴリズムの設計はプログラミングには必須であり、高品質ソフトウェア開発のコアである。プログラマが短時間で既存知識を用いて良いアルゴリズムを設計するための理論体系を作るのがアルゴリズム理論の一つの使命であるが、そのような体系を作るに研究者の努力とともに、長い年月に蓄えられてきた数学的な技法や知識の利用が必要となる。本講演では、計算幾何学の話題を用いて、長い時間を掛けた数学の研究分野の成果がアルゴリズム設計のためにどのように使われるかを紹介する。特に、掛谷問題と呼ばれる、小学生や一般家庭向けの数学問題（線分の回転問題）を利用し、「数学の研究」の価値を考える。難しい証明は行わないので、数学的な予備知識は必要としない。



徳山 豪 (東北大)

1985 年 東京大学理学部数学専攻博士課程卒業、理学博士。1986-1999 年 日本 IBM 東京基礎研究所で理論計算機科学の研究に従事。1999 年より 東北大学大学院情報科学研究科教授。アルゴリズム理論の研究と応用を専門とする。情報処理学会フェロー。

---

**第 15 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト**  
 9 月 7 日 (水) 14:30-17:30 [第 2 イベント会場 (函館大学 3F 講義室 301)]

## [セッション概要]

本イベント企画では、「勝ったのは誰だ!! -じゃんけんの勝敗判定-」と題した第 15 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテストの入賞者の表彰、受賞者自身によるアルゴリズム発表、およびテーマ関連の特別講演を行う。本コンテストは、パターン認識・メディア理解 (PRMU) 研究専門委員会が、当該研究分野における若手研究者の育成と研究会活動の活性化を目的として、1997 年度より実施している。募集にあたってはアルゴリズムを実装したプログラムの提出を求め、処理結果や計算時間等を参考に、アルゴリズムの新規性や性能を審査し、優秀なプログラムを選定している。応募対象者が若手研究者や学生であることから、アルゴリズムの完璧さや実装の工夫よりも、素朴なアイデアや意外性のあるアプローチを積極的に評価する方針を採っている。



司会：近藤 一晃 (京大)

2002 年大阪大学基礎工学部卒業。2007 年同大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。同年同大学産業科学研究科特任研究員。2009 年京都大学学術情報メディアセンター助教就任後現在に至る。反射屈折光学系、マンマシンインタラクション、知的行動支援に関する研究に従事。2001 年度大阪大学楠本賞受賞。第 52 回自動制御学会優秀発表賞受賞。博士 (情報科学)。情報処理学会、電子情報通信学会各会員。

---

● [14:30-14:35] 開会挨拶



山田 敬嗣 (NEC)

1987年、京都大学大学院工学研究科博士後期過程了(工学博士)。同年、NEC入社。1990年～1991年カリフォルニア大学サンディエゴ校客員研究員。2004年NECメディア情報研究所所長。2007年よりC&Cイノベーション研究所所長。電子情報通信学会理事、ISS副会長、情報処理学会理事などを歴任。専門は、パターン認識・学習、ヒューマンインタフェース、ユビキタス情報システム、など。電子情報通信学会、情報処理学会、日本心理学会、新日本未来学会、IEEE、各会員。

---

● [14:35-15:00] 概要説明・審査結果発表・入賞者表彰

---

● [15:00-16:30] 入賞者によるアルゴリズム紹介

---

● [16:30-17:30] 講演「ジェスチャインターフェースの過去・現在・未来」

[講演概要]

人間のジェスチャを測・認識する技術は、主に画像認識の分野で古くから熱心に研究されてきた。近年になって、MicrosoftのKinectセンサに代表される、安価で実用的なジェスチャインターフェースデバイスが登場し、各方面におけるジェスチャインターフェースの応用がホットな話題となっている。本発表では、発表者がこれまで続けてきた、画像に基づく関節物体としての人体姿勢計測、とくに手指の形状と姿勢の計測に基づく手話などのジェスチャ認識技術を中心にその進展を概観し、ジェスチャインターフェースの今後のありようについて展望する。



島田 伸敬 (立命館大)

1992年阪大・工・電子制御機械卒。1997年阪大大学院博士後期課程了。博士(工学)。同年阪大大学院工学研究科助手。2003年同助教授を経て、2004年より立命館大学情報理工学部知能情報学科准教授。2007年より1年間米カーネギーメロン大学ロボティクス研究所客員准教授。コンピュータビジョン、ジェスチャインターフェース、対話ロボットの研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、人工知能学会、IEEE各会員。

## サイバーフィジカル情報革命～情報爆発から価値創造へ～

9月8日(木) 9:30-12:00 [第2イベント会場(函館大学3F講義室301)]

[セッション概要]

ウェブを例にとるまでもなく、我々の身近においてデジタルデータは常に増大し続けており、必要なデータを単純に探しだすに留まらず、探し出したデータを有用に利用するために新たな付加価値が求められています。情報爆発、情報大航海、Internet of Things (IOT:モノのネット化)、Smarter Planet、Central Nervous System for the Earth、Smart+Connected Communities、そして、Cyber Physical Systems (CPS) など多様なキーワードで、情報社会の未来探索が模索されています。それらの目指す方向はおおむね一致しており、その本質は、よりアクティブなデジタルリフレクションとそこから生まれる情報爆発からの価値創出にあります。本企画では、近未来の情報社会における「あるべきIT社会インフラ」の目指すべき方向性、ITにおける技術的課題、さらには現在の先端的CPSシステム等を、研究の最前線にある研究者らによる招待講演にてご紹介いたします。



前半司会：中野 美由紀 (東大)

東京大学理学部情報科学科卒業。博士(情報理工学)。富士通(株)勤務。1985年7月東京大学生産技術研究所助手(2004年助教)。2008年7月特任准教授。データベースシステム、ストレージシステム、データ工学の研究に従事。IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会、ACM、日本データベース学会各会員。

---

● [9:30-10:15] 講演 (1) 「Big Data とサイバーフィジカル」

【講演概要】

2011年現在、毎月300億のデータがFacebookにて共有され、一年間で7.4EBの新規データがディスクに格納されるBig Dataの到来を迎え、情報社会の未来探索が開始されています。それらの目指す方向はおおむね一致しており、その本質は、よりアクティブなデジタルリフレクションとそこから生まれる情報爆発からの価値創出にあります。すなわち、従来の小売業はもとより、ヘルスケア、都市、電力システム、ビルディング、ロジスティクス、農業など、あらゆる重要な社会インフラにおいて、従来とは桁の異なる膨大なサイバー情報を収集、適切かつ高品質な情報を抽出し、現状の詳細を具体的に把握すると共にただちに社会への還元することが求められています。米国を中心に各国が膨大な予算をIT社会インフラ施策に投入していることから明らかに、次世代ITのキラーイネーブラと見なされる新しい世界のうねりを紹介します。



喜連川 優 (東大)

1978年東大・工・電子卒。1983年同大学院工学研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。同年同大生産技術研究所講師。現在、同教授。2003年より同所戦略情報融合国際研究センター長。データベース工学、並列処理、Webマイニングに関する研究に従事。情報処理学会フェロー、日本データベース学会理事。ACM SIGMOD Japan Chapter Chair、電子情報通信学会データ工学研究専門委員会委員長歴任。VLDB Trustee、IEEE ICDE、PAKDD、WAIMなどステアリング委員、SNIA日本支部顧問、文科省特定領域研究「情報爆発IT基盤」領域代表を務める。

● [10:15-11:00] 講演 (2) 「統合情報基盤としてのサイバー・フィジカル・システムにおけるオープン・スマート・フェデレーション」

【講演概要】

統合情報基盤としてのサイバー・フィジカル・システムにおいては、各種機関提供のリソースに加え、ウェブ上のオープンな膨大なリソースも必要に応じて選択しこれらと連携させて活用できることが望まれる。これらリソースの活用のシナリオも、目的に応じて多種類存在し、相互に関連しあうことが多い。リソースにはデータや情報のほかに機能的リソースとしてツールやサービス、さらには人々も含まれる。これらの膨大な共有リソースを目的に応じて選択、分析し、可視化し、戦略的意思決定に反映するためには、予め定めたシナリオに基づいたリソースのフェデレーションだけでなく、まったく新しいシナリオを試行錯誤的に試しながらフェデレーションを即興で定義実行できることが戦略的意思決定には必要である。本講演では、e-サイエンスや災害対策システムなどを例に、このようなフェデレーション技術の必要性を論じ、その実現性について私案を基に検討する。



田中 譲 (北大)

1974年京都大学電子工学専攻修士課程修了。同年北海道大学電気工学科助手。講師、助教授を経て1990年同教授。2004年同大学情報科学研究科教授、現在に至る。1985年より1年間IBMワトソン研究所客員研究員。1996年より北海道大学知識メディアラボラトリ長。1998年より3年間京都大学情報学研究科併任教授。2004年より国立情報学研究所客員教授。工学博士。データベース理論、データベースマシン、知識メディアなどの研究に従事。



後半司会：山名 早人 (早大)

1989年～1993年 早大情報科学研究教育センター助手。1993年～2000年 電子技術総合研究所。1996年～1997年 通産省機械情報産業局電子機器課課付。2000年 理工学部助教授。2005年 理工学術院教授、2005年 国立情報学研究所客員教授、現在に至る。情報検索、検索エンジン信頼性解析、計算機アーキテクチャ等の研究に従事。2010年より情報処理学会データベース研究会主査。

● [11:15-12:00] 講演 (3) 「ポストベタスケール時代の情報分析技術」

【講演概要】

2011年、IBMによって作られた質問応答システム「Watson」は、アメリカの人気クイズ番組「Jeopardy!」の歴代チャンピオン2人と互角の戦いを繰り広げました。100万冊の書籍に匹敵する知識から数秒で回答を得ることのできるWatsonに備えられたシステムは、クイズという領域で人間と戦うためには十分でした。しかし現実の社会では、インターネット上で多数の人間が作り出す情報や、ソーシャルな場での人間の行動、センサーから取得されるデータなど、様々な情報が爆発的に生み出されています。また経済や医療の現場では、過去の知見と現在得られるデータから瞬時の判断をしなくてはならない場面も多くあり、過去のデータから確定的な回答のみを返すシステムではない「学習するシステム」が必要とされてきています。本講演では「ポストベタスケール時代」における情報分析の技術について、弊社の技術戦略文書であるGTO(Global Technology Outlook)で議論された題材を中心に紹介を致します。



森本 典繁 (日本 IBM)

1995年米国マサチューセッツ工科大学のEECS(電子工学およびコンピュータサイエンス)にて修士号を取得。1996年にIBM東京基礎研究所へ。Digital Watermarking、Digital Rights Management、Mobile Computing関連研究プロジェクトのリーダーを経て、2002年から基礎研究所の技術戦略および管理部門を担当。2006年IBM Research Divisionの上級副社長の補佐として米国ワトソン研究所赴任。2008年Worldwide Research Collaboratory 担当責任者を経て、2009年4月に帰国し、5月より現職。

**EMM が目指すマルチメディア情報処理の未来 [パネルセッション]**  
9月8日(木) 15:30-17:30 [第2イベント会場 (函館大学 3F 講義室 301)]

【セッション概要】

本企画は、2011年度に新しく設立されるEMM研究会(マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会)が目指すマルチメディア情報処理研究の方向性についてパネル討論を行い、EMM研究会の特色について学会員に紹介する機会としたい。EMM研究会の名前にもなっている「ハイディング」と「エンリッチメント」というキーワードをもとに、マルチメディア情報処理研究におけるブレイクスルーを生み出すため「これからこんなことをやってみよう」という意気込みを若手研究者に提起してもらい、会場と意見交換する予定である。司会進行役は、EMM研究会委員長の馬場口登(大阪大学)。



司会: 馬場口 登 (阪大)

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業、1981年同大学大学院前期課程修了、愛媛大学工学部、大阪大学工学部、産業科学研究所を経て、現在、大阪大学大学院工学研究科教授。1996-1997年カリフォルニア大学サンディエゴ校文部省在外研究員。工学博士。マルチメディア処理に関する研究に従事。PCM2006、IAS2009Best Paper Award、FIT2009論文賞。電子情報通信学会フェロー。PRMU 研専元委員長、EMM 研専委員長。



パネリスト: 青木 直史 (北大)

1995年北海道大学工学部電子工学科卒業。1997年同大学院修士課程修了。2000年同大学院博士課程修了。同年同大学院工学研究科助手。2007年同大学院情報科学研究科助教。博士(工学)。マルチメディア情報処理の研究に従事。デジタル・サウンド処理入門(CQ出版社)、H8マイコンによるネットワーク・プログラミング(技術評論社)、C言語ではじめる音のプログラミング(オーム社)、ブレッドボードではじめるマイコンプログラミング(技術評論社)、冗長性から見た情報技術(講談社)。EMM 研究専門委員会幹事補佐。



パネリスト: 岩村 恵市 (東理大)

1982年九州大学大学院修士課程修了。キヤノン株式会社を経て、2006年より東京理科大学工学部電気工学科教授。2006年より独立行政法人産業技術総合研究所客員研究員。情報セキュリティ、コンテンツ保護技術の研究に従事。博士(工学)。2011年5月よりIHC(情報ハイディング及びその評価基準)研究会委員長。



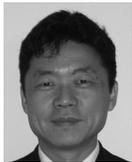
パネリスト: 越前 功 (NII)

1997年東京工業大学大学院理工学研究科応用物理学専攻修士課程修了。日立製作所システム開発研究所研究員を経て、2007年より国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授。2010年4月よりフライブルグ大学計算機科学・社会情報学研究所客員教授。コンテンツセキュリティの教育研究に従事。電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会副委員長。情報処理学会長尾真記念特別賞、情報処理学会論文賞、電子情報通信学会ISS活動功労賞、映像情報メディア学会藤尾フロンティア賞、画像電子学会画像電子技術賞等受賞。博士(工学)。



**パネリスト：新見 道治（九工大）**

1992年九工大・工・電気・計算機工学コース卒。1994年同大大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程修了。1994年長崎総合科学大学工学部助手。1996年九工大工学部助手。2003年博士（工学）取得。2004年九工大工学部助教授、2004年九工大情報工学部助教授、2007年九工大情報工学部准教授、2008年九工大大学院情報工学研究院准教授、現在に至る。



**パネリスト：西村 明（東京情報大）**

1990年九州芸術工科大学音響設計学科卒業。1996年九州芸術工科大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。1996年東京情報大学情報学科助手。2006年東京情報大学情報文化学科助教授をへて現在准教授。EMM研究専門委員会副委員長。楽器音、空間知覚、聴覚マスキング機構、オーディオ測定技術、音響情報ハイディング技術の研究に従事。博士（芸術工学）。



**パネリスト：西村 竜一（NICT）**

1993年東北大学工学部情報工学科卒業。1998年東北大学大学院情報科学研究科博士課程修了。その後、（株）ATR 知能映像通信研究所にて客員研究員を勤め、2000年から東北大学電気通信研究所に助手として赴任。2004年に助教授となり、2006年から（独）情報通信研究機構にて現職として勤務。これまで、音声強調、音響電子透かし、立体音響等の音響信号処理の研究に従事。IEEE、日本音響学会、電子情報通信学会、日本バーチャルリアリティ学会、各会員。



**パネリスト：日置 尋久（京大）**

1992年東京大学理学部情報科学科卒業。1997年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程単位取得満期退学。同年京都大学総合人間学部助手。2003年京都大学総合人間学部助教授。同年京都大学高等教育研究開発推進センター助教授。2009年より現職。IEEE、情報処理学会、電子情報通信学会各会員。EMM研究専門委員会幹事補佐。情報ハイディングの研究に従事。博士（理学）。

**実践が拓く情報処理の次なるステップ ～デジタルプラクティスの試み～  
9月9日（金）9:30-11:30 [第2イベント会場（函館大学 3F 講義室 301）]**

**[セッション概要]**

2010年2月に創刊されたデジタルプラクティス(DP)誌は、ICT実務の現場で日々生み出される実践に関する知見を発表する論文誌である。DPは生まれたばかりで取り扱う範囲も広いと、論文の審査基準に関するコンセンサス、実践から得られた知見の記述に適した論文形式、DPに論文が掲載される価値などがまだ完全には固まっておらず、尻込みしている著者も多いようである。我々DP編集委員会は、現場で日々実践されているICTに関する知見を共有することが、新しい情報処理技術の世界を拓くと信じDPの編集に取り組んでいる。一人でも多くの方々にDPに興味を持っていただき、安心して論文を投稿していただくため、潜在的著者や読者の方々に向けて、このような人々がこのようなことを考えてDPの編集作業に携わっているというメッセージを送りたいと思う。前半は丸山宏、平田圭二、諏訪良武、中田登志之各氏によるポジション発表を、後半は下間芳樹事務局長を交えてのパネル討論会を予定している。



**司会：平田 圭二（はこだて未来大）**

1987年東京大学大学院工学系研究科情報工学博士課程修了、工学博士。同年NTT入社。音楽情報処理、ビデオコミュニケーション、論理型プログラミング等の研究に従事。1990-1993年第五世代コンピュータプロジェクトにて並列推論マシンの研究開発に従事。2011年より現職。本会フェロー及び教育担当理事。

● [9:30-9:40] オープニング

---

● [9:40-9:55] 講演 (1) 「なぜ企業の技術者が論文を書くのか」

[講演概要]

大学や研究機関に所属する研究者が論文を書くのは当たり前である。しかし、日々製品開発や顧客プロジェクトに追われている私企業の技術者が論文を書くのはなぜだろうか。「デジタル・プラクティス」の編集を通して、実はこの点がほとんど理解されていない、つまりそもそも、企業の技術者に論文を書くモチベーションがほとんどない、ということに思い至った。ここでは、発表者自身の経験から、企業の技術者が、自分のキャリア形成上、論文を書くことに非常に大きな意味を持つのだ、ということを経験する。



丸山 宏 (大学共同利用機関 情報・システム研究機構 統計数理研究所)

1983年東京工業大学情報科学専攻修士課程修了。同年日本IBM入社。ジャパン・サイエンス・インスティテュート(後の東京基礎研究所)で、人工知能、自然言語処理などの研究に従事。1997年-2000年東京工業大学計算工学専攻客員助教授。2003年-2004年IBMビジネス・コンサルティング・サービスへ出向。2006年-2009年IBM東京基礎研究所所長(2007年より執行役員)。2009年-2010年キャノン株式会社 デジタルプラットフォーム開発本部副本部長。2011年-現在 統計数理研究所教授。

---

● [9:55-10:10] 講演 (2) 「論文という形式を守ることの意味」

[講演概要]

論文という形式は表現だけでなく、審査、思考、記録という目的のもとで試行錯誤が繰り返され発達し生まれてきたものである。その細部に至るまで、営々と先人の知恵と工夫が蓄積されている。論文という形式に従うことで、伝えたいことが楽に伝えられるようになり、その内容を吟味したり審査するのが効率的になり、科学的に思考を進めるガイドが手に入る。さらに、論文という形式で成果を発表しやすいように仕事を進めていくことさえも考えられる。DPの読者著者の方々の多くは、論文という形式に馴染みが薄いのではないかと感じているが、論文という形式に従うことをもっと積極的にとらえ直すことを提案したい。

平田 圭二 (はこだて未来大)

写真および略歴は「実践が拓く情報処理の次なるステップ～デジタルプラクティスの試み～」司会紹介を参照。

---

● [10:10-10:25] 講演 (3) 「論文の書ける基幹人材を育成する」

[講演概要]

基幹人材の育成は、経営が最も注力すべき仕事のひとつである。多くの企業は、それなりの教育を実践している。しかし、一般的な教育では、基幹人材は育たない。経験則だが、本気の企業イノベーションは、基幹人材を育成する。自分の能力をはるかに超える巨大なテーマを担ぎ、フラフラになりながらゴールインできた時に、社員は大きく成長する。「現場を観察し、現場と話し込み、現場を見える化する」「ありとあらゆる工夫で、問題の全体像を把握する」「マネジメントに必要な情報が自然に集まってくる仕組みを作り上げる」このような人材育成方針が論文を書くために必要な姿勢やスキルを自然と身に付けさせるであろう。



諏訪 良武 (ワクコンサルティング)

1971年オムロン入社。1985年通産省のΣプロジェクトに参加。1995年情報化推進センター長。1997年オムロンフィールドエンジニアリングの常務取締役として保守サービス会社の改革を指揮。2004年OA協会のIT総合賞、第1回コンタクトセンタアワードのマネジメント部門金賞を受賞。2006年ワクコンサルティング常務執行役員、国際大学グローバルコミュニケーションセンター上席客員研究員、多摩大学大学院客員教授。サービスや顧客満足度を科学的に分析し、サービス企業の改革を支援するサービスサイエンスを提唱している。著書「顧客はサービスを買っている」ダイヤモンド社。

---

● [10:25-10:40] 講演 (4) 「編集員も汗をかきます!! - デジタルプラクティスの論文の質の向上に向けて -」

【講演概要】

デジタルプラクティス (DP) の論文の著者と想定される現場の実務を経験された方は、貴重な知見をお持ちの一方、今まで、論文を書かれた経験が殆ど無い方も多い。このような方々の知見を、最大限に引き出すために、DP では、各論文毎に、編集担当をアサインして、著者と二人三脚になって、論文をブラッシュアップする共同推敲プロセス (メンタリング (mentoring) あるいはシェパードイング (shepherding) とも呼ばれる) をとっている。本発表では、この共同推敲プロセスにおいて、編集担当が意識して著者の知見を引き出すための工夫を紹介する。また、著者へのアンケートを元にこの共同推敲プロセスの有効性に関して考察する。



中田 登志之 (NEC)

1985年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程単位取得退学、京都大学工学博士。1985年NEC入社、その後Cenju/HAL等の並列計算機アーキテクチャの研究に従事、2010年度より現職。情報処理学会論文誌編集委員、学会誌編集委員、アーキテクチャ研究会幹事、総務担当理事、企画担当理事などを歴任。2010年よりデジタルプラクティス編集委員。

---

● [10:50-11:30] パネル討論会 「情報技術者にとってのデジタルプラクティスの意義と位置付け」

【セッション概要】

前半の講演者達に、情報処理学会事務局長下間芳樹氏に加わってもらい学会活動・事業におけるDPの位置付けや意義について討論を行う。産業界の情報技術者向けイベントであるソフトウェアジャパン、技術者コミュニティであるITフォーラムを通して、日本の情報技術者のキャリアパスや教育制度をどのように支えていくかというビジョンを描き、その中でDPの果たすべき役割を議論する。

司会：平田 圭二 (はこだて未来大)

写真および略歴は「実践が拓く情報処理の次なるステップ～デジタルプラクティスの試み～」司会紹介を参照。

パネリスト：丸山 宏 (大学共同利用機関 情報・システム研究機構 統計数理研究所)

写真および略歴は「講演 (1) なぜ企業の技術者が論文を書くのか」を参照。

パネリスト：諏訪 良武 (ワクコンサルティング)

写真および略歴は「講演 (3) 論文の書ける基幹人材を育成する」を参照。

パネリスト：中田 登志之 (NEC)

写真および略歴は「講演 (4) 編集員も汗をかきます!! - デジタルプラクティスの論文の質の向上に向けて -」を参照。



パネリスト：中田 秀樹 (グリーン)

株式会社NTTデータ入社後、ベンチャー制度により株式会社NTTデータポケットを起業代表をつとめた後、インプレスグループにジョイン。Think IT代表、Impress Watch 役員等を歴任。国立情報学研究所特任教授を経て、現在は、グリーン株式会社にて産学連携を担当している。著書「はじめてのレッドハット」「はじめてのGentoo」など。情報処理学会 学会誌「全国技術系勉強会マップ」の企画等。



パネリスト：下間 芳樹 (情報処理学会)

1973年京都大学工学部卒業、1975年東京大学大学院修士課程修了。同年三菱電機(株)入社。コンピュータ・ハードウェアの開発、ネットワークソフトウェアの研究と事業化に従事。専門分野はコンピュータアーキテクチャ、インターネットアプリケーション、プロジェクトマネジメント等。1995年情報技術総合研究所情報処理基盤部長、2001年通信システム統括事業部副統括事業部長、2005年三菱電機インフォメーションシステムズ(株)取締役技術本部長、2007年(株)テクノウェア取締役社長、2004-2006年情報処理学会理事、2011年1月から現職。情報処理学会会員、工学博士。

## サイバーワールドとリアルワールドとの接点 ～農業・漁業とサイバーワールド～ 9月9日(金) 13:00-15:50 [第2イベント会場 (函館大学 3F 講義室 301)]

### [セッション概要]

折しも TPP(Trans-Pacific Partnership: 環太平洋戦略的経済連携協定) 加盟の是非が問われる中、日本の農業・漁業といった第1次産業の国際競争力強化が叫ばれている。本企画では、昨今注目を浴びている農業・漁業とサイバーワールドとの接点に焦点を当てる。気象予測、屋外センサーネットワーク、植物工場、養殖のIT化、トレーサビリティの確保、産地直送Eコマースなど、農業・漁業とITとの融合が急速に進んでいる。農業・漁業事業者のIT化の取り組みと、IT側からの農業・漁業への参入の両面から、ビジネス・技術・研究に関して講演・議論を行なう。



#### 司会：浜口 斉周 (NHK 放送技研)

2000年横浜国大工学研究科修士了。同年NHKに入局、放送技術研究所に勤務。2007～2008年米国 Viewpoints Research Institute 客員研究員。2010年東工大イノベーションマネジメント研究科専門職修士了。2011年東工大総合理工研究科博士了。現在、次世代プラットフォーム研究部にてコンテンツ制作・記述・配信、ソーシャルメディアの研究に従事。技術経営修士(専門職)、博士(工学)。

### ● [13:00-13:50] 講演 (1) 「情報技術と農業・漁業」

#### [講演概要]

一次産業である農業と漁業は従事者が減り続けてこのまま放っておくと成り立たなくなることが危惧されている。食の安全性という観点からも国としても戦略的にこれらをどのようにして存続させるかが非常に重要になっている。農業や漁業に対する従来の情報技術の貢献は限定的なものであったがいまや本格的な貢献が強く望まれており、またそれが可能になってきた。本講演でははこだて未来大学が農業と漁業への情報技術の本格的な貢献をどのように進めているかについて述べる。



#### 松原 仁 (はこだて未来大)

1981年東大理学部情報科学科卒。1986年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年通産省工科院電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所。2000年公立はこだて未来大学システム情報科学部教授。NPO観光情報学会会長、人工知能学会誌編集委員長、NPOロボカップ日本委員会理事。著書に「鉄腕アトムは実現できるか」、「ロボットの情報学」、「先を読む頭脳」など。

### ● [14:00-14:50] 講演 (2) 「農林水産研究支援の現場からー研究と研究成果を支える基盤構築」

#### [講演概要]

農林水産省試験研究機関及び試験研究を行う6つの独立行政法人においては、合計100箇所近くにのぼる全国の研究拠点で様々な研究を行っている。その研究領域は多岐に渡り、従来の育種や飼養などに加え、近年ではITを活用した研究も多く行われている。例えば、スーパーコンピュータによるシミュレーションによるイネウカ類の飛来源の特定や飛来時期の予測など、その例は多い。開催地函館の名産であるスルメイカについても、海水温や衛星画像等のデータから、そのサイズや分布密度の解析が行われている。今回は、このようなITを利活用した研究成果と、これを支える各種の情報サービス、ネットワークなどの情報基盤の構築について触れる。



#### 林 賢紀 (農林水産省)

1970年東京生まれ。1993年に現在の所属である農林水産研究情報総合センターに採用、創世期にあったWebでの研究成果発信や研究支援への取り組みに始まり、現在では主として図書館システムや統合検索システムの開発と運用などに携わる。また、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程に在学、農林水産研究に係る研究者の情報探索行動等についての分析や調査研究を行っている。

---

● [15:00-15:50] 講演 (3) 「BIGLOBE の農業 ICT への取り組み」

〔講演概要〕

NEC ビッグローブは様々なインターネットサービスを提供する事業体であり、常にお客様への新しい価値創造に取り組んでいる。昨今、農業領域における ICT 活用の試みが増えている中、当社もインターネットを活用して本領域の課題解決に貢献したいと考えている。2010年2月に農業ベンチャー・マイファームと提携し、ネット対応型レンタル農園「BIGLOBE ファーム」を開始した。ライブカメラやウェブコミュニティを用いて菜園者に新しい価値を提供する一方、少しでも耕作放棄地の削減に貢献できればという思いがある。また、インターネットを活用して生産者と消費者をつなげる新しい試みも幾つか紹介する。



明石 剛 (NEC ビッグローブ)

1974年生まれ。2000年日本電気株式会社に入社し、BIGLOBE事業本部にてインターネット事業戦略の立案に従事。2006年米クレアモント経営大学院ドラッカーマネジメントスクールに留学し、MBA修了。2008年NEC ビッグローブ株式会社に復職、BIGLOBE キャピタル株式会社も兼務し、M&A やアライアンスによる事業開発に従事。2009年ソーシャルベンチャーのマイファームとの提携でBIGLOBE ファームを開始。農業領域において更にインターネットを活用できないかと模索している。

## 展示会のご案内

FIT2011 では会期中、以下の企業による展示会を開催致します。

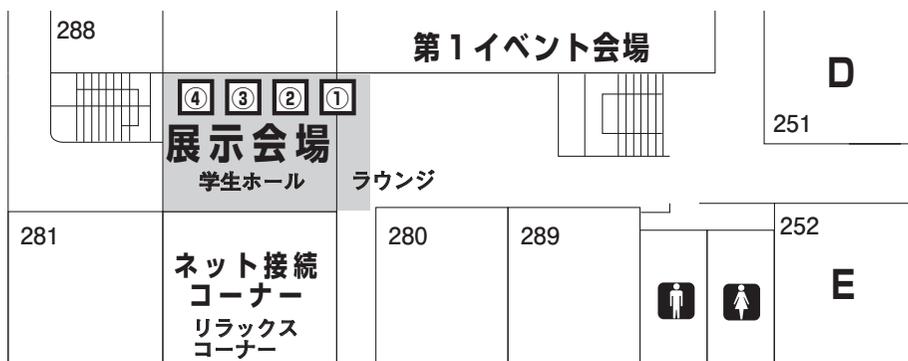
展示会場：函館大学 2F 学生ホール・ラウンジ

展示日時：9月7日（水）～9日（金）9:30-17:00 \*9日は15:00まで

ブース番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
①	<p><b>NTTアドバンステクノロジー株式会社</b> [<a href="http://www.ntt-at.co.jp/">http://www.ntt-at.co.jp/</a>] ペーパーレス会議システム MeetingPerfe</p> <p>高品質な電子資料をパソコン上で共有できるペーパーレスの会議支援システム。 使いやすさで圧倒的支持を受け、メモ機能やインターネット接続など、機能もますます充実。 ペーパーレス化により資料配布の手間や紙資源問題を解消した地球環境にもやさしいペーパーレス会議支援システムをご紹介します。 詳細：<a href="http://video.ntt-at.co.jp/meetingperfe/index.html">http://video.ntt-at.co.jp/meetingperfe/index.html</a></p>
②	<p><b>東日本電信電話株式会社</b> [<a href="http://www.ntt-east.co.jp/">http://www.ntt-east.co.jp/</a>] デジタルサイネージソリューション</p> <p>学内もしくは、屋外に設置した大型ディスプレイなどを用いて、効果的な情報配信を行えるシステムです。 施設内での掲示情報や、学生サービス向上を目指した情報の提供など、幅広い用途での活用が可能です。 コンテンツの制作・運用機能も充実しており、携帯電話からでもコンテンツ更新が行えるなど、運用負担の低減を支援するソリューションをご紹介します。 詳細：<a href="http://www.ntt-east.co.jp/business/solution/dss/index.html">http://www.ntt-east.co.jp/business/solution/dss/index.html</a></p>
③	<p><b>NTTラーニングシステムズ株式会社</b> [<a href="http://www.nttls.co.jp/">http://www.nttls.co.jp/</a>] 危機発生時の情報共有システム WebEOC®</p> <p>緊急事態や災害の発生・復旧状況を的確に認識することで意思決定を支援するシステムです。 他システムとの情報連携やお客様によるカスタマイズなど、拡張性に富んでいます。扱える情報は文字・地図・画像のほか、RSS、Twitterにも対応しています。 詳細：<a href="http://www.nttls.co.jp/webeoc/index.html">http://www.nttls.co.jp/webeoc/index.html</a></p>
④	<p><b>株式会社エスイーシー</b> [<a href="http://www.hotweb.or.jp/sec/index.html">http://www.hotweb.or.jp/sec/index.html</a>] UPnPプロトコルを用いた、ホーム家電連動制御＋電気使用量見える化のご提案</p> <p>弊社で保有しているIT技術を「エコ」に役立てる事をコンセプトに実用提案をデモンストレーション致します。 ①センサーによる、機器の連動制御 ②ホームコントローラーと電気使用量の見える化 Windowsにも搭載されているUPnP技術をエネルギー管理へ応用したご提案になっております。</p>

### 展示会場図

函館大学 2F



## 査読付き論文について

情報処理学会および電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーションングループが共同開催する情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology) は、2002年に創設され今年が第10回となる日本の情報科学分野最大の学会大会である。査読採択論文は各分野の講演論文集に収録されている。

FIT2011では、本フォーラムで最も特徴となるFIT査読付き論文について、情報分野のより一層の活性化を目指すべく、前回と同様の「コンファレンスペーパー」としての査読に加えて、優秀な論文をFITとして情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する「論文誌推薦制度」を継続した。査読はこれまでと同様、各分野に分野責任者を置き、各研究会から推薦された担当委員と協力して、それぞれの分野および研究会で独立に論文査読を行った。

以上の過程を踏まえて、6月13日に査読会議を開催し、採択論文の決定、船井ベストペーパー賞・FIT論文賞候補論文の決定、論文誌への推薦論文候補を決定し、それに引き続きプログラム編成会議でFIT2011プログラムを策定した。論文査読を行った各分野の投稿数、採択件数、採択率は次の通りである。

	投稿数	採択件数	採択率
A: モデル・アルゴリズム・プログラミング	11	6	54.5%
B: ソフトウェア	5	3	60.0%
C: ハードウェア・アーキテクチャ	20	11	55.0%
D: データベース	5	4	80.0%
E: 自然言語・音声・音楽	12	3	25.0%
F: 人工知能・ゲーム	22	10	45.5%
G: 生体情報科学	4	3	75.0%
H: 画像認識・メディア理解	-	-	-
I: グラフィクス・画像	14	3	21.4%
J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション	17	9	52.9%
K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用	14	7	50.0%
L: ネットワーク・セキュリティ	6	6	100.0%
M: ユビキタス・モバイルコンピューティング	17	9	52.9%
N: 教育・人文科学	5	3	60.0%
O: 情報システム	18	13	72.2%
合計	170	90	52.9%

以下の7編は、FIT2011学術賞選定委員会が採択された査読付き論文の中から所定の選定手続きを経て選んだ船井ベストペーパー賞3編・FIT論文賞4編である。

### 船井ベストペーパー賞

- ・高解像度デプスマップによる超解像を用いた自由視点画像のデータ量削減  
○杉本志織・志水信哉・木全英明・松浦宣彦 (NTT)
- ・電気自動車 (EV) 向け ITS 情報通信システムの開発と評価  
○服部有里子・下田智一 (三菱重工)・伊藤政義 (三菱自動車)
- ・自動メカニズムデザインを利用した組合せオプティミゼーションのルール抽出アルゴリズムの提案  
○毛利貴之・杉町勇和・東藤大樹・岩崎 敦・横尾 真 (九大)

### FIT 論文賞

- ・カラー難視性パターンを用いた情報付加手法における前景耐性改善の提案  
○金田北洋・鬼頭裕太・岩村恵市 (東理大)
- ・SSLにおける暗号設定確認ツールの提案と評価  
○佐藤亮太・吉田勝彦・知加良盛・関 良明・神田雅透・栢口 茂・平田真一 (NTT)
- ・眼球運動分析による英語リスニング電子教材学習者を対象とした学習者の主観難易度推定法  
○繁田亜友子・濱本和彦・野須 潔 (東海大)
- ・Robinson型判定手法を用いた単語共起フィルタの検証  
○吉村卓也・藤井雄太郎 (名工大)・伊藤孝行 (名工大/東大)

最後になったが、多忙の中、査読プロセスの運営および論文賞候補選考にご尽力頂いたFIT2011プログラム委員会およびFIT2011学術賞選定委員会の方々、限られた短期間で論文査読の責務を果たして頂いた査読者の方々に深く感謝する。

FIT2011プログラム委員会  
FIT2011学術賞選定委員会  
委員長 井宮 淳

## 一般講演プログラム

## A 分野：モデル・アルゴリズム・プログラミング（第1分冊）

## 【数理モデル化と問題解決（1）】

- 9月7日（水）09:30～12:00 1A会場（函館大学 2F 201） 座長 小林 聡（電通大）
- A-001 線形論理型言語を用いた人工化学のための推論の一手法 ……◎古野達也・富永和人（東京工科大）
- A-002 帰納論理プログラミングを用いた化学反応からのルール抽出  
……………○力 規見・越村三幸・橋本 司（九大）・山下全広（東洋紡）・藤田 博・長谷川隆三（九大）
- A-003 移住の少ない分散遺伝的アルゴリズムにおけるエリート保存が解探索に及ぼす影響  
……………◎佐藤一法・吉野純一・内田 健（サレジオ高専）・松澤照男（北陸先端大）
- A-004 内示情報の不確実性を考慮した未達率にもとづくマスカスタマイゼーション対応多品種生産計画のDP解法  
……………○奥原浩之（阪大）・上野信行（広島県大）
- A-005 多目的並列GPを用いたリスク分散型投資規則の抽出 ……◎小出哲彰・奥原浩之（阪大）・津田博史（同志社大）
- RA-001 移動領域の予測を用いたメランソーム追跡率の向上 ……◎岡部敏明・堀田一弘（名城大）

## 【アルゴリズム・コンピューテーション（1）】

- 9月7日（水）14:30～17:30 2A会場（函館大学 2F 201） 座長 大館 陽太（東北大）
- A-006 検査行列の構造を利用したLDPC符号のバンクチャ法に関する一考察 ……◎長田佳史・細谷 剛・後藤正幸（早大）
- A-007 二元対称消失通信路におけるビット反転復号法の改善 ……◎石橋想太郎・長田佳史・細谷 剛・後藤正幸（早大）
- A-008 効率よいVF符号化のための分節木を訓練する新手法 ……◎吉田論史・喜田拓也（北大）
- A-009 アルファベットのサイズが未知の情報源に対する効率的なバイズ符号化法の一考察  
……………◎岩間大輝・石田 崇・後藤正幸（早大）
- A-010 Morphic Characterizations with Insertion and Locality in the Framework of Chomsky-Schutzenger Theorem  
……………○藤岡 薫（九大）
- A-011 既存のプログラミング言語のための量子探索機構 ……◎山下義陽・桑原寛明・國枝義敏（立命館大）
- A-012 動的な階層構造に基づくグラフ書換言語REGREL+ ……○東 達軌・武田正之（東理大）

## 【プログラミングと数理モデル】

- 9月8日（木）09:30～12:00 3A会場（函館大学 2F 201） 座長 伊藤 恵（はこだて未来大）
- RA-002 日本語プログラミング言語によるプログラムの可読性の評価 ……◎馬場祐人・寛 捷彦（早大）
- A-013 形態素解析エンジンを利用した日本語プログラミング言語Wowrusの開発 ……◎利根川翔・寛 捷彦（早大）
- A-014 Caterpillar GC: 旧世代領域の分割を行うインクリメンタルな世代別実時間ごみ集め  
……………◎尾沢 崇・矢崎俊志・阿部公輝（電通大）
- A-015 並列プログラミング環境Molatomiumの実行環境軽量化 ……○境 隆二（東芝）
- A-016 ファジィ関数型推論モデルの学習法とその医療診断システムへの応用 ……◎関 宏理（大阪工大）
- A-017 ビジネスダイナミクスを活用したプロジェクト損益の変動予測検知モデル  
……………◎那須弘明・長岡晴子・中村英生・野口昭人・小野俊之・難波康晴（日立）
- A-018 最急上昇モデルによる日本・韓国全域尾根つき3次元地形図の作成 ……◎高加晋司（日大）・穴田浩一（早大高等学院）・杉田公生（東海大）・土田賢省（東洋大）・野牧賢志・夜久竹夫（日大）

## 【アルゴリズム・コンピューテーション（2）】

- 9月8日（木）15:30～17:30 4A会場（函館大学 2F 201） 座長 喜田 拓也（北大）
- RA-003 相互処罰による協調：私的観測付き無限回繰り返しの囚人のジレンマの部分観測マルコフ決定過程による解法  
……………◎ヨンジュン ジョ・岩崎 敦（九大）・神取道宏（東大）・小原一郎（UCLA）・横尾 真（九大）
- RA-004 Constant-space Data Structure for Farthest-point Voronoi Diagram ……浅野哲夫・◎小長谷松雄（北陸先端大）
- A-019 Image Retrieval Using Shape Recognition  
……………◎Natsuda Kaothanthong・Yoshiki Ota・Jinhee Chun・Takeshi Tokuyama（東北大）
- A-020 Efficient algorithms for network localization using cores of underlying graphs  
……………◎李 薏・大館陽太・徳山 豪（東北大）
- A-021 内部3連結グラフの外5角格子凸描画 ……○三浦一之（福島大）
- A-022 Balanced  $(C_5, C_{20})$ -Foil Designs and Related Designs ……○潮 和彦（近畿大）

## 【数理モデル化と問題解決（2）】

- 9月9日（金）09:30～12:00 5A会場（函館大学 2F 201） 座長 菅間 愛晃（琉球大）
- A-023 モンテカルロ法におけるポテンシャルモデルを利用した枝刈りの可能性 ……◎大島 真・山田孝治・遠藤聡志（琉球大）
- A-024 配属人数下限付き研究室配属問題 ……◎上田 俊・岩崎 敦・横尾 真（九大）
- A-025 ノード配置問題に対するアント最適化法 ……◎大倉慶一・片山謙吾・南原英生・西原典孝（岡山理大）
- A-026 移動体の通過順序付けにおける最適化手法の比較評価 ……◎澤野めぐみ・白石 将・尾崎敦夫・松村寛夫（三菱）
- A-027 整数ナップザック問題を対象としたQuantum-Inspired Evolutionary Algorithmの基礎検討  
……………○飯村伊智郎（熊本県大）・森山質文（有明工業高専）・中山 茂（鹿児島大）
- A-028 ネットワークの隔たり数とエントロピー ……◎坂本智晴・豊田規人（北海道情報大）
- A-029 経済性を考慮した電力自給のための生活スケジュールの提示 ……◎tuyen nguyen quang・中内亮介・加藤和弥・原田史子・島川博光（立命館大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2011年12月31日時点で32歳以下）

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## [アルゴリズム・コンピューテーション (3)]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6A会場(函館大学 2F 201) 座長 藤岡 薫(九大)
- RA-005 3次元パッキング問題に対する best-fit 法の効率的実現法 ……◎川島大貴・田中勇真・今堀慎治・柳浦陸憲(名大)
- RA-006 通信を考慮したタスクスケジューリング問題の効率的な並列探索解法の提案  
……………◎栗田浩一・宇都宮雅彦・塩田隆二・甲斐宗徳(成蹊大)
- A-030 2次割当問題に対する遺伝的復讐欲法 ……◎長谷部晶久・外山 史・東海林健二・宮道壽一(宇都宮大)
- A-031 (講演取消)
- A-032 最小重みの有向部分木アルゴリズムの実験的性能評価 ……◎安部友輔・千葉英史(法大)
- A-033 Extraction and Annotation of Personal Cliques from Social Networks  
……………◎Maike Erdmann・武吉朋也・帆足啓一郎・小野智弘(KDDI 研)

## B 分野：ソフトウェア (第1分冊)

## [テスト・検証]

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1B会場(函館大学 2F 205) 座長 岸 知二(早大)
- RB-001 テスト設計手法 PROST! ……◎鷲見 毅・加瀬直樹・市田憲明・小笠原秀人(東芝)
- B-001 要求分析モデルの妥当性検証のためのインタラクティブなテストデータ定義支援ツール  
……………◎武見 達・小形真平・松浦佐江子(芝浦工大)
- B-002 Web アプリケーションを対象とした高網羅率の単体テスト自動生成について ……◎鎌田高如・樋口昌宏(近畿大)
- B-003 ソフトウェア開発の上流工程での要求定義支援ツールについて  
……………◎上田翔太・石野正彦・石田秀信・寺田郁二(福井工大)
- B-004 オブジェクト指向プログラミング初学者のためのソースコード品質評価ツール  
……………◎若林智徳・松浦佐江子(芝浦工大)
- B-005 モデル検査ツール NuSMV を用いたオントロジー検証  
……………◎阿部雄貴・鈴木大輝(仙台高専)・和泉 諭(東北大)・高橋 薫(仙台高専)
- B-006 並列制御システム設計の UML アクティビティ図に対するペトリネットによる正当性検証  
……………◎關屋貴詞・和崎克己(信州大)

## [ソフトウェアアーキテクチャ]

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2B会場(函館大学 2F 205) 座長 山本里枝子(富士通研)
- B-007 ソフトウェア抽象化レイヤーの性能評価方法 ……◎河井 裕・岩井 郷・佐々木節・渡瀬芳行(高エネルギー加速器研)
- B-008 選択的関数展開によるソフトウェア高速化の検討 ……◎加賀洋渡・細木浩二・石川 誠(日立)
- B-009 Web システムにおけるオンラインバッチ処理方式 ……◎鹿島啓吾・引地一将・山村喜恒・宮崎肇之(日立)
- B-010 上流設計におけるシステム性能予測と評価 ……◎吉村礼子・魚住光成(三菱)
- B-011 エンドユーザによる Web アプリケーション構築環境の研究  
……………◎朽木 拓・山田敬三・高木正則・佐々木淳(岩手県大)
- B-012 ビジネスロジックモデリングのアプリケーション開発フレームワークへの依存性分析  
……………◎奥田博隆・小形真平・松浦佐江子(芝浦工大)
- B-013 エンドユーザ向け Web アプリケーションフレームワークの提案と試作 ……◎李 静・中野武司(明大)
- B-014 (講演取消)

## [開発支援・プロジェクト管理]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3B会場(函館大学 2F 205) 座長 白銀 純子(東京女子大)
- B-015 (講演取消)
- B-016 ロールオントロジーに基づいた個人・組織情報への動的なアクセス制御  
……………◎佐藤晋也・伊藤 仁(仙台高専)・和泉 諭(東北大)・高橋 薫(仙台高専)
- B-017 “meiseki” セマンティック Web サーバーの開発 ……◎青木祐香里・塚本享治(東京工科大)
- B-018 ソフトウェア開発データの分析に基づくエンジニアリング研究の推進～収集データの活用に向けた IPA/SEC の取組み～  
……………◎山下博之・秋田君夫(情報処理推進機構)
- B-019 PC 操作履歴を用いたプロジェクト管理システム ……◎楠 武士・戸田直美・伊藤智子・長森藤江(NTT コムウェア)
- B-020 (講演取消)
- B-021 Repository-based Design Method of Cooperation Protocol for Multiagent System  
……………◎Wenpeng Wei (Tohoku University)・Takahiro Uchiya (Nagoya Institute of Technology)・Tetsuo Kinoshita (Tohoku University)

## [デジタルドキュメント・ソフトウェアサイエンス]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4B会場(函館大学 2F 205) 座長 神谷 年洋(はこだて未来大)
- B-022 視点の可視化によって文章推敲を支援するシステムの提案  
……………◎山口 琢・椿本弥生・大場みち子・高橋 修(はこだて未来大)
- B-023 A Proposal on Flexible Information Management System for Next Generation of Museum  
……………◎Pao Sriprasertsuk・Channa Van・Pakornchat Pojanapreecha・Wataru Kameyama(早大)
- B-024 Web サイト群の構造分析による典型的構造の抽出法 ……◎東祐太郎・粕谷英人・大久保弘崇・山本晋一郎(愛知県大)
- B-025 セキュリティ要求分析を容易にするシステム機能ベースセキュリティパターンの研究  
……………◎宇野健二・田中英彦(情報セキュリティ大)
- B-026 GUI graphics library for embedded system ……◎アルマン ジリエ・深井祐介・中西 晃・堀口健生(東芝)
- RB-002 Web ブラウザからの GPGPU を実現するプラグインとその応用 ……◎富澤勇介・高井昌彰(北大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## [ソフトウェアサイエンス]

- 9月9日(金) 09:30 ~ 12:00 5B会場(函館大学 2F 205) 座長 樋口 昌宏(近畿大)
- RB-003 ラダーダイアグラムの検索的解析環境の構築 .....○仲井 勘(三菱)
- B-027 時間ベトリネット上でモデル化されたGALSシステムを対象としたUPPAALによる自動検証手法  
.....○三輪陽介・横川智教(岡山県大)・宮崎 仁(川崎医療福祉大)・近藤真史・佐藤洋一郎(岡山県大)
- B-028 UMLシーケンス図の構造記述から線形時相論理式への自動変換手法 .....○宮本直樹・和崎克己(信州大)
- B-029 ボランティアコンピューティングにおける功績値評価に基づいた探索問題解決手法  
.....○伊草拓哉・松澤智史・武田正之(東理大)
- B-030 モバイルエージェントシステム AgentSphere における強マイグレーション機構の改良  
.....○鈴木幸祐・山口大祐・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-031 モバイルエージェントシステム AgentSphere における通信プロトコルの開発  
.....○山本拓哉・山口大祐・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-032 JavaVM 上での非手続オブジェクト転送を可能とする直列化方式の構築 .....○山口大祐・赤井雄樹・甲斐宗徳(成蹊大)

## [GPGPU]

- 9月9日(金) 13:00 ~ 16:00 6B会場(函館大学 2F 205) 座長 山口 実靖(工学院大)
- B-033 メモリ選択を考慮した画像減色処理のCUDA実装 .....○田中宏二郎・目出雅之・若谷彰良(甲南大)
- B-034 CUDAによるフラクタル画像符号化実装の有効性評価 .....○目出雅之・田中宏二郎・若谷彰良(甲南大)
- B-035 GPUを考慮した並列分散GAの高速処理 .....○井沼安広・小柳 滋(立命館大)
- B-036 GPUを用いた波面記録法による計算機合成ホログラムの作成  
.....○岡田直久・西辻 崇・老川 稔・杉山 充・下馬場朋禄・増田信之・伊藤智義(千葉大)
- B-037 GPUによる合成開口レーダ画像再生処理の評価 .....○佐藤裕幸・高橋勝己・若山俊夫・尾崎敦夫(三菱)
- B-038 CUDAプログラミングのためのプロファイリングと最適化支援 .....○大橋拓也・桑原寛明・國枝義敏(立命館大)
- B-039 GPU用自動並列化コンパイラを用いたFortranプログラムの高速化手法の提案  
.....○田中裕也・吉見真聡・三木光範(同志社大)
- B-040 GPUのための回路方程式求解における命令レベル並列度の評価  
.....○富永浩文・中村あすか・篠塚研太・前川仁孝(千葉工大)

## [OS・ストレージ]

- 9月7日(水) 09:30 ~ 12:00 1C会場(函館大学 2F 206) 座長 早坂 光雄(日立)
- B-041 多コアファイルサーバのメモリ回収遅延を削減する分割リクレーム方式  
.....○深谷崇元・松沢敬一・揚妻匡邦・中村隆喜(日立)
- B-042 OSスローダウン発生時のプロセス情報取得方式 .....○亀井仁志(日立)・中村隆喜(日立/阪大)・鷹田憲久(阪大)
- B-043 組み込み用OSのネットワーク機能の設計と形式手法SPINによる検証  
.....○笠原良太(日立情報通信エンジニアリング)・望月祐希・野口健一郎(神奈川大)
- B-044 安全な組み込み用OSの試作:セパレーションカーネルに基づくセキュリティ機能の検討  
.....○望月祐希・野口健一郎(神奈川大)
- B-045 二重ファイルシステム環境を想定した仮想HDDイメージファイルの再配置に関する考察  
.....○山田将也・山口実靖(工学院大)
- B-046 Android OSのI/O性能評価と動作解析 .....○服部拓也・新居健一・山口実靖(工学院大)
- B-047 二重キャッシュ環境の下位キャッシュにおける参照の局所性の解析 .....○竹内洗祐・山口実靖・長廻雄介(工学院大)
- B-048 上位キャッシュサイズを考慮した二重キャッシュ環境における下位キャッシュの置換手法  
.....○長廻雄介・山口実靖(工学院大)

## [並列分散・仮想化技術]

- 9月7日(水) 14:30 ~ 17:30 2C会場(函館大学 2F 206) 座長 大谷 真(湘南工科大)
- B-049 MPIを利用した分散大容量メモリシステムにおけるページスワッププロトコルの評価  
.....○古尾谷歩・緑川博子・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-050 遠隔メモリアクセスのためのスワップページサイズ動的変更機構の検討 .....○内山 丞・緑川博子・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-051 並列計算機の通信ネットワークポロジの3次元表示手法 .....○鈴木遼平・石畑宏明(東京工科大)
- B-052 仮想機械ライブマイグレーションの統合方式 .....○都築俊徳・梅澤 猛・大澤範高(千葉大)
- B-053 ホストOSとゲストOSの統合的動作解析によるVMメモリ割当量に関する考察 .....○渡邊有貴・山口実靖(工学院大)
- B-054 I/Oスケジューラの改善による仮想計算機I/O性能向上手法の応答性能の評価 .....○新居健一・山口実靖(工学院大)
- B-055 遠隔ライブマイグレーションによるVM上プロセスの性能に関する考察  
.....○久野陽介・新居健一・山口実靖(工学院大)
- B-056 探索の重複領域を削減した階層的積み撃ち探索による実行時間最小マルチプロセススケジューリング問題の求解  
.....○中村あすか・富永浩文・前川仁孝(千葉工大)

## C分野:ハードウェア・アーキテクチャ(第1分冊)

## [計算機アーキテクチャと並列処理]

- 9月8日(木) 09:30 ~ 12:00 3C会場(函館大学 2F 206) 座長 窪田 昌史(広島市大)
- C-001 分岐予測ミスの偏りとローカル履歴の規則性を利用した分岐予測器の提案  
.....○大下尊見・孟 林・小柳 滋(立命館大)
- C-002 先行実行に基づく実行フェーズの削減に関する研究 .....○下村佳生・三上烈史・小林良太郎(豊橋技科大)
- RC-001 スタックスマッシング攻撃の正確な検出機構を備えたプロセッサアーキテクチャ  
.....○中務国男(京都工繊大)・山田 徹(三菱自動車)・布目 淳・平田博章・柴山 潔(京都工繊大)
- C-003 スレッドレベル並列化のためのメモリアリネーミング  
.....○藤井崇弘・森田清隆・布目 淳・平田博章・柴山 潔(京都工繊大)

- RC-002 マトリクスアーキテクチャ型超並列演算プロセッサを用いた Mersenne Twister の並列処理実装とその評価  
 .....◎望月陽平・吉田直之・松本直樹・村上佑馬・熊木武志・藤野 毅 (立命館大)
- C-004 GPU を用いた遺伝的アルゴリズムの並列計算フレームワークの提案 .....◎蔵野裕己・吉見真聡・三木光範 (同志社大)

#### [ディベンダブルシステム]

- 9月8日(木) 15:30~17:30 4C 会場 (函館大学 2F 206) 座長 米田 友洋 (NII)
- RC-003 Dependable Dual Edge Triggered Flip-Flops for Bloking Noise Signal .....○三浦幸也 (首都大)
- C-005 (講演取消)
- C-006 高水準ベトリネットを記述可能な援用ツール HiPS2 と非同同期回路検証への適用 .....◎堀内維作・和崎克己 (信州大)
- C-007 大規模反復型数値計算の高速化支援のための可視化ツールの開発  
 .....◎花房秀光・小寺 晋・木内俊介・山崎勇輔・福岡慎治・森真一郎 (福井大)
- C-008 P2P システムの耐故障性に関する検討 .....◎小澤一平・寺田夢人・新井雅之・福本 聡 (首都大)
- RC-004 ビットパターンドメディアレコーディングのための二重削除/挿入/反転誤り訂正符号  
 .....◎井上雅斗・金子晴彦 (東工大)

#### [リコンフィギャラブルシステムと応用]

- 9月9日(金) 09:30~12:00 5C 会場 (函館大学 2F 206) 座長 長名 保範 (琉球大)
- C-009 ストリームアプリケーションを対象としたスケラブル FPGA システムの提案  
 .....◎久原拓也・吉見真聡・三木光範 (同志社大)
- RC-005 A<sup>2</sup>LUT: Abridged Adaptive LUT Architecture  
 .....○飯田全広・田浦 健・古賀正紘・井上万輝・尼崎太樹・末吉敏則 (熊本大)
- C-010 動的再構成回路 DRoMPA2.0 の時分割実行モードを用いたアプリケーション実装評価  
 .....○小椋清孝・菰口将考・森下賢幸・伊藤信之 (岡山県大)
- RC-006 ネットワーク侵入検知のためのパターン非依存 NFA とシストリックアルゴリズムを組み合わせた正規表現マッチング  
 エンジン .....◎若葉陽一・稲木雅人・永山 忍・若林真一 (広島市大)
- RC-007 無線信号処理向けアレイプロセッサにおけるデータ列変換向け命令情報生成方法  
 .....◎石原希実・小堀友義・関 克敏・池川将夫 (NEC)
- C-011 動的再構成可能ハードウェアの設計における JHDL 利用手法の提案 .....◎古島直道・渡邊誠也・名古屋彰 (岡山大)

#### [コンピュータシステム]

- 9月9日(金) 13:00~16:00 6C 会場 (函館大学 2F 206) 座長 天野 英晴 (慶大)
- C-012 制御機器向け通信におけるデータ傾向とデータ量低減方式に関する検討 .....◎毛利悠美子・長島 勝 (三菱)
- C-013 動的な仮想チャネル管理機構を持ったオンチップルータ .....○Van Thiem Chu・小柳 滋 (立命館大)
- RC-008 電動車椅子用周辺状況把握システムの実装と評価 .....◎堀越大輔・田村 仁・片山茂友 (日本工大)
- C-014 HPC 向け高速大容量・低消費電力ストレージのための負荷分散手法に関する検討  
 .....◎黒川大樹・藤本和久 (東北大)・赤池洋俊 (日立)・三浦健司・村岡裕明 (東北大)
- C-015 関連データ先読みとスマートフォンの消費電力に関する研究  
 .....◎小貫貴央・神田高子・放地宏佳・吉永 努・入江英嗣 (電通大)
- RC-009 電子商取引サイトにおける応答待ち時間の短縮を目的としたデータベース参照のスケジューリング方式  
 .....◎赤坂謙二郎・布目 淳・平田博章・柴山 潔 (京都工繊大)

#### [システム設計]

- 9月7日(水) 09:30~12:00 1D 会場 (函館大学 2F 251) 座長 吉田 浩章 (東大)
- C-016 多様な資源を対象とした多資源非同同期式アービタの一構成  
 .....◎近藤真史・大山国晃・横川智教・佐藤洋一郎 (岡山県大)
- C-017 (講演取消)
- C-018 ユビキタスプロセッサの最適設計  
 .....◎成田一貴・三村直道・高木竜哉・内海晴信・石原拓美・深瀬政秋・佐藤友暁 (弘前大)
- C-019 ユビキタスプロセッサチップの開発  
 .....◎内海晴信・石原拓美・三村直道・高木竜哉・成田一貴・深瀬政秋・佐藤友暁 (弘前大)
- RC-010 マルチ LCD 用マルチ GPU クラスタシステムによる計算機合成ホログラムの計算高速化 .....○高田直樹 (湘北短大)・  
 下馬場朋禄 (千葉大)・中山弘敬 (国立天文台)・老川 稔・増田信之・伊藤智義 (千葉大)
- C-020 DVI 出力を持つ電子ホログラフィ専用計算機の開発 .....○増田信之・中村哲平・老川 稔・西辻 崇・紀井建彦・  
 下馬場朋禄・伊藤智義 (千葉大)・市橋保之 (NICT)

#### [組込みシステム]

- 9月7日(水) 14:30~17:30 2D 会場 (函館大学 2F 251) 座長 中本 幸一 (兵庫県大)
- RC-011 巡回符号向きプロセッサの設計と評価 .....◎君家一紀・浜辺 崇・坂主圭史・武内良典・今井正治 (阪大)
- C-021 論理ゲート変換によるニューラルネットワークのデジタル回路化  
 .....◎立石直宏・重井徳貴 (鹿児島大)・寺村正広 (川内職能開発短大)・宮島廣美 (鹿児島大)
- C-022 メモリアクセス命令の特徴を利用したセットアソシアティブキャッシュの低電力アクセス手法  
 .....◎会田康男・岡部 翔・矢崎俊志・阿部公輝 (電通大)
- C-023 (講演取消)
- C-024 起動時検証処理の省略による JavaTM 起動高速化方式の検討 .....○福井大輔 (日立)
- C-025 Android OS を搭載した組み込みデバイスとスマートフォンによるモータ制御  
 .....◎齋藤 翼・高木祐介・金丸隆志 (工学院大)
- C-026 Android OS とカメラを用いた対象物追跡における処理の高速化 .....◎高木祐介・齋藤 翼・金丸隆志 (工学院大)
- C-027 組込みシステム開発のリスクマネジメント .....○小高文博 (千葉大 / NNT データ先端技術)・佐藤建吉 (千葉大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## D 分野：データベース（第2分冊）

## [情報・映像推薦]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3D会場(函館大学2F251) 座長 牛尼 剛聡(九大)
- RD-001 タグランキングに基づく映像推薦 ……◎吉田大我・入江 豪・佐藤 隆・小島 明(NTT)
- RD-002 セレンディビティを考慮した情報推薦システムの提案 ……◎打矢隆弘・吉久宗一・内匠 逸(名工大)
- D-001 推薦番組の選択行動のパターン化に関する検討  
……………◎古宮弘智・住吉英樹・後藤 淳・佐野雅規・藤井真人(NHK 技研)
- D-002 テレビソーシャルサイトにおけるシニア層の行動に関する一検討 ……◎宮崎 勝・藤沢 寛・佐野雅規(NHK 技研)
- D-003 協調フィルタリングによる情報推薦の評価実験を支援する擬似データセットの提案  
……………◎横田智博・小林亜樹(工学院大)
- D-004 弁証法論理再構築 ……◎高原利生(所属なし)

## [ストレージと検索]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4D会場(函館大学2F251) 座長 中野美由紀(東大)
- D-005 センサデータのための分散サンプリングストレージにおける書き込み処理  
……………◎佐藤浩史(NTT/早大)・東島由佳・中村元紀・松村 一(NTT)・小柳恵一(早大)
- D-006 ストレージ階層仮想化機能におけるデータ配置先決定法の研究  
……………◎大平良徳・今崎美保・須藤 梓・坪 弘明・江口賢哲(日立)
- D-007 ストレージ階層仮想化機能における高速な移動先階層の判定方法  
……………◎坪 弘明・今崎美保・須藤 梓・大平良徳・江口賢哲(日立)
- D-008 ストレージ階層仮想化機能におけるアクセス頻度の低OVHな採取方法  
……………◎今崎美保・坪 弘明・大平良徳・須藤 梓・江口賢哲(日立)
- D-009 大規模並列文字列照合のGPUによる高速化 ……◎笹川裕人・金田悠作・有村博紀(北大)
- D-010 類似文字列検索における可変長N-gramを用いたマージの効率化 ……◎木村光樹(東大)・高須淳宏・安達 淳(NII)

## [情報アクセス支援]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5D会場(函館大学2F251) 座長 森 辰則(横浜国大)
- D-011 次の検索を支援するインタフェースの提案 ……◎橋本 歩・小林亜樹(工学院大)
- D-012 協調的な情報を用いた検索ナビゲーション手法 ……◎庄司功樹・小林亜樹(工学院大)
- D-013 Q&A サイトにおける情報検索型質問の自動抽出とクラスタリング  
……………◎田中友二・徳永幸生(芝浦工大)・杉山 精(東京工芸大)
- D-014 Web閲覧履歴におけるうろ覚えWebページの対話的再発見  
……………◎井倉真一・近藤 司・伊藤真也・原田史子・島川博光(立命館大)
- RD-003 口コミ情報からの目的情報抽出 ……◎若木裕美・有賀康顕・中田康太・藤井寛子・住田一男・鈴木 優(東芝)
- RD-004 NTCIREVAL: A Generic Toolkit for Information Access Evaluation ……◎Tetsuya Sakai(Microsoft)

## [Webとソーシャルメディア]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6D会場(函館大学2F251) 座長 酒井 哲也(Microsoft)
- D-015 テレビ番組関連Twitterタイムラインからの代表ツイート選択手法の提案  
……………◎中澤昌美・帆足啓一郎・小野智弘(KDDI 研)
- D-016 Twitterにおけるスパムユーザの分別 ……◎中村悠一・山田剛一・絹川博之(電機大)
- D-017 ソーシャルブックマークにおけるスパムユーザの分別 ……◎三瓶智昭・山田剛一・絹川博之(電機大)
- D-018 マイクロブログにおける発言者と投稿文の信頼度推定手法 ……◎岩井一晃・鈴木 優(名大)・石川佳治(名大/NII)
- D-019 技術コラムにおけるWebリンクの寿命 ……◎飯尾 淳(三菱総研)
- D-020 内容の同一性を考慮した類似ユーザ群のWebページタギングに基づく意味情報抽出  
……………◎伊藤真也・原田史子・島川博光(立命館大)

## [クラスタリング]

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1E会場(函館大学2F252) 座長 鈴木 優(名大)
- D-021 動的フラクタル次元を利用したEEGデータの索引付け ……◎矢島雄一・小西 修(はこだて未来大)
- D-022 クラスタリングを利用した距離尺度の組み合わせによるTop-k検索 ……◎鈴木貴敦(東大)・高須淳宏・安達 淳(NII)
- D-023 センサネットワークにおけるMSTクラスタリングを用いた経路最適化 ……◎木村拓人・小西 修(はこだて未来大)
- D-024 道路網上のANN探索法 ……◎HTOO HTOO 大沢 裕(埼玉大)・曾根原登(NII)
- D-025 更新履歴による注目度を利用した番組検索結果のリランキング  
……………◎後藤 淳・宮崎 勝・田中英輝(NHK)・相澤彰子(NII)
- D-026 正規化時系列のクラスタリングによるオンラインオークション落札価格予測  
……………◎横谷拓也・川越恭二・黄 宏軒(立命館大)

## [データベースシステム]

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2E会場(函館大学2F252) 座長 横山 昌平(静岡大)
- D-027 広域分散環境におけるKVSの性能に関する一考察 ……◎堀内浩基・山口実靖(工学院大)
- D-028 RDBのリレーションに基づく連携サービス設計方式 ……◎米田貴雄・山足光義(三菱)
- D-029 SuperSQLを利用したデータベースシステムの構築と現状の問題点  
……………◎五嶋研人(職能開発大)・鈴木秀男(東海職能開発大)
- D-030 RDB技術に基づくストリームデータ問合せ処理 ……◎石川佳治(名大/NII)・◎加藤 翔・鈴木 優(名大)
- D-031 XMLデータ検索システムの自動生成 ……◎光吉和哉・杉本典子(崇城大)

- D-032 相談構造を考慮した学生相談記録システムの提案 .....◎小田高宜・武藤敦子・犬塚信博(名工大)  
 D-033 スマートフォンによる訪問看護支援システムの開発 .....◎高橋秀拓・小椋宇謙・三上智之(釧路公大)・  
 林 秀彦(鳴門教育大)・竹内美妃(日赤北海道看護大)・皆月昭則(釧路公大)

## E 分野：自然言語・音声・音楽 (第2分冊)

### [情報抽出・検索]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3E会場(函館大学2F252) 座長 森 辰則(横浜国大)  
 E-001 (講演取消)  
 E-002 テレビの視聴履歴を基にした時事情報提供システムの構築  
 .....◎山本達也・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)  
 E-003 ユーザーレビューを用いた宿泊施設の情報補完手法 .....◎辻井康一・津田和彦(筑波大)  
 E-004 感情コーパスからの感情語の自動抽出 .....◎筒井奈々・篠山 学(香川高専)  
 E-005 生命医学文献の新たな文獻探索システムの開発支援 .....◎田中一博・大和田勇人(東理大)  
 E-006 文章を整理するための表自動生成手法 .....◎西口駿祐・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)

### [言語資源]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4E会場(函館大学2F252) 座長 梅基 宏(富士ゼロックス)  
 E-007 名詞と動詞の共起に着目した状況認識 .....◎野呂翔一・天沼 博・松澤和光(神奈川大)  
 E-008 オントロジーを用いた民具研究者支援システム .....◎佐藤俊輔・木下宏揚・松澤和光(神奈川大)  
 E-009 多対多の関係性を持つ多言語用例対訳のデータ構造の提案と評価 .....◎福島 拓・吉野 孝(和歌山大)  
 E-010 コーパスを利用した自然言語研究・学習・教育支援システムの開発に向けたRDBMSの評価  
 .....◎藤野玄大・坂本泰伸・三浦宏太・伊藤裕基・奥田悠介(東北学院大)  
 E-011 自動生成された常識的知識を表現する文の自然性判定 .....◎村本晃一・Rafal Rzepka・荒木健治(北大)  
 E-012 日中機械翻訳のためのスーパー関数抽出における対訳辞書自動構築  
 .....◎李 楊・松本和幸・北 研二・任 福継(徳島大)

### [音声・音響の分析・生成]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5E会場(函館大学2F252) 座長 森 大毅(宇都宮大)  
 E-013 日本人と中国人の感情音声における受容特性の比較 .....◎松澤直之・川村 剛・政倉祐子・大野澄雄(東京工科大)  
 E-014 基本周波数パターン生成過程モデルのフレーズ指令生起における感情の強弱の影響  
 .....◎宮坂直樹・政倉祐子・大野澄雄(東京工科大)  
 E-015 音声に含まれる感情量の定量化のための検討 .....◎川村 剛・松澤直之・政倉祐子・大野澄雄(東京工科大)  
 E-016 短い文節から成る演技音声の「怒り」と「喜び」の程度を表す発話の開始・終了の局所的特徴の研究  
 .....◎窪田恭紘・飯田 仁(東京工科大)  
 E-017 最適音レベルに基づく圧縮処理音の難聴者による評価(I) .....◎鈴木 裕・阪田 治・今村俊一・遠藤周一郎・  
 水越昭仁(山梨大)・服部 遊(東京都立産業技術研究センター)・飯田 望・脇 隼人(山梨大)  
 E-018 受聴試験による楕円体モデルを用いた方向知覚特性の検討  
 .....◎徳光夕麻・徳永幸生(芝浦工大)・杉山 精(東京工芸大)  
 E-019 環境音を用いたモザイク音楽の生成：猫と犬の鳴き声による生成する曲の検討  
 .....◎武井 祥・徳永幸生(芝浦工大)・杉山 精(東京工芸大)・阿部匡伸(岡山大)

### [音声言語処理]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6E会場(函館大学2F252) 座長 西村 竜一(和歌山大)  
 E-020 仮想音響空間内の音声理解度推定に用いるひずみ尺度の検討 .....◎小林洋介・近藤和弘(山形大)  
 E-021 DSPを用いた雑音抑圧法のための有色性駆動源カルマンフィルタアルゴリズム  
 .....◎寺島大雅・名取隆廣・田邊 造(諏訪東理大)・古川利博(東理大)  
 RE-001 GMMの分布選択に基づくアンカーモデルのクラスタリングによる話者認識  
 .....◎細川光政・西田昌史・山本誠一(同志社大)  
 RE-002 文単位で分割されたテキストで学習した言語モデルによる単語信頼度を用いた文境界検出  
 .....◎鈴木伸尚・西田昌史・山本誠一(同志社大)  
 E-022 字幕文字列自動対応付けのための連語Ngram音声認識に関する検討 .....◎高橋伸弥・森元 逞(福岡大)  
 E-023 話題による音声認識誤り単語の補正手法 .....◎角地良太・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)  
 E-024 高齢者対話インタフェース・発話間の共起性に着目したユーザの話し相手になるロボットインタフェース  
 .....◎小林優佳・山本大介・土井美和子(東芝)

### [生成・対話・知識獲得]

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1F会場(函館大学2F253) 座長 田村 直良(横浜国大)  
 E-025 発言分類に基づく自由対話システム .....◎三浦盛生・鈴木輝彦・太原育夫(東理大)  
 E-026 見出し生成における諺の意味とリズムの利用 .....◎海老澤弘明・天沼 博・松澤和光(神奈川大)  
 E-027 ニュース記事を替え歌化するシステムの提案 .....◎古田和也・天沼 博・松澤和光(神奈川大)  
 E-028 発話のためのWebを用いた背景知識の構築手法 .....◎林 輝大・奥村紀之(長野高専)  
 E-029 新聞記事からの複合語概念表記の獲得 .....◎柳瀬秀夫・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)  
 E-030 コンピュータ会話のためのニュース記事見出し抽出手法 .....◎榎下洋一・渡部広一・土屋誠司・吉村枝里子(同志社大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## [感情・評判]

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2F会場(函館大学 2F 253) 座長 鈴木 基之(徳島大)
- E-031 ブログ記事から抽出した用例文に基づくオノマトペの感情分析  
.....◎内田ゆず(青学大)・荒木健治(北大)・米山 淳(青学大)
- E-032 用例間の類似度に基づく若者言葉の感情推定手法 .....◎松本和幸・北 研二・任 福継(徳島大)
- E-033 顧客意見の評判遷移分析 .....◎瀬川 修(中部電力)・村上一彦・水野雅紀(中電シーティーアイ)
- E-034 レビュー集合要約における特徴的評価視点セレクション .....◎板谷悠人・乾 孝司・山本幹雄(筑波大)
- E-035 マイクロブログを用いた感情表現収集 .....◎水岡良彰・鈴木 優(東芝)
- RE-003 調停要約生成手法の改善と調停要約コーパスを用いた評価  
.....◎渋谷英潔・中野正寛・石下円香・永井隆広・森 辰則(横浜国大)
- E-036 言語表現の特徴に基づくソーシャルブックマークのコメントの分類 .....◎高田 彰・山田剛一・絹川博之(電機大)

## [音楽情報科学 (MUS)]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3F会場(函館大学 2F 253) 座長 平田 圭二(はこだて未来大)
- E-037 (講演取消)
- E-038 コンピュータプログラミングの体験学習を目的とした、高校数学による音楽生成の実習の試み  
.....◎金子 格(東京工芸大)
- E-039 パート間の調和を利用した合唱の基本周波数推定の検討 .....◎河合彬弘・酒向慎司・北村 正(名工大)
- E-040 関係調を考慮したパラメータ共有HMMに基づく音響信号の自動和音認識の検討  
.....◎杉山雄一・奥村健太・酒向慎司・北村 正(名工大)
- E-041 演奏動画の盛り上がり検出に用いる特徴量の検討  
.....◎小山健一(早大)・石先広海・帆足啓一郎・小野智弘(KDDI研)・甲藤二郎(早大)
- E-042 センサフュージョンによる打楽器インタフェース .....◎小川智久・甲藤二郎(早大)
- E-043 (講演取消)

## [言語分析・多言語]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4F会場(函館大学 2F 253) 座長 乾 孝司(筑波大)
- E-044 Wikipediaを用いた文化差検出手法の評価 .....◎吉野 孝(和歌山大)・宮部真衣(東大)
- E-045 中期ウイグルテキストの音節分割アルゴリズム規則の設計  
.....◎ウスマン ウメルジャン・木村哲也・山田耕一・猿渡隼斗・三上喜貴(長岡技科大)
- E-046 伝統的モンゴル語テキストの音節分割アルゴリズム規則の設計  
.....◎MENGKE BATU・Omarjan Osman・中平勝子・三上喜貴(長岡技科大)
- E-047 単語間の意味カテゴリー距離に基づく用例ベース未知語意味カテゴリー推定  
.....◎福岡知隆・服部 峻(東京工科大)・久保村千明(山野美容芸術短大)・亀田弘之(東京工科大)
- E-048 トルファンマニ文字コードとグリフのデザイン .....◎吾買尔江吾斯曼(長岡技科大)・  
中平勝子・山田耕一・三上喜貴(Nagaoka University of Technology)
- E-049 記述位置情報による質問構造のモデリング手法 .....◎原田智彦・津田和彦(筑波大)

## [応用]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5F会場(函館大学 2F 253) 座長 荒木 健治(北大)
- E-050 「なぞかけ」を用いた商品アイデア発想支援法 .....◎青木研人・天沼 博・松澤和光(神奈川大)
- E-051 共起頻度と略語形成パターンを用いた略語の自動推定 .....◎三輪貴大・浦谷則好(東京工芸大)
- E-052 英字略語の意味判断システム .....◎田邊 僚・渡部広一・土屋誠司・吉村枝里子(同志社大)
- E-053 Wikipediaから抽出した語彙関係リソースの小論文自動評価タスクへの適用  
.....◎藤田 央・藤田 彬・田村直良(横浜国大)
- E-054 ブログ著者の年齢推定に有効な素性の抽出 .....◎篠山 学(香川高専)
- E-055 Predicting Onset and Outbreak of Influenza Like Diseases Using Social Media  
.....◎MuhammadAsif Khan・Masayuki Iwai・Kaoru Sezaki(The University of Tokyo)
- E-056 携帯電話における入力誤り自動訂正手法の日常的な文章に対する有効性について  
.....◎菊地直樹・松原雅文・Goutam Chakraborty・馬淵浩司(岩手県大)

## [分類]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6F会場(函館大学 2F 253) 座長 大塚 裕子(はこだて未来大)
- E-057 学習指導要領に基づいた設問の自動分類タスクにおけるモデルの選択に関する研究  
.....◎名嘉真之介・當間愛晃・赤嶺有平・山田孝治・遠藤聡志(琉球大)
- E-058 ニュース記事の国別クラスターの作成と多国間対応の実験評価 .....◎吉野太郎・山田剛一・絹川博之(電機大)
- E-059 Wikipedia記事に対する類似記事群の出現傾向の提示方式 .....◎北村大樹・山田剛一・絹川博之(電機大)
- E-060 同一事象に対する異新聞記事時間の相違点検出のための文間対応とその評価  
.....◎三橋靖大・山田剛一・絹川博之(電機大)
- E-061 (講演取消)
- E-062 (講演取消)
- E-063 Web検索結果のラベリングにおける閾値の利用について  
.....◎吉田俊広・松原雅文・Chakraborty Goutam・馬淵浩司(岩手県大)

## F 分野：人工知能・ゲーム（第2分冊）

## 【エージェント】

- 9月7日（水） 09:30～12:00 1G会場（函館大学 2F 254） 座長 松原 繁夫（京大）
- F-001 Q学習を用いたルール優先度自動決定機構の構築 .....◎板津呂翔・打矢隆弘・内匠 逸（名工大）
- F-002 Webブラウザを用いたロボットのモニタリング機構 .....◎立松直也・打矢隆弘・内匠 逸（名工大）
- F-003 マルチエージェントシミュレーション環境 GPGCloud における実行順序生成機構の開発  
.....◎岩崎裕太郎・浅井勇貴・八横博史（名大）
- RF-001 【船井ベストペーパー賞受賞論文】  
自動メカニズムデザインを利用した組合せオークションのルール抽出アルゴリズムの提案  
.....◎毛利貴之・杉町勇和・東藤大樹・岩崎 敦・横尾 真（九大）
- RF-002 自動交渉マルチエージェント技術に基づくコラボレーティブなデザイン支援システムの試作  
.....◎奥村 命・藤田桂英・吉村卓也（名工大）・伊藤孝行（名工大/東大）
- F-004 テーブル指向エージェントシミュレーションフレームワークの提案  
.....◎津田 侑・森 幹彦・喜多 一・上原哲太郎（京大）
- F-005 共進化ジレンマゲームにおける平等ルールのオープンエンドな進化  
.....◎佐藤 尚（沖縄高専）・松川将也（創和ビジネス・マシズ）

## 【知識処理】

- 9月7日（水） 14:30～17:30 2G会場（函館大学 2F 254） 座長 大須賀昭彦（電通大）
- F-006 範囲付き真理値と信頼度の概念を用いた議論フレームワーク .....◎加藤 健・鈴木輝彦・太原育夫（東理大）
- F-007 Web および二次属性を用いた属性追加手法の提案 .....◎芋野美紗子・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
- F-008 オフライン全文検索エンジンをを用いた文字列間の正規化類似度距離 .....◎佐藤 哲（楽天）
- F-009 観点を利用した関連度計算方式の拡張 .....◎古田哲朗・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
- F-010 専門家の知識を用いるインタラクティブなベイジアンネットワーク構成手法  
.....◎吉見将太・黒川悦子・橋本和夫（東北大）
- F-011 色彩感情研究における主観的データのオントロジーに基づく記述  
.....◎村松慶一（早大/日本学術振興会）・戸川達男・小島一見・松居辰則（早大）
- RF-003 性別による言葉遣いの違いを考慮したプログラマーの年齢推定手法の提案 .....◎古山直樹・寛 捷彦（早大）
- RF-004 テレビ番組に関するコメント解析手法 .....◎有安香子・藤沢 寛・金次保明（NHK 技研）

## 【バタン識別】

- 9月8日（木） 09:30～12:00 3G会場（函館大学 2F 254） 座長 片上 大輔（東京工芸大）
- F-012 AHP における最良代替案判定関数を用いた一対比較の削減 .....◎但野友美・川村秀憲・鈴木恵二（北大）
- F-013 クラス情報を用いない相関ルールによるクラス分類手法  
.....◎岡田恵理香・杉村 博・佐賀亮介・松本一教（神奈川工科大）
- RF-005 特徴学習を用いた空手組手の動作識別 .....◎佐藤恵一（函館高専）・栗山 繁（豊橋技科大）
- F-014 複数単語間の共起情報を用いた有害文書自動分類手法の提案  
.....◎藤井雄太郎・吉村卓也（名工大）・伊藤孝行（名工大/東大）・安藤哲志（NTT データ）
- F-015 二値判別器の組み合わせによる RVM 多値文書分類手法に関する一考察  
.....◎小田井良輔・雲居玄道・三川健太・後藤正幸（早大）
- F-016 適応的な距離学習による最近傍分類器に関する一考察 .....◎植田 覚・松山洋一・竹内一郎（名工大）
- F-017 SVM を用いた多変量 2 標本検定のパス追跡による高速化とその遺伝子群解析への応用  
.....◎磯部浩太・石川勇太（名工大）・鳥山昌幸（東工大）・泉 泰介・竹内一郎（名工大）

## 【情報推薦】

- 9月8日（木） 15:30～17:30 4G会場（函館大学 2F 254） 座長 栗原 聡（阪大）
- F-018 構図情報による類似画像検索のための特徴量抽出 .....◎尾内克郎・鈴木輝彦・太原育夫（東理大）
- RF-006 類似ユーザー群を用いた非有益嗜好の抽出手法の提案 .....◎近藤 司・伊藤真也・原田史子・鳥川博光（立命館大）
- F-019 栄養情報を用いた目的指向料理推薦システムの試作  
.....◎植田嗣也（名工大）・伊藤孝行（名工大/東大）・岩上将史（名工大）
- RF-007 【FIT 論文賞受賞論文】  
Robinson 型判定手法を用いた単語共起フィルタの検証  
.....◎吉村卓也・藤井雄太郎（名工大）・伊藤孝行（名工大/東大）
- F-020 商品の比較履歴とユーザーレビューに基づく推薦手法に関する一考察 .....◎榮枝隼人・三川健太・後藤正幸（早大）
- F-021 口コミ型情報推薦システムの実装 .....◎大畑徹朗・武田利浩・平中幸雄（山形大）

## 【複雑系及び一般】

- 9月9日（金） 09:30～12:00 5G会場（函館大学 2F 254） 座長 菅原 俊治（早大）
- RF-008 細胞死に関する不確定要素を含むオントロジー記述方法の提案 .....◎山内千尋・小島一見・松居辰則（早大）
- RF-009 文節データベースを用いた日本語アナグラムの自動生成 .....◎鈴木啓輔・佐藤理史・駒谷和範（名大）
- F-022 全方位カメラを用いた個人注目映像の生成 .....◎白須 遼・加藤ジェーン・石井健一郎（名大）
- F-023 多目的施設配置問題の進化型計算による解法に関する研究 .....◎坂根章浩・松富達夫・木村有寿（近畿大）
- F-024 レーザレンジファインダを搭載した移動ロボットのパーティクルフィルタに基づく人物位置推定  
.....◎河端 悟・東原智幸・渥美雅保（創価大）
- F-025 動的問題のための Particle Swarm Optimization における共生モデルの適用  
.....◎森 一真・山口崇志・ケネス マッキン・永井保夫（東京情報大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2011年12月31日時点で32歳以下）

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- F-026 写真ジオコーディング支援のための二種類の緩和問題を用いる遺伝的探索  
 .....◎鳴瀬大二郎・新井侑太・鈴木徹也 (芝浦工大)

#### [Web 情報処理]

- 9月9日 (金) 13:00 ~ 16:00 6G 会場 (函館大学 2F 254) 座長 大須賀昭彦 (電通大)
- RF-010 報酬に基づく強化学習を用いたチーム編成手法の提案と評価 .....◎浜田 大・菅原俊治 (早大)
- F-027 (講演取消)
- F-028 コンテンツフィルタリングの自動化手法 .....◎池田匡邦・矢崎俊志・阿部公輝 (電通大)
- F-029 (講演取消)
- F-030 Twitter ユーザ間の興味の重なり解析 .....◎遠藤福富美・武田利浩・平中幸雄 (山形大)
- F-031 マイクロブログにおける発話シミュレーターに向けた基礎研究 .....◎新井雅也・川村秀憲・鈴木恵二 (北大)
- F-032 出現頻度に基づく自由回答文の格付け推定: 楽天 GORA レビューデータへの応用  
 .....◎早坂 透・川村秀憲・鈴木恵二 (北大)
- F-033 タブブラウザ上のウェブアクセス履歴の分析 .....◎星加拓人・藤田 悟 (法大)

#### [知能システム]

- 9月7日 (水) 09:30 ~ 12:00 1H 会場 (函館大学 3F 351) 座長 大平 茂輝 (名大)
- F-034 グラフ彩色インスタンス生成のための GA に基づく極小非可解構造の導出  
 .....◎水野一徳・早川大貴・佐々木整 (拓大)・西原清一 (筑波大)
- F-035 複数の情報における要約技術を活用した知的システムに関する考察  
 .....◎馬 文鵬 (鳴門教育大)・皆月昭則 (釧路公大)・林 秀彦 (鳴門教育大)
- F-036 サービス資源配分における利用者行動のモデル化 .....◎小野良太・川村秀憲・鈴木恵二 (北大)
- F-037 (講演取消)
- F-038 モバイル端末を用いたロボットの学習教示インターフェース作成に関する基礎研究  
 .....◎照屋唯智郎・兼城正樹・山田孝治・遠藤聡志・當間愛見・赤嶺有平 (琉球大)

#### [学習とゲーム]

- 9月7日 (水) 14:30 ~ 17:30 2H 会場 (函館大学 3F 351) 座長 竹内 一郎 (名工大)
- F-039 マルチタスク特徴抽出アルゴリズムを用いたコスト考慮型 SVM に関する検討  
 .....◎本郷辰哉・杉浦 徹 (名工大)・島山昌幸 (東工大)・竹内一郎 (名工大)
- F-040 混合決定木モデルによる連続変数の予測法に関する一考察 .....◎坂口卓也・石田 崇・後藤正幸 (早大)
- F-041 SVM 学習のためのデータサンプリング手法の提案  
 .....◎高橋 洸 (東北大)・松本一則 (KDDI 研)・橋本和夫・徳山 豪 (東北大)
- F-042 複数の目標を持つタスクに対する適格度トレースを用いた強化学習 .....◎小野寺道寛・鈴木輝彦・太原育夫 (東理大)
- F-043 コンピュータ将棋における 2 段階合議システムの構成法 .....◎吉田航太・伊藤 雅 (愛知工大)
- F-044 ゲーム AI におけるチューリングテストの適用評価  
 .....◎安武 諒・岩崎信也・山口崇志・ケネス マッキン・永井保夫 (東京情報大)
- F-045 分散オンラインゲームにおける同期方式の研究 .....◎小川健太郎・オネシムス ユリウス・小林 洋 (東海大)
- F-046 (講演取消)

## G 分野：生体情報科学 (第 2 分冊)

#### [医用画像]

- 9月8日 (木) 09:30 ~ 12:00 3H 会場 (函館大学 3F 351) 座長 早川 吉彦 (北見工大)
- RG-001 OS-EM 画像再構成法を用いて X 線 CT 画像における金属アーチファクトの軽減  
 .....◎董 建・近藤 篤・阿部恒介・早川吉彦 (北見工大)・  
 Cornelia Kober・Sven Kannenberg (Hamburg University of Applied Sciences)
- G-001 頭部 3D-CT Angiography における鮮明度評価法の考案  
 .....◎今井國治 (名大)・森 政樹 (名大医学部附属病院)・後藤洋哉・川浦稚代・高瀬郁子・  
 池田 充 (名大)・遠地志太 (阪大医学部附属病院)・西本卓夫・米田和夫 (名大医学部附属病院)
- G-002 Blob Structure Enhancing フィルタを用いた内視鏡画像からのポリープの自動検出  
 .....◎篠原孝幸・岩堀祐之 (中部大)・福井真二 (愛知教育大)・春日井邦夫 (愛知医大)
- G-003 超音波エコー画像による頸動脈プラーク陰影の安定性の検討 .....◎笠原新人・大木 誠 (鳥取大)
- G-004 A Study of Automated Fetal Head Detection by Pre-processing based on Ultrasound Image Gray Feature and  
 Iterative Randomized Hough Transform .....◎Rong Xu・Jun Ohya・Bo Zhang (Waseda University)・  
 Yoshinobu Sato (Osaka University)・Masakatsu G. Fujie (Waseda University)
- G-005 乳腺超音波装置用精度管理ファントムの自動解析ツールの開発  
 .....◎山根祐輔・神谷直希 (豊田高専)・篠原範充 (岐阜医療科学大)
- G-006 病理画像解析に適した画像圧縮方式の評価法の検討 .....◎小林直樹・小関 瞳・加藤綾子・星野 唯 (埼玉医科大)・  
 篠田一馬・山口雅浩 (東工大)・阿部時也・橋口明典・坂元亨宇 (慶大)

#### [ニューロコンピューティング・身体性情報学]

- 9月8日 (木) 15:30 ~ 17:30 4H 会場 (函館大学 3F 351) 座長 岡田 真人 (東大)
- G-007 最小集合打問題に対するニューラルネットワーク解法 .....◎戸塚亙志・岩井啓輔・黒川恭一 (防衛大)
- G-008 構造獲得型ニューラルネットワークへの強化学習と単純化の導入  
 .....◎赤池誠吾 (山梨大)・鳴原知希 (PASOKA)・服部元信 (山梨大)
- G-009 引込み半径の制御が可能な連想記憶モデルとその意義 .....◎千賀大輔・矢内浩文 (茨城大)

- G-010 ウェブブラウザ上における背景色と文字色の見やすさの予測 ……及川 剛・○篠沢佳久 (慶大)  
 G-011 藤森法に基づく脳波自動解析システムにおける周波数分解能の向上  
 ……◎吉田 嵩・相川直幸 (東理大)・緒方茂樹 (琉球大)  
 G-012 手動車いす操作時の座圧分布の時系列解析 ……◎李 娜・堀 潤一 (新潟大)

---

[ME とバイオサイバネティクス]

- 9月9日 (金) 09:30 ~ 12:00 5H 会場 (函館大学 3F 351) 座長 吉田 正樹 (大阪電通大)  
 G-013 救急医療現場における遠隔医療画像伝送システムの改良に関する一考察  
 ……◎児玉倫樹・皆月昭則 (釧路公大)・藤岡直矢・鈴木将也 (所属なし)  
 G-014 心拍変動時系列を用いた敗血症性ショック予測 ……横田康成・○河村洋子・松丸直樹・白井邦博 (岐阜大)  
 G-015 近赤外光を用いた時間領域測定によるヒト脳光学パラメータ変化検出感度-脳髄液の検出感度への影響-  
 ……◎青木伸雄・谷藤忠敏 (北見工大)  
 G-016 FDTD 法を用いたヒト頭部光パルス伝搬解析時間の短縮法の検討 ……◎斎藤拓也・谷藤忠敏 (北見工大)  
 G-017 独立成分分析と多次元有向コヒーレンス解析を併用した  $\alpha$  波の脳内伝搬分析  
 ……◎阪田 治・鈴木 裕・脇 隼人 (山梨大)  
 G-018 筋電信号を用いた顔の動作識別インタフェースシステムの開発 ……◎市川かおる・堀 潤一 (新潟大)  
 G-019 生体電気信号を活用したコミュニケーション機器の開発  
 ……◎久米俊也 (鳴門教育大)・皆月昭則 (釧路公大)・林 秀彦 (鳴門教育大)

---

[バイオ情報学]

- 9月9日 (金) 13:00 ~ 16:00 6H 会場 (函館大学 3F 351) 座長 関嶋 政和 (東工大)  
 G-020 生体配列解析を改善する残基ペア間遷移量を用いた革新的手法 ……◎原 利英・佐藤圭子・大矢雅則 (東理大)  
 RG-002 海馬歯状回顆粒細胞の樹状突起における情報処理の解析 ……◎早川博章・上條中庸・福島康弘・相原 威 (玉川大)  
 RG-003 タンパク質周囲の水分子の観測に基づいたリガンド結合部位予測システムの開発 ……◎佐々木孝章・関嶋政和 (東工大)  
 G-021 大規模ゲノム復元のための de novo アセンブリアルゴリズムの開発  
 ……◎遠藤友基・外山 史・東海林健二・宮道壽一 (宇都宮大)  
 G-022 視覚運動情報に対する予測と認知の関係の検討 ……◎三尾恭史・青山 敦・小山裕徳・川澄正史 (電機大)  
 G-023 C.elegans のマイクロアレイ解析におけるワンサイクル法とエクスペリキット法の比較  
 ……◎岡野文香 (筑波大)・物部香奈美・伊藤将弘 (立命館大)・真栄城哲也 (筑波大)  
 G-024 木構造のランダム生成と学習 ……◎和佐州洋・有村博紀・伊藤公人 (北大)  
 G-025 ハートレートモニターを用いたストレス管理システムの開発  
 ……◎高橋知央 (釧路公大)・林 秀彦 (鳴門教育大)・皆月昭則 (釧路公大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## H 分野：画像認識・メディア理解（第3分冊）

## 【人物検出・移動検知】

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1J会場(函館大学 3F 352) 座長 子安 大士(埼玉大)
- H-001 HOGとSVMによる上半身検出器の特徴の抽出位置に関する考察  
.....◎藤井龍也・中島克人(電機大)・野口祥宏・西田健次(産総研)
- H-002 (講演取消)
- H-003 一般学習ベクトル量子化を用いた魚眼レンズ画像内の人物抽出 .....◎平川康史・大綱亮磨(NEC)
- H-004 SIFT特徴を用いた歩行者検知に関する検討 .....◎張 興国・築瀬千草・猿田和樹・寺田裕樹・陳 国躍(秋田県大)
- H-005 画像認識による歩行者検知システムのための画像解析 .....◎猿田和樹(秋田県大)・高橋 圭(日立情報システムズ)・矢島陽介(宇都宮大)・寺田裕樹・陳 国躍(秋田県大)
- H-006 画像識別処理のための効率的なCUDA実装に関する一考察  
.....◎大西茂彦・服部静枝・細谷英一・青木 孝・小野澤晃(NTT)
- H-007 オプティカルフローの分散分析を利用した移動物体の分類 .....◎野島将智・田中 博(神奈川工大)・深野義昭(トライテック)・木下洋一(鹿島道路)・西村広光(神奈川工大)
- H-008 屋内画像サーベイランスによる群衆の避難誘導シミュレーション .....◎津波古正輝・国場幸祥・長山 格(琉球大)

## 【一般物体認識】

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2J会場(函館大学 3F 352) 座長 内田 祐介(KDDI研)
- H-009 A Semi-Supervised MarginBoost Algorithm Applicable for Dissimilarity-Based Classifications  
.....◎Sang-Woon Kim・Thanh Binh Le(Myongji University)
- H-010 マルチモーダル入力に対応した重み付き多数決による識別器  
.....◎辻 充亮・西田喬士・百崎将志・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
- H-011 PatchMatchを用いた類似パッチの高速KNN探索法 .....◎范 盈盈(所属なし)・田中正行・奥富正敏(東工大)
- H-012 SIFT特徴量の共起を用いた一般物体認識手法に関する基礎研究  
.....◎下地竜雄馬・當間愛見・赤嶺有平・山田孝治・遠藤聡志(琉球大)
- H-013 3次元特徴量を用いた構造表現による一般物体認識  
.....◎堀 貴博(神戸大)・岩橋直人・中野幹生(ホンダRIJ)・有木康雄(神戸大)
- H-014 移動ステレオカメラ画像中からの移動物体抽出と三次元データのセグメンテーションの検討 - SIFT特徴点を元にした前景・背景のエネルギ関数を組み込んだ手法の提案 - .....◎立松直倫・大谷 淳(早大)
- H-015 局所的色彩モーメント不変量で構成したベイジアンネットワークによる画像照合 .....◎中村 将・川上 肇(龍谷大)
- H-016 画像を用いた物体の詳細情報認識手法 .....◎八木 亮・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)

## 【3次元処理】

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3J会場(函館大学 3F 352) 座長 近藤 一晃(京大)
- H-017 視体積交差におけるカメラ位置のずれが復元形状に及ぼす影響  
.....◎高橋 将・東海林健二・外山 史・宮道壽一(宇都宮大)
- H-018 3Dカメラによる距離検出に関する一検討 .....◎山本一貴・内野智哉・桑原佑介・嶋 好博(明星大)
- H-019 (講演取消)
- H-020 水平合焦面の鮮鋭度の変化を用いた距離推定 .....◎大畑雅幸・池岡 宏・浜本隆之(東理大)
- H-021 消失点検出における四面体体積最小化法の提案 .....◎鈴木 卓・東海林健二・外山 史・宮道壽一(宇都宮大)
- H-022 単一画像からの立体視画像生成 .....◎斎藤 駿・齊藤 剛(電機大)
- H-023 視体積の重なり状態の評価とゴースト物体特有な性質の評価を用いた人物位置推定の高精度化  
.....◎池田浩雄・大綱亮磨(NEC)

## 【特定物体認識】

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4J会場(函館大学 3F 352) 座長 堀田 一弘(名城大)
- H-024 BoVWを用いた特定物体認識における投票関数に関する一考察 .....◎内田祐介・高木幸一・澤澤茂之(KDDI研)
- H-025 メロンの表面紋様を用いた個体識別 .....◎中村陽一・門田 啓・石山 壘・吉本誠司・黄 磊(NEC)
- H-026 パンの画像識別における領域分割の一検討 .....◎三好卓也・森本雅和・藤井健作(兵庫県大)
- H-027 海底環境を考慮したホタテ領域抽出手法の検討  
.....◎榎本洗一郎・戸田真志(はこだて未来大)・桑原康裕(北海道網走水試)
- H-028 Earth Mover's Distanceを用いたロバスト画像照合における特徴量の符号特性 .....◎橋本陽祐・川上 肇(龍谷大)
- H-029 リーチ長変動検出型BP-RRCによる物体検出  
.....◎山内 仁(岡山県大)・野田一成(岡山県大/倉敷紡績)・滝本裕則・金川明弘(岡山県大)

## 【顔・ジェスチャ】

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5J会場(函館大学 3F 352) 座長 椋木 雅之(京大)
- H-030 部分検出用SVMの組み合わせに基づく任意の部分隠蔽を許容する手検出法  
.....◎平本康裕・島田伸敬・明神聖子・白井良明(立命館大)
- H-031 ピアノ演奏動作解析のための3次元手指追跡 .....◎子安大士・木村慎二・前川 仁(埼玉大)
- H-032 領域分割によるドラム演奏動作の人体部位追跡 .....◎山本真司・子安大士・前川 仁(埼玉大)
- H-033 自然画像と赤外線画像からの顔表情認識 .....◎Xin Pan(豊橋技科大)
- H-034 Performance Improvement of PDLDA-based Face Recognition Using Fusion Face Descriptor  
.....◎I Gede Pasek Suta Wijaya(熊本大/Mataram University)・内村圭一・上瀧 剛(熊本大)
- H-035 The Research of 3D Face Recognition Based on Local Feature Matching  
.....◎Daoqing Sheng・Guoyue Chen・Kazuki Saruta・Yuki Terata(Akita Prefectural University)

H-036 ボタン押し動作時のシルエット外接矩形を用いた本人認証 ……久芳瑠衣子・花岡駿介・◎岡本 翔・矢内浩文(茨城大)

### [AR・VR・生物]

9月9日(金) 13:00～16:00 6J会場(函館大学 3F 352) 座長 北原 格(筑波大)

- H-037 2台の全方位カメラを用いた不可視領域のない空撮全天球HDR画像の生成 ……◎大倉史生・神原誠之・横矢直和(奈良先端大)
- H-038 円形カメラ配置における前進位置での自由視点画像生成 ……◎伊藤 光・Mehrdad Panahpour tehrani(名大)・  
圓道知博(長岡技科大)・藤井俊彰・谷本正幸(名大)
- H-039 タッチパネルを利用したARにおける剛体運動表現の一検討 ……◎阿久澤慧・西村広光(神奈川工科大)
- H-040 (講演取消)
- H-041 位相差スペクトルによるヘッドトルソを用いた音源の方向推定-計算モデルのマイクロホン間隔を変えた場合の効果 ……◎霜山竜一(日大)
- H-042 細胞内画像からの輝点計数: 回帰による計数と識別器による直接的計数の比較 ……◎熊谷章平・伊藤友洋・堀田一弘(名城大)
- H-043 (講演取消)
- H-044 (講演取消)

### [光源・照明]

9月7日(水) 09:30～12:00 1K会場(函館大学 3F 353) 座長 玉木 徹(広島大)

- H-045 自動色再現のための色票位置推定手法の改良 ……◎山内俊明(神奈川工科大)
- H-046 明度が二分されるHDR画像のためのトーンマッピング ……◎北浦真樹・神原誠之・横矢直和(奈良先端大)
- H-047 肌領域からの光源色推定に関する考察 ……◎塚田正人(NEC)・田島謙二(名古屋市大)
- H-048 Grayscale Facial Image Colorization System ……◎Kayir Rahmanjan・齊藤 剛(電機大)
- H-049 球面領域判定を用いた一枚の画像からの光源位置推定に関する検討 ……◎立松直倫・徐 榮・大谷 淳(早大)・川村春美(NTT)・米村俊一(早大)
- H-050 実投球ボールの画像解析における陰影の影響低減法について ……◎渡辺 光・子安大士・前川 仁(埼玉大)・永見智行・彼末一之(早大)
- H-051 固定単眼カメラによる屋外建造物の平面の向き推定 ……◎刈屋政春・青木恭太(宇都宮大)

### [文字認識]

9月7日(水) 14:30～17:30 2K会場(函館大学 3F 353) 座長 田中 宏(富士通研)

- H-052 複合類似度法における辞書データが低品質文字認識に与える影響 ……◎熊谷将也・片山英昭・池野成高・池本幸平・中田健一(舞鶴高専)
- H-053 Recovering Drawing Order from Static Handwritten Images Using Probabilistic Tabu Search ……◎名古屋孝幸(鳥取環境大)・藤岡寛之(福岡工大)
- H-054 印字を対象とした書体名称スクリーニングアプリケーションの開発 ……◎根本訓史(茨城県警)
- H-055 A Comparison With 1D Four Descriptor and Generic Fourier Descriptor on Khmer OCR ……◎Vanna Kruiy・Wataru Kameyama(早大)
- H-056 色に関する事前情報を活用した看板内文字列領域抽出法 ……◎鈴木拓真・景山陽一・西田 眞(秋田大)
- H-057 夜間取得画像を対象とした電光看板内文字列領域抽出に関する検討(2) ……◎野村松信(秋田美術工芸短大)・景山陽一・西田 眞・大館賢史郎(秋田大)
- H-058 筆記面が自由な空中手書き文字認識 ……◎中井 満・長井貴大(富山県大)
- H-059 加速度センサと角速度センサを利用した空中手書き文字認識 ……◎松木一穂・中井 満(富山県大)

### [動作解析]

9月8日(木) 09:30～12:00 3K会場(函館大学 3F 353) 座長 島田 伸敬(立命館大)

- H-060 (講演取消)
- H-061 スケルトン特徴判別による知的防犯カメラの開発 ……◎宮原 彬・長山 格(琉球大)
- H-062 SIFTを用いた人物対応付けの向き変化に対する耐性の検証 ……◎岡本大和・川西康友・棕木雅之・美濃導彦(京大)
- H-063 映像監視システムのための人物動作の認識に関する一検討 ……◎八幡智仁・村上伸一(電機大)
- H-064 Studies of the Kalman filter and Particle filter method for tracking the moving botanical tree leaves in video sequence. ……◎Khanh Do N.・大谷 淳(早大)
- H-065 複数カメラによる実投球ボールの画像解析 ……◎子安大士・沼田洋行・前川 仁(埼玉大)・永見智行・彼末一之(早大)
- H-066 カメラによる体動観測に基づく心理状態推定 ……◎スクサコンブンヨン・青木恭太(宇都宮大)

### [映像解析]

9月8日(木) 15:30～17:30 4K会場(函館大学 3F 353) 座長 新田 直子(阪大)

- H-067 MPEG-7 Video Signatureを用いた映像アーカイブ管理システム ……◎野村俊之・佐藤貴美・岩元浩太(NEC)
- H-068 MPEG-7 Video Signature for Robust Video Identification ……◎岩元浩太・大綱亮磨・野村俊之(NEC)
- H-069 MPEG-1映像における類似プレー推定での複数基準動作例を用いた場合の性能評価 ……◎浅井航平・青木恭太(宇都宮大)
- H-070 局所特徴の共起を考慮した映像意味内容の解析手法 ……◎河合吉彦・藤井真人(NHK)
- H-071 動きベクトルに基づく映像の短縮 ……◎鈴木史彦・東海林健二・外山 史・宮道壽一(宇都宮大)
- H-072 顔画像クラスタリングとカメラモーション検出を利用した撮影者の注視対象を含むキーフレーム選択 ……◎石川真澄・野村俊之(NEC)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## [ITS・リモートセンシング]

9月9日(金) 09:30 ~ 12:00	5K会場(函館大学 3F 353)	座長 奥村 文洋(豊田中研)
H-073	形状情報と色情報を利用したサポートベクターマシンによる交通信号機領域の抽出 .....◎仲野彰洋・子安大士・前川 仁(埼玉大)	
H-074	夜間取得画像における最高速度標識の認識 .....◎亀谷洋道・景山陽一・西田 眞(秋田大)	
H-075	確率伝播法を用いたネットワークモデルの最適化による道路網の抽出 .....◎植村 匠(崇城大)・内村圭一・上瀧 剛(熊本大)	
H-076	カメラ周囲の危険を認識するシステムの開発 .....◎山口 諒・鈴木啓介・野崎祐基・石井純一・柳下翔太・山名 徹・金丸隆志(工学院大)	
H-077	ランレンクス行列を用いた NOAA-AVHRR データにおける地上基準点自動抽出法 .....◎夏井雄介・景山陽一・西田 眞(秋田大)	
H-078	リモートセンシングデータを用いた鳥海山沿岸海域における地下水湧出地点の特徴解析 .....◎白井 光・景山陽一・西田 眞(秋田大)	
H-079	知的画像処理による3次元移動ロボットの制御 .....◎石川仁史・宮原 彬・長山 格(琉球大)	

## I分野：グラフィクス・画像(第3分冊)

## [ホログラム]

9月9日(金) 13:00 ~ 16:00	6K会場(函館大学 3F 353)	座長 藤井 俊彰(名大)
I-001	低コストなポータブル・デジタルホログラフィック顕微鏡の開発 .....◎白木厚司(木更津高専)・ 下馬場朋禄(千葉大)・豊田太郎(東大)・増田信之・伊藤智義(千葉大)	
I-002	計算機合成ホログラムにおけるポリゴンモデルを用いた反射特性付与方法 .....◎山口一弘・市川 翼・坂本雄児(北大)	
I-003	球形基本物体光を用いた計算機合成ホログラムの計算における拡大・縮小とスキュー変換の実装 .....◎細谷地航平・坂本雄児(北大)	
I-004	ホログラム面からの逆追跡による CGH 計算法 .....◎市川 翼・坂本雄児(北大)	
I-005	フーリエ変換光学系における自由な奥行きで再生可能な計算機合成ホログラム .....◎佐藤裕典・坂本雄児(北大)	
I-006	接眼型電子ホログラフィにおける視野の拡大と物体の奥行き調節 .....◎チャンヨンヤン・坂本雄児(北大)	
I-007	計算機合成ホログラムを用いた立体映像の評価法 .....◎坂本雄児(北大)	

## [画像測定・検出]

9月7日(水) 09:30 ~ 12:00	1L会場(函館大学 3F 354)	座長 如澤 裕尚(NTT)
I-008	衛星画像による黄砂領域の抽出 .....◎石井雅樹・猿田和樹・寺田裕樹・陳 国躍(秋田県大)	
I-009	MODIS 画像を用いた秋田県における気候変動の観測 .....◎潘 湃湃・猿田和樹・寺田裕樹・陳 国躍(秋田県大)	
I-010	近赤外カメラを用いた携帯型牛肉脂質評価端末の開発：機能モデルの開発と評価 .....◎田中等幸(岐阜県情報技術研)・丸山 新(岐阜県畜産研)・山田俊郎(岐阜県情報技術研)・ 江崎雅康(イーエスピー企画)・棚橋英樹(岐阜県情報技術研)	
I-011	移動体に搭載可能な摩擦係数推定システムの構築 .....◎後藤泰介・田村 仁(日本工大)	
I-012	Linking Trajectories of a Moving Object on Multiple Cameras with Different Angles and Locations .....◎I Gusti Bagus Baskara Nugraha・野田晋平・ 森田啓義(The University of Electro-Communications)	
I-013	Adaptive Edge Detection and Tracking for Robust Model-Based Camera Tracking .....◎朴 漢薫・三ッ峰秀樹・藤井真人(NHK 技研)	
I-014	車載カメラ映像中の走行車両の速度推定に関する検討 .....◎金子弘樹・藤井健作・森本雅和(兵庫県大)	

## [エンタテインメント]

9月7日(水) 14:30 ~ 17:30	2L会場(函館大学 3F 354)	座長 戸田 真志(はこだて未来大)
I-015	エッジベース追跡を用いた折り紙作業支援 AR システムの構築 .....◎徳盛太一郎・伊佐元希・遠藤聡志・赤嶺有平・當間愛晃・山田孝治(琉球大)	
I-016	無音動画の字幕提示方法に関する研究 .....◎森屋舞子・鉄谷信二(電機大)	
I-017	テレビ視聴行動誘発のための一提案 .....◎有安香子・藤沢 寛・金次保明(NHK 技研)	
I-018	Latent factor model for user preferences and prediction of TV program in IPTV environment .....◎Quoc Hung Dinh・Pao Sriprasertsuk・亀山 涉(早大)	
I-019	対話型エデュテイメント展示「鳥を呼ぶ窓」-コンセプトとアニメーション表現- .....◎増田 拓・小栗奈緒美・加島隆博・師井聡子・中島克人(電機大)	
I-020	対話型エデュテイメント展示「鳥を呼ぶ窓」-システム構成- .....◎加島隆博・小栗奈緒美・増田 拓・師井聡子・中島克人(電機大)	
I-021	WebSocket を利用した並列レンダリング環境の構築 .....◎南雲佑介・郡司貴之・長澤可也(湘南工大大)	
I-022	モザイクの視覚的影響における一検討 .....◎大澤弘樹・森屋舞子・鉄谷信二(電機大)	

## [超解像]

9月8日(木) 09:30 ~ 12:00	3L会場(函館大学 3F 354)	座長 松本 信幸(東芝)
I-023	Total Variation 正則化法を用いた超解像拡大法の高速化 .....◎作田泰隆・後藤富朗・平野 智・桜井 優(名工大)	
I-024	TV 正則化を利用した学習型超解像の高速化の検討 .....◎鈴木彰太郎・後藤富朗・平野 智・桜井 優(名工大)	
I-025	学習型超解像における高周波パッチの探索および生成手法 .....◎中矢知宏・近松慎伍・橋本明信・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)	
I-026	Curvelet 変換を用いた学習型超解像手法に関する研究 .....◎鈴木雄太・後藤富朗・平野 智・鈴木彰太郎(名工大)	
I-027	JPEG 圧縮されたデモザイク画像の復元法の提案 .....◎小松 隆・上田康隆・齊藤隆弘(神奈川大)	

- I-028 画像復元元符号化における折り返し歪の適応付加 …………… ○三須俊枝・松尾康孝・境田慎一・鹿喰善明 (NHK)  
 I-029 エッジ特性を考慮したハイブリッド画像内挿手法 ……………◎佐藤徹平・村上仁己・小池 淳 (成蹊大)

### 【画像補正】

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4L会場(函館大学 3F 354) 座長 市ヶ谷敦郎 (NHK 放送技研)  
 I-030 カラー画像のヒストグラムパターンに応じた階調変換 ……………◎小西敦美・松木英岳 (舞鶴高専)  
 I-031 領域分割によるヒストグラムを用いたコントラスト補正 ……………◎岩浪哲馬・後藤富朗・平野 智・桜井 優 (名工大)  
 I-032 グリッド変形によるコンテンツ適応型画像リサイズ ……………◎三柴 数・池原雅章 (慶大)  
 I-033 USBカメラを利用した合成超広角画像用ソフトウェアの開発 ……………◎金野僚一・鈴木昭二 (はこだて未来大)  
 I-034 セグメンテーション情報を利用した画像修整手法の検討 …………… ○大久保英彦・藤井真人 (NHK)  
 I-035 E-TFMCM法を用いた映画の欠損部における補完と評価法 ……………◎丸 和広 (芝浦工大)・松木靖明・山本祐平 (アイデンティファイ)・徳永幸生 (芝浦工大)・杉山 精 (東京工芸大)

### 【形状モデリング】

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5L会場(函館大学 3F 354) 座長 藤代 一成 (慶大)  
 I-036 拡張現実感を用いた分子モデル表示システム ……………◎小林昭博 (神奈川工科大)・山下伸一 (トリアクシス)・小島一成 (神奈川工科大)  
 I-037 点群データを用いた三次元CADに関する研究 ……………◎山口 輝・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)  
 I-038 遺伝的アルゴリズムによる植物学的モデルに基づいた植物グラフィックの自動生成 ……◎上原和樹・赤嶺有平 (琉球大)  
 I-039 3DCGによる人形のポーズ設計の研究 ……………◎堀越基宏・齊藤 剛 (電機大)  
 I-040 モーションキャプチャデータの動作把握のための視点決定 ……………◎中西正行・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)  
 I-041 戦災前の広島町の並み復元のための家屋配置法 ……………◎細井雄介 (電機大)・砂川宗一郎 (電機大/スクウェア・エニックス)・森谷友昭・高橋時市郎 (電機大)

### 【映像時空間処理】

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6L会場(函館大学 3F 354) 座長 岡谷 貴之 (東北大)  
 I-042 階層的凸包を用いた2次元図形の簡略化に関する研究 ……………◎伊勢朋美・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)  
 I-043 動画処理のパラメタ決定支援ツールとその高速化の検討 ……………◎豊住耕一・熊谷一樹・高橋時市郎 (電機大)  
 I-044 TIPのための穴の開いた物体の三次元モデル生成手法 ……………◎福田康範・坂本雄児 (北大)  
 I-045 デジタルアーカイブのための表面形状および反射率分布の推定 ……………◎平原壮紀・川嶋稔夫 (はこだて未来大)  
 I-046 部分的な奥行き指定に基づく静止画像の疑似3次元化 ……………◎成田裕介・松田一朗・青森 久・伊東 晋 (東理大)  
 I-047 基準平面への投影を用いた多視点画像からの物体領域抽出 ……………◎茨木雅典・坂本雄児 (北大)  
 I-048 視体積交差法のための点群マーカーを用いたカメラ姿勢の推定 ……◎衣川 彰・松田一朗・青森 久・伊東 晋 (東理大)  
 I-049 多様なカメラ配置の多眼ステレオ法に対応可能な並列処理手法 ……………◎福士 将・関口直紀・阿部 亨 (東北大)

### 【アートとデザイン】

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1M会場(函館短期大学 2F 小児保健実習室) 座長 高井 昌彰 (北大)  
 I-050 調和度を用いた配色支援のための手法 ……………◎名越秀隆・小堀研一 (大阪工大)  
 I-051 ステレオ実写画像を利用したシャドウアート制作支援システムの開発 ……………◎松本雄大・高井昌彰 (北大)・高井那美 (北海道情報大)  
 I-052 仮想空間における缶アート制作シミュレーションシステム ……………◎高橋和茂・高井昌彰 (北大)・高井那美 (北海道情報大)  
 I-053 彫刻刀モデリング機能を有するインタラクティブ仮想彫刻ツールの開発 ……………◎川出達也・熊谷一樹・高橋時市郎 (電機大)  
 I-054 シナリオデザインのための時空間可視化エディタの開発 ……………◎金谷潤一・森谷友昭・高橋時市郎 (電機大)  
 I-055 Augmented Reality (AR) 技術を用いたCGアニメーションのカメラワーク制作システムの開発 ……………◎小野坂明生・新藤義昭 (日本工大)  
 I-056 文化財記録ビデオ動画閲覧のためのメッシュスライダインターフェース ……◎千田智博・川嶋稔夫 (はこだて未来大)

### 【画像符号化 (1)】

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2M会場(函館短期大学 2F 小児保健実習室) 座長 久保田 彰 (中大)  
 RI-001 CTB構造におけるイントラ予測残差信号のチャンネル間予測符号化の評価 ……………◎河村 圭・加藤晴久・内藤 整 (KDDI 研)  
 I-057 動き補償と色信号間予測を併用したRGBカラー動画の可逆符号化 ……………◎林 杏輔・青森 久・松田一朗・伊東 晋 (東理大)  
 I-058 復号演算量低減に向けた画面内符号化への内挿予測適用に関する符号化効率改善の一検討 ……………◎渡邊真由子・北原正樹・清水 淳・如澤裕尚 (NTT)  
 I-059 予測方向への輝度変化を考慮したイントラ垂直・水平方向予測 ……………◎峯澤 彰・杉本和夫・関口俊一 (三菱)  
 I-060 動画符号化のための高効率固定長符号化手法 ……………◎服部亮史・杉本和夫・山田悦久・関口俊一 (三菱)  
 I-061 DCTとDSTを用いた適直交変換符号化 ……………○市ヶ谷敦郎・杉藤泰子・境田慎一・鹿喰善明 (NHK 技研)  
 I-062 マクロブロック間依存制約緩和によるGPU H.264動き推定の高速度 ……………◎鷹野美美代・森吉達治 (NEC)  
 I-063 小サイズ符号化ユニットに非冗長符号化テーブルを用いる省メモリ帯域HEVCコーデック ……………◎先崎健太 (NEC/筑波大)・蝶野慶一・仙田裕三 (NEC)

### 【画像符号化 (2)】

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3M会場(函館短期大学 2F 小児保健実習室) 座長 浜本 隆之 (東理大)  
 I-064 再帰型イントラ予測を用いたJPEG画像のロスレス再符号化 ……………◎橋本峻弥・小池弘幸・松田一朗・青森 久・伊東 晋 (東理大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- I-065 デコーダでの seam 位置推定を利用した画面アスペクトスケラブル符号化  
.....◎平野那由他・八島由幸(千葉工大)・早瀬和也・藤井 寛・如澤裕尚(NTT)
- I-066 ステレオ動画像符号化のための多峰性確率モデルによる動き/視差ベクトル表現  
.....◎増川裕樹・青森 久・松田一朗・伊東 晋(東理大)
- I-067 ウォークスルー自由視点映像の高効率伝送を可能とするデータフォーマット方式  
.....◎石川彰夫・三功浩嗣・菅野 勝・内藤 整(KDDI 研)
- RI-002 【船井ベストペーパー賞受賞論文】  
高解像度デプスマップによる超解像を用いた自由視点映像のデータ量削減  
.....◎杉本志織・志水信哉・木全英明・松浦宣彦(NTT)
- I-068 仮想視点合成に適した多視点映像及び奥行き情報の圧縮符号化 .....◎樋口雄太・  
Mehrdad Panahpour Teherani(名大)・圓道知博(長岡技科大)・藤井俊彰・谷本正幸(名大)

#### 【画像検索・認識】

- 9月8日(木) 15:30 ~ 17:30 4M会場(函館短期大学 2F 小児保健実習室) 座長 三須 俊枝(NHK放送技研)
- I-069 2次元画像を入力要求とした3次元モデル類似検索 .....◎岩淵寛樹・青野雅樹(豊橋技科大)
- I-070 サッカー放送映像のダイジェスト化に向けたキープフレーム検出 .....◎田村 徹・陳 曉琴(東京工芸大)
- I-071 画像検索およびその高速化技術の放送局における実用 .....◎望月貴裕・住吉英樹・佐野雅規・藤井真人(NHK技研)
- I-072 内容に基づく画像検索における再利用分類器の統合 .....◎手川真彰・服部元信(山梨大)
- I-073 映像の主成分分析に基づくダンスリズムの逐次評価 .....◎今野智明・徐 建鋒・高木幸一・酒澤茂之(KDDI 研)
- I-074 Road-to-vehicle Visible Light Communication Using High-speed Camera in Driving Situation  
.....◎Halpage Chinthaka Nuwandika Premachandra(名大)・Tomohiro Yendo(長岡技科大)・  
Mehrdad Panahpour Tehrani・Takaya Yamazato・Hiraku Okada・  
Toshiaki Fujii・Masayuki Tanimoto(名大)

#### 【雑音除去・画像復元】

- 9月9日(金) 09:30 ~ 12:00 5M会場(函館短期大学 2F 小児保健実習室) 座長 坂東 幸浩(NTT)
- I-075 ウェブレット画像分解とハイブリッド型冗長DCTを用いたカラー画像の雑音除去  
.....◎上田康隆・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-076 Wavelet係数のスケール間依存性を利用した複素Hard Color-Shrinkage 雑音除去法  
.....◎小針 力・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-077 カラー全変動セミノルムを用いたカラー画像雑音除去の画質改善  
.....◎高垣陽介・菅沼俊樹・小松 隆・齊藤隆弘(神奈川大)
- I-078 雑音画像のエッジ抽出におけるファジー集合のパラメータの決定  
.....◎石井 聡・辻 裕之(神奈川工科大)・田口 亮(東京都市大)・木村誠聡(神奈川工科大)
- I-079 実画像復元のための有色性駆動源を含む2次元カルマンフィルタ  
.....◎長保 龍・田邊 造・松江英明(諏訪東理大)・古川利博(東理大)
- I-080 自己相似テクスチャ生成による画像の質感改善技術 .....◎齊藤佳奈子・金子敏充(東芝)
- I-081 カーネル主成分分析を用いた高速点火ブラズマ像のイメージング  
.....◎野崎真也・金城篤史(琉球大)・藤岡慎介(阪大)・東るみ子(青学大)・波平宜敬(琉球大)

#### 【画像処理応用】

- 9月9日(金) 13:00 ~ 16:00 6M会場(函館短期大学 2F 小児保健実習室) 座長 高村 誠之(NTT)
- I-082 高速度カメラを利用したボールの回転推定 .....◎鎌田泰毅・竹内義則・松本哲也・工藤博章・大西 昇(名大)
- I-083 ダイナミックフォントモデルを用いた手書き文字の整形と再設計 .....◎宮田慎也・藤岡寛之(福岡工大)
- I-084 ピアノ演奏における前腕位置修正支援手法の提案 .....◎小林翔太・中平勝子(長岡技科大)
- I-085 ドローネー三角錐分割にエッジ検出を組み合わせた特徴点群からの3次元復元  
.....◎高安 伸・遠藤聡志・赤嶺有平・當間愛見・山田孝治(琉球大)
- I-086 閾値パラメータ制御を導入したBV-G非線形画像分解 .....◎山中 潤・齊藤隆弘・小松 隆・坂東優介(神奈川大)
- I-087 Chambolleの射影法のCELLプロセッサへの実装 .....◎筒井麻未・作田泰隆・桜井 優・平野 智・後藤富朗(名工大)

#### 【セキュリティ・電子透かし】

- 9月7日(水) 09:30 ~ 12:00 1N会場(函館短期大学 2F S21) 座長 松田 一郎(東理大)
- I-088 印字の輪郭を利用した印刷物の原本性証明 .....◎栗田兼太郎・伊藤 浩(日大)
- I-089 半開示スクランブル動画に適用可能な電子透かし技法 .....◎若色宏明・姜 錫・坂本雄児(北大)
- I-090 DCT係数の交換によるスクランブル画像のファイルサイズの増加を抑制した半開示スクランブル技法  
.....◎張 希蹟・姜 錫・坂本雄児(北大)
- I-091 光透かしを用いた高い秘匿性を有する符号情報の埋め込み .....◎石川安則・上平員丈・谷中一寿(神奈川工科大)
- I-092 結託攻撃に対する画像電子透かし耐性向上についての一検討  
.....◎藤村 誠(長崎大)・今村幸祐(金沢大)・黒田英夫(FPT大)
- RI-003 確率分布を用いたカラーバーコード配色推定 .....◎奥田真也・六井 淳(島根大)
- I-093 変分ベイズ法を用いた色分布情報推定のためのパラメータ検証 .....◎本多 功・六井 淳(島根大)

## J 分野：ヒューマンコミュニケーション&amp;インタラクション（第3分冊）

## [HCI (1)]

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2N会場(函館短期大学 2F S21) 座長 三浦 元喜(九工大)
- J-001 ソフトウェア・システムの品質向上におけるユーザビリティ-人間中心設計プロセスと CIF の現状-  
..... ○福住伸一 (NEC)
- J-002 ユーザビリティに配慮した配色評価・推薦方式の提案と設計支援ツールへの適用  
..... ○谷川由紀子・吉坂主句・平松健司・福住伸一 (NEC)
- J-003 ユーザビリティ評価における配色評価・推薦方式の実システムへの適用  
..... ○矢野有美・岡城純孝・谷川由紀子・福住伸一 (NEC)
- J-004 ユーザビリティ指標化の研究(1): 認知負荷定量化の提案 ..... ○岡城純孝・横溝あずさ・池上輝哉・福住伸一 (NEC)
- J-005 ユーザビリティ指標化の研究(2): 効率と低エラーの相関関係に関する一考察  
..... ○横溝あずさ・岡城純孝・池上輝哉 (NEC)・岡田英彦(京産大)・福住伸一 (NEC)
- J-006 大規模 Web サイトにおける UI 管理手法の提案 ..... ○笹谷和希・美馬義明(はこだて未来大)
- J-007 Web の視認性に関する検討: レイアウトの対比較分析 ..... ○大懸由佳・畑中基希・納富一宏(神奈川工科大)
- J-008 地域防災 SNS の研究開発 ..... ○凍田和美(大分芸術文化短大)・菊池達哉(デジタルバンク)・吉山尚裕・柴田雄介・高橋雅也(大分芸術文化短大)・竹中真希子(大分大)・青木栄二(ハイパーネットワーク社会研)

## [HCI (2)]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3N会場(函館短期大学 2F S21) 座長 真鍋 宏幸(NTTドコモ)
- J-009 対話ロボットによる高齢者のコミュニティ参加支援実験 ..... ○笹間亮平・山口智治・藤田善弘・山田敬嗣 (NEC)
- J-010 接触機能を持つ音声対話ロボットに関する研究 ..... ○小川拓貴・森田和宏・泓田正雄・青江順一(徳島大)
- J-011 単純な非言語的表現を用いた、演劇用ロボットの開発 ..... ○武田育子・美馬義亮(はこだて未来大)
- J-012 笑い声を利用した盛り上げりのリアルタイム検出 ..... ○今吉 晃・棟方 渚・小野哲雄(北大)
- J-013 ゲーム空間における人型エージェントの操作感に関する比較研究  
..... ○高 欣然・服部 峻(東京工科大)・久保村千明(山野美容芸術短大)・亀田弘之(東京工科大)
- J-014 音楽療法向け多人数協働型音楽演奏シリアスゲームシステムの提案  
..... ○大竹駿希・小林貴之・飯塚梨沙・山田涼平・菅原祐人・杉沼浩司・古市昌一(日大)
- J-015 子供向け電子絵本における集中力持続のためのマルチモーダル・インターフェースの拡張  
..... ○栗飯原萌・小林貴之・武田智裕・古市昌一(日大)

## [HCI (3)]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4N会場(函館短期大学 2F S21) 座長 井原 雅行(NTT)
- J-016 書籍の背表紙画像を用いた拡張現実図書検索システム ..... ○高橋政樹・高井昌彰(北大)
- J-017 スマートフォンを用いた拡張現実による麻雀初心者支援システム ..... ○矢田和也・高井昌彰(北大)
- J-018 携帯端末のカメラによる表示画面の制御 ..... ○林 和哉・Baigalmaa Tsagaan・中谷広正(静岡大)
- J-019 テレビ視聴者の興味状態推定に向けた顔表情変化度測定  
..... ○奥田 誠(NHK/東大)・苗村昌秀・藤井真人(NHK)・佐藤洋一(東大)
- J-020 画像処理を用いた視線検出システムと入力インターフェースの開発: 頭部の動きに関する検討  
..... ○新納慎吾・緒方公一(熊本大)
- J-021 Wii バランスボードとインタラクション機能を用いた感染予防支援システムの開発  
..... ○西村拓也・志村綾華(釧路工大)・竹内美妃(日赤北海道看護大)・皆月昭則(釧路工大)

## [HCS (1)]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5N会場(函館短期大学 2F S21) 座長 岡崎 哲夫(北海道工大)
- RJ-001 テーブルトップインタフェースを用いた食卓コミュニケーションシステムの開発  
..... ○高尾静日(日テレ IT プロデュース)・伊藤淳子・宗森 純(和歌山大)
- J-022 自動会話システムにおける擬人化エージェントが会話持続に与える効果  
..... ○高木志織・徳永幸生(芝浦工大)・米村俊一(NTT)・杉山 精(東京工芸大)
- J-023 会話エージェントによる認知症患者への語りかけの効果  
..... ○酒井洋一(成蹊大)・安田 清(千葉労災病院/京都工繊大)・中野有紀子(成蹊大)
- J-024 会話型コミュニティ創成のための Agent Mediated Communication  
..... ○梶尾卓也・Tanev Ivan・下原勝憲(同志社大)
- J-025 気づきを誘発する情報共有システムの構築  
..... ○田中公司(筑波大/日立公共システムエンジニアリング)・津田和彦(筑波大)
- J-026 ヒューマノイドロボットのジェスチャに対する人の注視行動の分析  
..... ○柴崎優太・上出純平・福原佑貴・中野有紀子(成蹊大)
- J-027 人造キャラクター(ピカチュウ)における感情音声の分析 ..... ○長谷川真澄・榎本美香・飯田 仁(東京工科大)

## [HCS (2)]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6N会場(函館短期大学 2F S21) 座長 森島 繁生(早大)
- RJ-002 レバーの感度調節によるジョイスティックの操作性改善  
..... ○具志堅翔・神里志穂子・野口健太郎・佐竹卓彦(沖縄高専)・石田好輝(豊橋技科大)
- RJ-003 【FIT 論文賞受賞論文】  
眼球運動分析による英語リスニング電子教材学習者を対象とした学習者の主観難易度推定法  
..... ○繁田亜友子・濱本和彦・野須 潔(東海大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- J-028 文字探索課題における見落としエラーの分析 .....◎宮内 竜・矢内浩文(茨城大)
- J-029 幼児の空間表現システムの開発と評価・表現システムと知能テストとの比較  
.....◎鈴木昭弘・和嶋雅幸・川上 敬・岡崎哲夫(北海道工大)
- J-030 子どもの思考プロセス把握における物語自作システムの有効性検証  
.....◎上原大輝・出水あき・宮里洗司・神里志穂子・野口健太郎(沖縄高専)
- J-031 ドクターヘリ CS の運行指示における意思決定プロセスの研究 .....◎長田 樹(釧路工大)丹羽政晴・濱田賢二(中日本航空)・三上育子(釧路総合病院)・林 秀彦(鳴門教育大)・皆月昭則(釧路工大)
- J-032 階段移動時の携行加速度センサ情報を利用した身長推定 .....円成寺篤志・◎佐藤貴史・矢内浩文(茨城大)
- J-033 ブラインドタッチ文字 .....◎森川敬三(NTT データ)

## [HIP (1)]

- 9月7日(水) 09:30 ~ 12:00 1P 会場(函館短期大学 2F S22) 座長 渋井 進(大学評価・学位授与機構)
- J-034 意図的表情に及ぼす顔部位効果と心理的ストレス要因の分析  
.....◎大津宏亮・佐藤和人・間所洋和(秋田県大)・門脇さくら(SmartDesign)
- J-035 自然表情の取得を目的とした情動と心拍の関連に関する検討  
.....◎下館俊夫(秋田大)・石井雅樹(秋田県大)・景山陽一・高橋 毅・西田 真(秋田大)
- J-036 抽象絵画における鑑賞者の視線行動解析と自動音楽作曲への応用に関する基礎的検討  
.....◎小楠竜也・大谷 淳(早大)・棚沢 順(千葉商科大)
- RJ-004 顔の向きに頑健なパーティクルフィルタとエッジ方向特徴量を用いた目検出法  
.....◎浅野誠之・高野博史・中村清実(富山県大)
- J-037 人物画像における顔領域に着目した白飛び印象度判定アルゴリズム  
.....◎村上龍希・景山陽一・西田 真(秋田大)・白澤洋一(アルファシステムズ)
- J-038 ボトムアップ要因による視線分布の推移推定 .....◎梅田修一・小峯一晃・比留間伸行(NHK)
- J-039 複数の眼球カメラを用いた視線測定範囲の広視野化 .....◎小峯一晃・澤島康仁(NHK)・森田寿哉(NHK/NICT)

## [HIP (2)]

- 9月7日(水) 14:30 ~ 17:30 2P 会場(函館短期大学 2F S22) 座長 大西 仁(放送大)
- J-040 決定木に基づく楽曲の印象推定モデルの分類とその評価 .....◎岩月靖典・西尾圭一郎・酒向慎司・北村 正(名工大)
- J-041 音情報の視覚化による音ファイル判別ツールの開発 .....◎藤原成史・武藤 剛・小宮山撰(青学大)
- RJ-005 対話型音声インタフェースのための大人・子ども判別技術の改良  
.....◎宮森翔子・西村竜一・入野俊夫・河原英紀(和歌山大)
- J-042 声道形状マッピングインタフェースを利用した運動パターンの音声化:運動パターンの投影方法に関する検討  
.....◎山下健太郎・緒方公一(熊本大)
- RJ-006 黙声認識のための口唇周辺表面筋電波形におけるウェーブレット係数の重心推移法に基づく特徴  
.....◎永井秀利・宮武一志・中村貞吾(九工大)
- J-043 表面筋電波形のウェーブレット係数に基づく黙声の発声変化点検出 .....◎宮武一志・永井秀利・中村貞吾(九工大)
- J-044 口唇の局所領域形状に着目した個人識別のための口唇形状グループ化法 .....◎高橋 毅・景山陽一・西田 真(秋田大)
- J-045 口唇の動き特徴におけるばらつきに着目した喜びの感情検出に関する検討  
.....◎百瀬篤史・高橋 毅・景山陽一(秋田大)・石井雅樹(秋田県大)・西田 真(秋田大)

## [HIP (3)]

- 9月8日(木) 09:30 ~ 12:00 3P 会場(函館短期大学 2F S22) 座長 大野 健彦(NTT)
- J-046 検出期間の変更を可能にした高齢者ライフログの集積法 .....◎室 寛和・大野公裕・原田史子・島川博光(立命館大)
- J-047 Android 端末を用いた音声認識による照明システムのユーザインタフェース  
.....◎三木光範・吉見真聡・◎水上雅博・下村浩史・松谷和樹・吉井拓郎(同志社大)
- J-048 ウェアラブル歩行特徴分析センサに関する研究 .....◎細井悠貴・松下宗一郎(東京工科大)
- RJ-007 常時利用可能なヘッドホン型身体バランス状況モニタ .....◎松下宗一郎・細井悠貴・岩淵圭太(東京工科大)
- RJ-008 主観性と筋群活動パターンの複合評価に基づく競技自転車サドル高さ決定システムの開発  
.....◎徳安達士(大分高専)・松本慎平(広島工大)・平木場浩二(九工大)・章 忠(豊橋技科大)
- RJ-009 赤外線反射光を用いた直感的 UI システムの開発  
.....◎土江田織枝(釧路高専)・池田晶子(明星大)・林 裕樹(釧路高専)・宮尾秀俊(信州大)
- J-049 見えの変形を学習させた分類木に基づく高精度実時間三次元手指姿勢推定 .....◎宮本 翔(立命館大)・藤本光一(東芝ソリューション)・松尾直志・島田伸敬・白井良明(立命館大)

## [HIP (4)]

- 9月8日(木) 15:30 ~ 17:30 4P 会場(函館短期大学 2F S22) 座長 金子 寛彦(東工大)
- J-050 脳波知識ベースを用いた感情判断方式 .....◎泉 啓太・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一(同志社大)
- J-051 疑似窓の有効性に関する研究 .....◎三木光範・◎佐藤輝希・吉見真聡(同志社大)
- J-052 行動データを取得する Web アプリケーションのための処理時間予測による測定精度保証  
.....◎杉浦 圭(名工大)・福田洋治(愛知教育大)・毛利公美(岐阜大)・中井敏晴(長寿医療センター研)・田中あゆ子(保健医療科学院)・白石善明(名工大)
- J-053 パターン分離法による血中酸素飽和度分布画像の取得 .....◎波多野雅俊・小田和磨・亀本真寿男・鬼追一雅(広島工大)
- J-054 パンデミック対策を支援する、手指消毒支援システムの開発  
.....◎山内 慶(釧路工大)・名塚優子(釧路総合病院)・皆月昭則(釧路工大)
- J-055 ファジィ推論を用いた夏季の運動中水分補給支援システムの開発  
.....◎柴田涼介・岩崎武史・小椋宇謙・三上智之・川合基弘・皆月昭則(釧路工大)

## [HCI (4)]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5P会場(函館短期大学 2F S22) 座長 笹間 亮平(NEC)
- J-056 加速度とタッチパネル入力情報を用いた携帯端末の持ち手・打ち手判別  
.....◎萩谷俊幸・上向俊晃・加藤恒夫(KDDI 研)
- J-057 The Comparison between Ring and Flicking Scrolling Techniques for Document Navigation in Touch-based Devices  
.....◎Yuan FU (Kochi University of Technology/Jilin University)・  
Huawei TU・Xiangshi REN (Kochi University of Technology)
- J-058 複数の iPod touch を使ったカード並び替え型 HCI システムの開発  
.....◎吉良 元・山口 巧・松内尚久・芝 治也(高知高専)
- J-059 タブレット操作物理オブジェクトの導電部設計  
.....◎青木良輔・宮下広夢・井原雅行・千明 裕・小林 稔(NTT)・鏡 慎吾(東北大)
- J-060 対面における複数人による情報カードの同時操作が可能な整理システム .....◎森 幹彦・周 娟・喜多 一(京大)
- J-061 (講演取消)
- J-062 Kinect による照明の制御に関する基本的検討  
.....三木光範・吉見真聡・◎長谷川翔太郎・下村浩史・松谷和樹(同志社大)

## [HIP (5)]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6P会場(函館短期大学 2F S22) 座長 繁樹 博昭(高知工科大)
- J-063 不意変化刺激による運動誘導音 .....◎勝村真人・正原 涼・内藤誠一郎(東海大)
- J-064 運動誘導音における選択的フィリングイン .....◎正原 涼・勝村真人・内藤誠一郎(東海大)
- J-065 逆遠近錯視の製作と興行き知覚メカニズム  
.....◎平井沙織(鳴門教育大)・皆月昭則(釧路工大)・林 秀彦(鳴門教育大)
- J-066 オートステレオグラムにおける変則的融合の検証 .....◎大橋智樹・盛 磊・張 善俊(神奈川大)
- J-067 立体視による GUI の操作性改善の検証 .....◎三神祐介・小宮山撰・武藤 剛(青学大)
- J-068 ネットワーク特性がストーリーミング映像の知覚におよぼす影響  
.....◎寺田裕樹・坂本歩海・猿田和樹・陳 国躍(秋田県大)
- J-069 液晶ディスプレイ上での2色の切り替え表示における再現色に関する研究  
.....◎石沢千佳子・高木誠吾・西田 眞・金 素子(秋田大)
- J-070 液晶ディスプレイ上での色の切り替え表示におけるちらつきに関する検討  
.....◎高木誠吾・石沢千佳子・西田 眞(秋田大)

## K 分野：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用 (第3分冊)

## [教育工学 (1)]

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1Q会場(函館短期大学 2F N21) 座長 中村 勝一(福島大)
- K-001 HTML5を用いた動画ヘルプの作成とネット共有システム .....◎松崎広起・納富一宏(神奈川工科大)
- K-002 ビアノ初学者に向けたピアノ演奏学習支援システムの提案 .....◎山田和広・中平勝子(長岡技術科大)
- K-003 電子回路と音の教育のための簡易エレキギターの開発 .....◎川島聡太・西村恵亮・松井秀樹・東海林智也(函館高専)
- K-004 コンピュータグラフィックス教育における辞書検索システムの応用  
.....◎森 真幸(阪大)・廣瀬健一・富永哲貴・飯田尚紀(産業技術短大)
- RK-001 絶対評価を用いたプログラミング演習における理解度測定  
.....◎小山昂紘・谷川絃平・原田史子・鳥川博光(立命館大)
- K-005 PAD を利用したパズル型プログラミング学習システム .....◎猪俣順平・寺田 実(電通大)・丸山一貴(東大)
- K-006 C 言語関数呼び出しの間違い分析による行き詰まり原因の特定 .....◎谷川絃平・原田史子・鳥川博光(立命館大)

## [教育工学 (2)]

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2Q会場(函館短期大学 2F N21) 座長 小尻 智子(関西大)
- K-007 Refining Programming Course Plan with Contextual Inquiry and Student Behavior Data  
.....◎Phuong Dinh Thi Dong・鳥川博光(立命館大)
- K-008 Contextual Inquiry とクラスタリングによるプログラミング指導法改善  
.....◎高橋 渉・小山昂紘・谷川絃平・原田史子・鳥川博光(立命館大)
- K-009 ソースコードのコメント文に着目した学習者の気づき抽出 .....◎大野公裕・原田史子・鳥川博光(立命館大)
- K-010 探索意図の洗練を重視した情報探索支援システムの提案  
.....◎山崎辰也・大沼 亮・神長裕明(福島大)・宮寺庸造(東京学芸大)・中村勝一(福島大)
- K-011 ARCS モデルを適用した教育用 Web システムの開発 .....◎中富竜一郎・沖由梨佳・堀部典子(崇城大)
- K-012 ペイジアンネットワークを利用した授業評価分析および評価項目の検討 .....◎米谷雄介・古田壮宏・赤倉貴子(東理大)
- K-013 学習プロセスに対応ついた e ポートフォリオ蓄積のための学習活動誘導記述言語  
.....◎福田康平・森本康彦(東京学芸大)・中村勝一(福島大)・宮寺庸造(東京学芸大)
- K-014 人間型ソフトウェアロボットを用いた理科仮想実験教材の制作技法の研究  
.....◎齋藤章裕・松田 洋・新藤義昭(日本工大)

## [教育工学 (3) &amp; 福祉情報工学]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3Q会場(函館短期大学 2F N21) 座長 若月 大輔(筑波技術大)
- K-015 工業高専における知的財産教育の実践 .....◎福本 徹(国立教育政策研)・宮川洋一(岩手大)
- K-016 「いじめ語指数」と個人名検出を併用した学校裏サイト監視支援システム  
.....◎浅田太郎(京都府大)・伏見朋恵(楽天)・吉富康成・田伏正佳(京都府大)
- K-017 ICT を活用した地域の歴史・文化の把握とそれに基づくまちづくり提案 .....◎三好孝治(広島工大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- K-018 TOF カメラによる連続手話認識に関する検討……………◎森口拓哉・酒向慎司・北村 正 (名工大)  
 K-019 要約筆記品質評価システムの改良……………○高尾哲康 (富山国際大)  
 K-020 タブレット装置を利用した書字訓練手法の提案……………○伊藤史人 (一橋大)  
 K-021 フリーマンチェーancodeの提示によるグラフの読み取りについて ……◎小宮厚一・大西淳児・小野 東 (筑波技術大)

#### [サイバースペース (1)]

- 9月8日 (木) 15:30 ~ 17:30 4Q 会場 (函館短期大学 2F N21) 座長 宮崎 勝 (NHK 放送技研)
- K-022 ユーザ情報を考慮した芳香療法活用のためのウェブアプリケーション……………◎木村優衣子・真田博文・竹沢 恵・岡崎哲夫 (北海道工大)
- RK-002 サービスインタフェースモデルに基づいた利用者単位の消費電力測定手法の提案……………◎高橋麻美・根路銘崇・沼尾雅之 (電通大)
- K-023 重み付有向グラフを用いた Web インタフェース設計のための操作ログ解析……………◎辻本陽平・鈴木育男・山本雅人・古川正志 (北大)
- K-024 ウェブ上で構成される二部グラフのコミュニティ対応関係……………◎原田恵雨・鈴木育男・山本雅人・古川正志 (北大)
- K-025 ユーザのコミュニティ分割を用いた Web インタフェース設計のための操作ログ解析……………◎滝見優太・鈴木育男・山本雅人・古川正志 (北大)
- K-026 ソーシャル VOD サービス実験 "teleda" における番組視聴行動分析……………○浜口斉周・宮崎 勝・藤沢 寛 (NHK)

#### [教育工学 (4)]

- 9月9日 (金) 09:30 ~ 12:00 5Q 会場 (函館短期大学 2F N21) 座長 渡辺 健次 (佐賀大)
- K-027 (講演取消)
- K-028 工学実験における顔と手先の動作追跡システムの構築……………◎比嘉健太郎・野口健太郎・神里志穂子 (沖縄高専)
- K-029 瞳孔径による授業評価……………◎大山貴紀・金子 格・小野文孝・曾根順治 (東京工芸大)・花村 剛 (エモヴィス)
- K-030 慣性センサによるバイオリンの運弓動作指導の検討……………◎宮里洗司・野口健太郎・神里志穂子 (沖縄高専)
- K-031 動作特徴に基づいた技能指導項目の検証……………◎神里志穂子・比嘉 優・野口健太郎 (沖縄高専)
- K-032 仮想現実によるノートの感触の検討……………○石原 学 (小山高専)
- RK-003 問題集 eラーニングシステムのビルマ語環境への応用……………○小島一秀・並川嘉文 (阪大)

#### [教育工学 (5)]

- 9月9日 (金) 13:00 ~ 16:00 6Q 会場 (函館短期大学 2F N21) 座長 宮寺 庸造 (東京学芸大)
- K-033 外国人の初級日本語学習支援システムにおける数詞誤りの訂正方式……………◎谷之口優人・杉野勝也・佐藤俊也・絹川博之 (電機大)
- K-034 プログラミング演習における学習者の到達度を考慮した小テスト生成……………◎佐藤直崇・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-035 数式を含めた記述式解答を可能とする高校生向け数学学習支援システムの提案……………◎金光隆広・絹川博之 (電機大)
- K-036 講義における口頭説明に対する学生の興味分析……………◎廣瀬 達・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-037 産業技術短期大学における課題達成型プログラミング実習に関する一考察……………○金子豊久・廣瀬健一・佐藤清次・飯田尚紀 (産業技術短大)
- K-038 数学的思考能力を高めるための e-learning システムの開発……………○下郡啓夫 (北星学園大附属高)・大場みち子 (はこだて未来大)
- K-039 エンジニアリングデザイン教育を考慮した学生主導による実験……………○金城伊智子・山田親稔・比嘉健太郎 (沖縄高専)
- K-040 LMS のディスカッション機能を用いた複数学年またがるプロジェクト管理演習とプロジェクト演習の実践……………○佐々木茂・荒井正之・渡辺博芳 (帝京大)

#### [作業・理学療法のための福祉情報工学]

- 9月7日 (水) 09:30 ~ 12:00 1R 会場 (函館短期大学 2F N22) 座長 酒向 慎司 (名工大)
- K-041 ロボットと障害者の協創による音楽指向型作業療法システム……………○野口孝文・千田和範・梶原秀一・稲守 栄 (釧路高専)・佐野芳彦 (ト・ヘン)
- K-042 在宅療養患者危険行動検知システムの開発……………○鳥山朋二・浦島 智 (富山県大)・馬田一郎 (NICT)・中村正樹 (富山県大)
- K-043 自閉症スペクトラム児の心的回転能力と多面的な見方の関係……………◎友永啓太・縄手雅彦 (鳥根大)
- K-044 すごろくゲームを用いた数概念獲得訓練……………◎鶴川直樹・縄手雅彦 (鳥根大)
- K-045 眼球運動により操作する重度肢体不自由者向けマウスポインタ……………◎竹原一行 (マルヤス工業)
- K-046 半側空間無視リハビリテーション向けソフトウェアの開発……………◎粉川奈穂・美馬義亮・岩田州夫 (はこだて未来大)
- K-047 漢字書字を苦手とする児童のための訓練ソフトの開発……………◎川口利英・縄手雅彦 (鳥根大)

#### [マルチメディア・仮想環境基礎]

- 9月7日 (水) 14:30 ~ 17:30 2R 会場 (函館短期大学 2F N22) 座長 天目 隆平 (産総研)
- K-048 人体測定データを用いた着装シミュレーション……………◎大野峻介・中内智大・永瀬 宏 (金沢工大)
- K-049 3D 映像効果のモーションキャプチャーによる評価法の開発……………◎馬 敏 (鳴門教育大)・皆月昭則 (釧路工大)・林 秀彦 (鳴門教育大)
- K-050 接触可能な 3 次元物体の会話的表示法……………◎柴田尚久・村上伸一 (電機大)
- K-051 情報バランスにおけるコミュニケーションケアに関する検討……………◎西村行正・那須理也・鉄谷信二 (電機大)
- K-052 生活情報の感覚的表示法に関する研究……………◎那須理也・西村行正・鉄谷信二 (電機大)
- K-053 つぶやきマイニングによるお出かけ情報生成法とその評価……………◎深谷昭宏 (中京大)・浦 正広 (名大)・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也 (中京大)・安田孝美 (名大)
- K-054 Task level SURF keypoint extraction parallelization in AR application……………◎Hoang Anh Dang・Pao Sriprasertsuk・亀山 渉 (早大)

- K-055 JAN コードの AR マーカー的用法についての基礎検討  
 ……◎牧野 輝 (中京大)・浦 正広 (名大)・中 貴俊・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也 (中京大)

#### [高機能マルチメディア]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3R 会場 (函館短期大学 2F N22) 座長 青木 直史 (北大)
- K-056 画像合成による拡張視覚復号型暗号 ……◎生源寺類 (静岡大)
- RK-004 **[FIT 論文賞受賞論文]**  
 カラー難視性パターンを用いた情報付加手法における前景耐性改善の提案  
 ……◎金田北洋・鬼頭裕太・岩村恵市 (東理大)
- RK-005 蝸牛遅延に基づいた電子音響透かし法とそのブラインド検出法の実現 ……◎鶴木祐史・宮内良太 (北陸先端大)
- RK-006 観察者に応じたプライバシー保護映像を生成可能な映像配信手法 ……◎福岡直也・伊藤義道・馬場口登 (阪大)
- K-057 (講演取消)
- K-058 GPU を用いた仮想三次元物体の実時間自由変形  
 ……◎伊津 惇・高橋 章 (長岡高専)・若月大輔 (筑波技術大)・駒形英樹・石井郁夫 (埼玉医科大)
- RK-007 GPGPU に基づく聴覚ディスプレイシステムにおける音像制御処理の並列化に関する検討  
 ……◎及川祐亮・渡邊貫治・高根昭一・佐藤宗純・安倍幸治 (秋田県大)

#### [人間支援のためのセンシングとマルチメディア]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4R 会場 (函館短期大学 2F N22) 座長 蔵田 武志 (産総研)
- K-059 ロボットによる視覚障害ランドマークの検出と獲得 ……◎村井保之 (日本薬科大)・巽 久行・宮川正弘 (筑波技術大)
- K-060 色相を用いたピクトグラムの認識と誘導支援  
 ……◎村井保之 (日本薬科大)・◎巽 久行・関田 巖・宮川正弘 (筑波技術大)
- K-061 可視光通信による視覚障害を配慮した実験用 LED 街路灯  
 ……◎巽 久行 (筑波技術大)・村井保之 (日本薬科大)・荒木智行 (広島工大)・宮川正弘 (筑波技術大)
- K-062 日本食レストラン産業におけるマルチセンサと POS データに基づくサービスオペレーション推定  
 ……◎天目隆平・上岡玲子・牧田孝嗣 (産総研)・新村 猛 (がんこフードサービス/産総研)・竹原政矩・速水 悟 (岐阜大)・蔵田武志 (産総研)
- K-063 ライフログのための対話検出 ……◎熊谷怜史・全 炳東 (千葉大)
- K-064 マイクログログを活用したプレゼンテーション聴講・共有支援システムの提案  
 ……◎佐伯拓郎 (中京大)・浦 正広 (名大)・中 貴俊・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也 (中京大)

#### [サイバーワールド (2)]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5R 会場 (函館短期大学 2F N22) 座長 井原 雅行 (NTT)
- K-065 仮想空間を用いた職業体験の操作履歴に着目した職業適性抽出  
 ……◎西出恭平・駒木建明・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-066 仮想空間を用いた認知的徒弟制に基づく介入指導システム ……◎西田任志・島川博光・原田史子 (立命館大)
- K-067 特徴点辞書を持つ3次元マップを用いた屋外におけるトラッキング手法の提案 ……◎神山 朗・赤嶺有平 (琉球大)
- K-068 位置、時間を限定したコミュニケーションシステム (ichimail)  
 ……◎深谷邦之介・神野泰央・佐々木広大・志村裕介・井上道哉・長沢可也 (湘南工科大)
- K-069 仮想空間内の体験ストーリー作成のための思い出核心部の集約 ……◎駒木建明 (立命館大)
- K-070 コネクティッドスタジオ: 多人数参加型バーチャル番組出演サービス  
 ……◎道家 守・金子浩之・浜口斉周・井上誠喜 (NHK)
- K-071 ウォークスルー技法を用いた多目的ナビゲーションシステムに関する研究  
 ……◎Rawich Kiriyaong・松田 洋・新藤義昭 (日本工大)

#### [生活支援のための福祉情報工学]

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6R 会場 (函館短期大学 2F N22) 座長 大倉 典子 (芝浦工大)
- K-072 iPhone を利用したバリア情報記録・公開システム ……◎井上道哉・古山宗亮・長沢可也 (湘南工科大)
- K-073 フェロモンモデルを用いた創発型バリアフリーマップの設計と構築  
 ……◎奥山修平 (所属なし)・小西 修 (はこだて未来大)
- K-074 疲労検知に有効な加速度センサの組み合わせ評価 ……◎加藤和弥・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-075 凍結路面における歩行の練習手段の提案 ……◎泉 隆 (東海大)・田中敏明 (東大)・白銀 暁 (埼玉県大)
- K-076 高齢者の移動軌跡を用いた生活リズムの導出 ……◎草野敦馬・室 寛和・林 利毅・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-077 箸間の導電性に基づく摂食行動検知手法の提案 ……◎山岸勇貴・雨宮寛敏・金田重郎 (同志社大)
- K-078 電話を用いた自己発信型高齢者見守りシステムにおける再確認アルゴリズムの研究 ……◎菊池卓秀・山田敬三・高木正則 (岩手県大)・田中 充 (イワテシガ)・佐々木淳・小川晃子 (岩手県大)
- K-079 高齢者の QOL 向上を目指した Android システムの提案と開発 ……◎櫻井 優・坂本泰伸・松澤 茂・武田敦志・高橋千晶・出羽朋絵 (東北学院大)・家子敦子・零石理枝 (仙台白百合女子大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

## L 分野：ネットワーク・セキュリティ（第4分冊）

## [通信制御]

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1S 会場(函館短期大学 2F N23) 座長 渡辺 健次(佐賀大)
- RL-001 IPv6 環境におけるネットワーク認証のためのマルチキャストフィルタリングイーサネットスイッチ  
.....○布目 淳・平田博章・柴山 潔(京都工繊大)
- RL-002 インバウンド接続に適用可能な NAT によるマルチホーム化手法  
.....○山口拓哉・金 勇・山井成良・岡山聖彦(岡山大)・中村素典(NII)
- RL-003 実機を用いた高速 TCP の公平性の評価 .....○大浦 亮・山口実靖(工学院大)
- L-001 フィルタリングルール最適配置問題の解法 ..... ○嶋 良平・田中 賢(神奈川大)・三河賢治(新潟大)
- L-002 パケットフィルタリングの多段化による遅延の軽減法 ..... ○阿部貴紀・田中 賢(神奈川大)・三河賢治(新潟大)
- L-003 クロスレイヤフロー制御における TCP 輻輳ウィンドウサイズ削減率について  
..... 上川原大治(東北インフォメーション・システムズ)・  
○工藤智子(山形大/山形県産業技術短大)・武田利浩・平中幸雄(山形大)
- L-004 (講演取消)

## [セキュリティ運用管理]

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2S 会場(函館短期大学 2F N23) 座長 須賀 祐治(IJ)
- L-005 ログ解析による Web サービスの稼働監視方式 .....○砂田英之・山田耕一(三菱)
- L-006 NDL によるネットワーク設計システムのためのエージェント記述 .....○奥山雄紀・武田利浩・平中幸雄(山形大)
- L-007 スпам発信源分析による TLD のガバナンス推定 .....○竹下峰弘・中平勝子・三上喜貴(長岡技科大)
- L-008 統合脆弱性検査システムの提案 .....○山口聖大・佐藤 直(情報セキュリティ大)
- L-009 (講演取消)
- L-010 メールユーザエージェントによる送信者認証の実験:DKIM 方式の適用 .....○山田真也・野口健一郎(神奈川大)
- L-011 Ethernet を用いた ID タグ情報収集管理システムの試験 .....○後藤建二・松田勝敬(東北工大)

## [仮想化・クラウド・データセンタ]

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3S 会場(函館短期大学 2F N23) 座長 松本 直人(さくらインターネット)
- RL-004 北海道大学アカデミッククラウドにおけるコンテンツマネジメントシステムの展開 .....○棟朝雅晴・高井昌彰(北大)
- L-012 DHT におけるノードテーブルサイズを削減するための仮想ノード配置手法  
..... ○金子 豊・黄 民錫・竹内真也・和泉吉則(NHK)
- L-013 クラウド向けネットワーク自動設計方式の提案 .....○保田淑子・肥村洋輔・沖田英樹・山田真理子(日立)
- L-014 VM 間トラフィック交流を考慮した仮想サーバの効率的な配置方法の提案  
..... ○朝倉浩志・倉上 弘・山田博司(NTT)
- L-015 Bloom filter を用いた分散トラフィックログ管理手法の提案 ..... ○朝倉浩志(NTT)
- L-016 仮想化、非仮想化サーバが混在したデータセンタにおける省電力運用管理手法の提案  
..... ○荒井大輔・吉原貴仁(KDDI 研)
- L-017 データセンタネットワークにおけるトラフィック優先度を考慮した動的ポーズ時間設定方式  
.....○早坂光雄・大島 訓(日立)

## [暗号・認証プロトコル]

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4S 会場(函館短期大学 2F N23) 座長 浅野 智之(ソニー)
- L-018 Lattice Cryptosystem with Polynomial Ring Secure Against the Han's Attack .....○藤堂洋介・森井昌克(神戸大)
- L-019 インテリジェントシステムに基づく秘匿通信系のパラメータ評価 .....○清水能理(八戸工大)
- L-020 線形複雑度のプロファイルを用いた乱数検定に関する一考察 .....○芝山直喜・金子敏信・半谷精一郎(東理大)
- L-021 疑似乱数生成器 Enocoro の差分線形攻撃耐性評価 .....○徳田康平・金子敏信(東理大)
- L-022 One-Time Password Authentication Scheme to Solve Stolen Verifier Problem .....○伊沢亮一・森井昌克(神戸大)

## [バイオメトリクス]

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5S 会場(函館短期大学 2F N23) 座長 朴 美娘(神奈川工科大)
- L-023 Fuzzy Commitment Scheme における生体情報の推定困難性に関する一考察  
..... ○披田野清良(早大)・市野正嗣(電通大)・小松尚久(早大)・高橋健太(東大)
- L-024 虹彩情報の Renyi エントロピー推定に関する一考察  
..... ○披田野清良・赤尾直彦(早大)・市野正嗣(電通大)・小松尚久(早大)・高橋健太(東大)
- L-025 手指形状認識による画像認証手法での複数の識別方法の比較  
..... ○中村孔明・高橋雅隆・納富一宏(神奈川工科大)・齋藤恵一(国際医療福祉大)
- L-026 自己組織化マップを用いた音声認証 - 男女ごとの適正周波数帯 -  
..... ○平澤 翼・納富一宏(神奈川工科大)・齋藤恵一(国際医療福祉大)
- L-027 自己組織化マップを用いたキーストローク認証手法の提案 - 覗き見によるリズムのなりすまし評価 -  
..... ○野口敦弘・高橋雅隆・納富一宏(神奈川工科大)・齋藤恵一(国際医療福祉大)
- RL-005 日本語自由文書入力におけるキーストローク認証 ..... ○平岡佑基(明石高専)・石井昌樹(NTT ネオメイト)・  
佐村敏治(明石高専)・西村治彦(兵庫県大)
- L-028 ケプストラム解析を用いた脳波個人認証の検討 .....○鶴 浩二(大分高専)

---

**【可視化・認証セキュリティ・TE】**

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6S会場(函館短期大学 2F N23) 座長 山井 成良(岡山大)
- L-029 3階層マッピングによるネットワーク構成可視化技術の考察  
 ……○市原利浩・魚住光成(三菱)・荒井和昌(三菱電機インフォメーションシステムズ)
- L-030 マルチレイヤのネットワークポロジ抽出手法  
 ……○日暮一太・金岡 晃(筑波大)・加藤雅彦(インターネットイニシアティブ)・岡本栄司(筑波大)
- L-031 企業間認証連携における利用者特定方式 ……○石川祐輔・菅野幹人・白木宏明(三菱)
- L-032 ユーザが望むシングルサインオンを実現するための認可プロトコルに関する研究 ……○櫻木陽介・今泉貴史(千葉大)
- L-033 ルーティングアルゴリズムによるセンサネットワークのセキュリティ強化手法  
 ……○孟 南・王家宏・児玉英一郎・高田豊雄(岩手県大)
- L-034 クリップボード監視処理を用いたコピー操作ログ取得法 ……○佐藤 諒・石沢千佳子・西田 眞(秋田大)
- RL-006 BPPM/AHESに基づく自動トラスト交渉基盤の開発 ……○青山桃子・森 文宏・八横博史(名大)
- L-035 リンク利用率のバイズ推定による負荷分散ルーティング ……○寺本 翼・原 元司(松江高専)

---

**M分野：ユビキタス・モバイルコンピューティング(第4分冊)**
**【携帯端末アプリケーション】**

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1T会場(函館短期大学 2F N24) 座長 荒川 豊(九大)
- M-001 携帯端末と公共端末の連携による認証システムの提案  
 ……○梅澤克之・加藤崇利・萱島 信(日立)・手塚 悟(東京工科大)
- RM-001 音声提示と相対入力による覗き見に強い認証方式の提案 ……○近藤 潤・平野 学・神谷直希(豊田高専)
- M-002 スマートフォンにおいて状況推測を用いた電源管理システムの設計と実装 ……○岩井祐太・西山裕之(東理大)
- M-003 iPadを活用したデジタル操業日誌の開発  
 ……○松橋みどり(はこだて未来大)・佐野 稔(北海道立総合研究機構)・和田雅昭(はこだて未来大)
- M-004 Android携帯を利用した受信信号強度分布図共有システムの提案とプロトタイプ開発  
 ……○狐崎直文・小池寛見・水澤純一(青学大)
- RM-002 位置情報に応じた単語予測を行う携帯端末向け日本語入力システムの提案  
 ……○足澤 憲・平野優輝・澤本 潤・杉野栄二・瀬川典久(岩手県大)
- M-005 ミリ波を使った高速ファイルダウンロードシステム  
 ……○大庭信之・高野光司・中野大樹・甲田泰照・片山泰尚(日本IBM)

**【実環境センシング】**

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2T会場(函館短期大学 2F N24) 座長 植原 啓介(慶大)
- M-006 知的照明におけるワイヤレス照度センサの省電力制御と照度収束の安定性  
 ……三木光範・○長野正嗣・吉見真聡・吉井拓郎(同志社大)
- M-007 知的照明システムへの在席センサの組み込み ……三木光範・○松谷和樹・吉見真聡・吉井拓郎(同志社大)
- M-008 会議エリアにおいて少数の照度センサで囲んだ空間を目標照度にする照明システム  
 ……三木光範・○東 陽平・吉見真聡・吉井拓郎(同志社大)
- M-009 ユビキタス空間における在室管理システムの設計・実装 ……○室谷将希・岩本健嗣・松本三千人(富山県大)
- M-010 快適環境構築のための室内空間モニタリングシステムに関する研究 ……○秦 祐輔・長坂康史(広島工大)
- M-011 (講演取消)
- M-012 放射線量を可視化するスマートフォンアプリケーション「シーベルト」の開発 ……○平野裕作・橋本和夫(東北大)
- M-013 コミュニティによるスマートフォンを利用した騒音センシングシステムの構築  
 ……○岩井将行・澤上佳希・酒巻智宏・瀬崎 薫(東大)

**【機器操作】**

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3T会場(函館短期大学 2F N24) 座長 大内 一成(東芝)
- M-014 ユーザ状況を考慮したネットワーク家電機器アクセス制御方式の提案  
 ……○雨森将司・三原進也・坂本 陽・島田秀輝・佐藤健哉(同志社大)
- M-015 ネットワーク家電機器操作のためのARマーカ技術の検討 ……○三原進也・坂本 陽・島田秀輝・佐藤健哉(同志社大)
- M-016 マーカレスAR技術を用いたネットワーク家電機器操作システムの設計  
 ……○南 雄典・三原進也・坂本 陽・島田秀輝・佐藤健哉(同志社大)
- M-017 まばたきによる筋電位変化を用いた機器操作方法の提案と実証  
 ……○岡村将志・加藤正樹・五百蔵重典・田中 博(神奈川工科大)
- M-018 コンテキストデスクトップ-コンテキストによって制御される端末デスクトップ-の試作  
 ……○藤井 彰・角田忠信・二村和明・由良淳一・藤野信次(富士通研)
- M-019 周辺機器連携により多様なユーザ作業支援を可能とするシステムの開発と評価  
 ……○川勝良章・宇式一雅・角田忠信・長谷川尚己・藤野信次(富士通研)
- M-020 動的ネットワーキングサービスにおける機器連携方式 ……○齊藤 潤・水越紀夫・久保田稔(千葉工大)

**【地理情報とナビゲーションシステム】**

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4T会場(函館短期大学 2F N24) 座長 屋代 智之(千葉工大)
- M-021 都市道路網の動的交通情報を用いたリンク旅行時間の1推定  
 ……○清水 光(福山大)・森藤義之(パーママンコーポレーション)・小林正明(福山大)
- RM-003 現地調査支援システムにおける複数人同時調査を想定した即時経路探索機能の開発  
 ……○杉浦史門・中村和彦(オープンコンシェルジュ)・齋藤 仁(東大)・森 聡・福本 壘・中山かなえ・中山 悠(オープンコンシェルジュ)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- RM-004 通信も地図情報も不要なナビゲーションシステムの図書館検索システムの適用  
.....◎小林 誠・五百蔵重典 (神奈川工科大)
- M-022 行動履歴を用いた詳細道路情報収集システムの提案  
.....◎岡田秀輝 (同志社大)・山田真大 (名大)・佐藤健哉 (同志社大)
- M-023 移動コストを考慮したスポット推薦手法の提案 .....◎佐々木公平・吉成 敦・橋本和夫 (東北大)
- M-024 アクセス制御を可能にする位置情報通信プロトコルに関する研究 .....◎谷川広和・長坂康史 (広島工大)

### [高度交通システム]

9月9日(金) 09:30 ~ 12:00 5T 会場 (函館短期大学 2F N24) 座長 屋代 智之 (千葉工大)

- RM-005 マルチバス環境下におけるカルマンフィルタを用いたMIMO-OFDMチャネル推定法  
.....◎名取隆廣・田邊 造・松江英明 (諏訪東理大)・古川利博 (東理大)
- RM-006 車車間通信における効率的なジオキャスト伝送方式の検討 .....◎山田達也・光川真由・島田秀樹・佐藤健哉 (同志社大)
- M-025 車線を考慮した車々間通信向け効率的IPアドレス割り当て手法の提案  
.....◎松本江里加・光川真由・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
- RM-007 【船井ベストペーパー賞受賞論文】  
電気自動車 (EV) 向け ITS 情報通信システムの開発と評価  
.....◎服部有里子・下田智一 (三菱重工)・伊藤政義 (三菱自動車)
- M-026 伝送路変動に追従可能なアフィン射影アルゴリズムを用いたブラインドマルチユーザ検出器  
.....◎大場正太・名取隆廣・田邊 造 (諏訪東理大)・古川利博 (東理大)
- M-027 漸増刺激と瞬時回答を用いた、サイン音の定位の主観評価 .....◎竹内大貴・金子 格 (東京工芸大)
- M-028 画像認識手法を用いた車載型前方監視システム .....◎鶴飼正人・長峯 望・那須ボクタン友幸 (鉄道総研)

### [行動パターン分析]

9月9日(金) 13:00 ~ 16:00 6T 会場 (函館短期大学 2F N24) 座長 横山 浩之 (KDDI 研)

- M-029 Twitter API を用いたセンサー情報のオープン化 .....◎竹田拓馬・武田利浩・平中幸雄 (山形大)
- M-030 位置情報付き投稿におけるテキスト解析を用いたラベル付け手法の検討 .....◎酒巻智宏・岩井将行・瀬崎 薫 (東大)
- RM-008 Twitter におけるリツイート経路の重ね合わせによるユーザ発見支援  
.....◎太田佑介・寺田 実 (電通大)・丸山一貴 (東大)
- M-031 遠隔コミュニケーション支援のための所在地に基づく周辺情報伝達システム  
.....◎伊藤淳子・森 遥子・宗森 純 (和歌山大)
- M-032 モバイル・チェックアウトによる店内行動情報の収集と活用 .....◎相原 達・上條 昇 (日本 IBM)
- M-033 モバイルツールにおける個人の嗜好に合わせたデジタルサイネージ  
.....◎田中穩識・納富一宏・畑中基希 (神奈川工科大)
- M-034 A Simple Way to Design Sensor-web Model By Intergrating Social Network Services  
.....◎何 斌斌・岩井将行・瀬崎 薫 (東大)

### [コンテンツ配信・流通]

9月7日(水) 09:30 ~ 12:00 1U 会場 (函館短期大学 3F S31) 座長 白石 陽 (はこだて未来大)

- M-035 サーバ間の配信時間差の利用により視聴時の QoE を向上させた動画ストリーミング方式の提案  
.....◎佐藤優大・大島浩太・寺田松昭 (農工大)
- M-036 関連する複数ストリーミングコンテンツ同時視聴システムの設計と実装  
.....◎中村和己・谷川 諒・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
- M-037 P2P を用いた動画配信サービスの提案 .....◎柏木貴紀・澤本 潤・杉野栄二・瀬川典久 (岩手県大)
- RM-009 アドホックなネットワークコミュニティのための視視点ライブ映像共有システム  
.....◎廣野大地 (東大)・高井昌彰 (北大)
- M-038 狭帯域ネットワーク環境におけるユーザ認証と連動したセキュアな映像コンテンツ配信方式  
.....◎峯 慎吾・中島宏一・阿倍博信・奥村誠司 (三菱)
- M-039 P2P 型複製オブジェクト環境のための異種ネットワークの実現 .....◎山本佑樹・高田秀志 (立命館大)
- M-040 利用者端末間で情報を循環させることによる情報交換・流通環境の提案 .....◎桜打彬夫・高田秀志 (立命館大)

### [作業支援ほか]

9月7日(水) 14:30 ~ 17:30 2U 会場 (函館短期大学 3F S31) 座長 高井 昌彰 (北大)

- M-041 ファットツリー型データセンタネットワークにおける障害箇所推定ルールを用いた自律的経路制御方式の検討  
.....◎石川さゆり・坂田匡通・小川祐紀雄 (日立)
- M-042 Design of High Realistic Tele-presence System for Co-presence of Human-user and Agent-avatar  
.....◎Hao Luo・Tatsuya Ippyo・Hideki Shimada・Kenya Sato (Doshisha University)
- M-043 ヒューマンエラー防止のための非作業動作検出 .....◎林 利毅・原田史子・島川博光 (立命館大)
- M-044 管内事故防止のための特定作業に着目した異常状態判定  
.....◎中内亮介・林 利毅・原田史子・島川博光 (立命館大)・中川晃一 (三菱)
- M-045 業務システム操作画面からのデータ抽出とオペレータ支援に向けた検討  
.....◎川端祐人・西川健一・増田 健・大野陽介・秋山幸生 (NTT)
- M-046 アジャイルソフトウェア開発における保守への引継ぎ支援のための開発履歴提供手法の提案  
.....◎山中啓祐・高田秀志 (立命館大)
- M-047 タブレット端末を利用したダイナミックグループコラボレーション環境の構築 .....◎森口友也・高田秀志 (立命館大)
- M-048 Flex アプリケーションの iOS 環境での HTML5 変換による実行 .....◎吉賀祥太・早川智一・疋田輝雄 (明大)

---

**【位置情報とセンサネットワーク】**

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3U会場(函館短期大学 3F S31) 座長 白石 陽(はこだて未来大)
- M-049 トンネル施工現場における無線LANを用いた高精度位置推定のための観測データ補正手法  
 ……………◎三輪直樹・田頭茂明・荒川 豊・福田 晃(九大)・松田浩朗・筒井隆規(飛鳥建設)
- M-050 赤外線センサ群を用いた人物位置推定システムの提案 ……………◎保刈佳彦・永瀬 宏・水野 舜(金沢工大)
- M-051 ZigBeeに基づく屋内測位とその応用  
 ……………◎辻 順平・川村秀憲・鈴木恵二(北大)・池田 剛・河本 満・幸島明男・車谷浩一(産総研)
- M-052 3次元センサネットワークにおける適応型ルーティングに関する研究 ……………◎青戸 渉・原 元司(松江高専)
- M-053 健康管理支援のためのクラスタリング技術に基づくセンサデータの獲得手法  
 ……………◎和泉 諭(東北大/日本学術振興会)・高橋秀幸・木下哲男(東北大)
- M-054 沿岸用メッシュ型センサネットワークの構築実験 ……………◎長野 澄・吉田将司(サレジオ高専)
- M-055 無線センサネットワークにおけるネットワーク長寿命化のための負荷分散方式の提案  
 ……………◎後藤 典・能登正人(神奈川大)

---

**N 分野：教育・人文科学(第4分冊)**
**【人文科学とコンピュータ】**

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4U会場(函館短期大学 3F S31) 座長 関野 樹(総合地球環境学研)
- N-001 局所的に入れ替わりがある絵画資料画像の任意の対応点に基づく比較表示方法の検討 ……………◎川北明広(芝浦工大)・安達文夫(歴史民俗博物館)・徳永幸生(芝浦工大)・杉山 精(東京工芸大)
- N-002 歴史DBにおける検索語の分析と検索行動特性の推定 ……………◎小野田賢人(芝浦工大)・安達文夫(歴史民俗博物館)・徳永幸生(芝浦工大)・杉山 精(東京工芸大)
- N-003 (講演取消)
- N-004 デジタルアーカイブ化されたハルビン絵葉書の印象調査  
 ……………◎高橋 望・鈴木竜太・貫井隆弘・高橋 仁・吉田宏之・谷 聖一・松重充浩・山田 寛(日大)
- N-005 三味線演奏における基本動作習得のための特徴表示システムの提案  
 ……………◎小坂 晋・柴田 傑・玉本英夫・桂 博章・横山洋之(秋田大)

**【教育学習支援情報システム(1)】**

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5U会場(函館短期大学 3F S31) 座長 渡辺 博芳(帝京大)
- N-006 情報リテラシ教育教材の電子化の検討 ……………◎植竹朋文・森本祥一・関根 純・瀧美幸雄・大曾根匡(専大)
- N-007 発達障害学生を対象にした遠隔講義環境の提案 ……………◎伊藤史人・筒井泉雄・丸田伯子・山田健司(一橋大)
- N-008 救命処置教育における胸骨圧迫とAED使用方法に関する体験学習支援システムの開発  
 ……………◎志村綾華・西村拓也(釧路工大)・竹内美妃(日赤北海道看護大)・皆月昭則(釧路工大)・林 秀彦(鳴門教育大)
- N-009 保育実習の効果を高めることを目的とした保育者養成支援システムの開発  
 ……………◎藤原智大・吉崎智則・永田 健・金田重郎(同志社大)
- N-010 タブレットPCによる次世代向け韓国語電子教材の開発 ……………◎鈴木康洋・金 義鎭・金 惠鎭(東北学院大)
- RN-001 GUIにより問題作成が可能な電気回路Eラーニングシステム  
 ……………◎小森 学・相川直幸(東理大)・西田保幸(千葉工大)
- RN-002 ユーザの語彙力に適応した読みを付与するWeb読解支援システム ……………◎溝淵昭二(近畿大)・安藤一秋(香川大)

**【教育学習支援情報システム(2)】**

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6U会場(函館短期大学 3F S31) 座長 山川 修(福井県大)
- N-011 画面書き込み機能を付与したCBTシステムの検討 ……………◎高梨武矢・納富一宏・示野浩士・西村広光(神奈川工科大)
- N-012 臨床工学技士国家試験の問題解析と学習支援システムの構築  
 ……………◎中里友子・古山佳祐(帝京科大)・大久保英一(帝京科大/帝京短大)・小林和生(帝京科大)
- N-013 同一コンピュータ教室における学習スペースと試験スペースの構築事例  
 ……………◎古川文人・高井久美子・渡辺博芳(帝京大)
- N-014 作問支援環境を用いた地域固有の知識ベース構築への取り組み  
 ……………◎菅原遼介・高木正則・山田敬三・佐々木淳(岩手県大)
- N-015 (講演取消)
- N-016 (講演取消)

**【コンピュータと教育(1)】**

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1V会場(函館短期大学 3F S32) 座長 土肥 紳一(電機大)
- N-017 教育支援システムにおけるレコメンド機能に関する研究 ……………◎瀬川卓也・和田雄次(電機大)
- N-018 インターネットを利用した情報技術学習支援システム：学習状況の評価に用いる問題に関する検討  
 ……………◎久津間啓右・金子勇太・泉 隆(日大)
- N-019 携帯電話を利用した情報技術学習支援システムの開発：バイズの定理を利用した学習者の評価方法の検討  
 ……………◎金子勇太・久津間啓右・泉 隆(日大)
- N-020 学生の相互協力に着目した研究活動支援システムの提案 ……………◎田村 亘・南野謙一・後藤裕介・渡邊慶和(岩手県大)
- N-021 卒業研究を支援するための環境構築 ……………◎嶋津祐樹・美馬義亮(はこだて未来大)
- N-022 タブレット型コンピュータを用いた授業支援システムの開発 ……………◎郡司貴之(湘南工科大)
- N-023 個人情報漏えい防止を考慮した学校におけるUSBメモリ貸出システム ……………◎上枝俊太・納富一宏(神奈川工科大)

---

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

### 【コンピュータと教育 (2)】

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2V会場(函館短期大学 3F S32) 座長 中野 由章(大阪電通大)
- N-024 ICTを活用した日本語文章力育成への取り組み:問題点と展望…○稲積宏誠(青学大)・大野博之(東京医療保健大)
- N-025 国際安全規格 IEC 61508 に対応した教育教材の開発及び教育の実施 ……○余宮尚志・小原俊逸・大場聡司(東芝)
- N-026 機能安全設計におけるリスク分析のための事故事例の分類と活用方法 ……○小原俊逸・余宮尚志・大場聡司(東芝)
- N-027 大学における情報システム構築に関する教育方法についての改善  
 ……○石野正彦・上田翔太(福井工大)・工藤 司(静岡理工科大)・五月女健治(法大)
- N-028 大学入学直後のコンピュータスキル把握に向けた試み ……○飯塚重善(神奈川大)
- N-029 情報環境学部の「情報科教育法」への取り組み(その2) ……○土肥紳一・今野紀子(電機大)
- N-030 知識情報処理に基づく入試予測の可能性 ……○井出 明(追手門学院大)
- N-031 ICカードを用いたオンライン出席管理システム ……○田中晃平・泉 隆・武内 惇(日大)

### 【電子化知的財産・社会基盤】

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3V会場(函館短期大学 3F S32) 座長 井出 明(追手門学院大)
- N-032 電子地図に反映するためのGPS機能付きカメラによる測位に関する検討  
 ……○坂本憲昭・森 博美・近藤章夫・小沢和浩(法大)
- RN-003 社会システムにフィットしたコンテンツ制作・著作システム ……○児玉晴男・柳沼良知・鈴木一史(放送大/総研大)
- N-033 ID用顔画像の品質評価用フレームワークの提案 ……○鈴木裕之(東工大)・坂本静生(NEC)・  
 宮井貴志(ニューメディア開発協会)・中野和也・竹田賢史・鈴木理道・前田大輔(東工大)
- N-034 施設配置モデルを用いた特許文献の要約文抽出手法の提案 ……○矢野裕和・古田壮宏・赤倉貴子(東理大)
- N-035 プライバシー保護のための閲覧者権限に応じた画像フィルタリング手法の提案  
 ……○本多隼也・村上佑馬・熊木武志・藤野 毅(立命館大)
- N-036 プライバシー保護のための閲覧者に応じた画像フィルタリング手法の実装と評価  
 ……○村上佑馬・本多隼也・熊木武志・藤野 毅(立命館大)
- N-037 私的な創作の基盤としてのクラウドサービス上の情報の持続性の考察 ……○金子 格(東京工芸大)

## ○分野：情報システム(第4分冊)

### 【コンテンツ分析・配信】

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4V会場(函館短期大学 3F S32) 座長 関 良明(NTT)
- O-001 スレート型PCを用いたスマートサイネージシステムにおける情報共有について  
 ……○村瀬隆拓・鈴木亮詞・白松 俊・大園忠親・新谷虎松(名工大)
- O-002 スレート型PCを用いたスマートサイネージシステムにおけるコンテンツ配信機構の実装  
 ……○鈴木亮詞・村瀬隆拓・白松 俊・大園忠親・新谷虎松(名工大)
- O-003 ユーザの自発的閲覧を誘導するインターネット広告に関する研究 ……○四之宮一仁・濱本和彦(東海大)
- O-004 ParT:地域に特化した写真付き記事自動生成機構 ……○西本龍弘・間 博人・戸辺義人(電機大)
- O-005 埋め草コード語を利用したQRコードの誤り訂正能力向上について ……○渡辺優平・遠藤祐介・森井昌克(神戸大)
- O-006 Expansion of image displayable area in design QR code and its applications  
 ……○藤田和謙・栗林 稔・森井昌克(神戸大)

### 【情報発信・プレゼンテーション】

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5V会場(函館短期大学 3F S32) 座長 大場みち子(はこだて未来大)
- O-007 ベーカーリーショップにおけるtwitterを活用した販売促進システムの提案  
 ……○難波 輝・南野謙一・後藤裕介・渡邊慶和(岩手県大)
- O-008 観光における風評被害事例ポータルサイトの検討 ……○堀口祐耶・市川 尚・窪田 諭・阿部昭博(岩手県大)
- O-009 概念クラス化された知識伝達に基づくWebサイト構造改善手法の提案  
 ……○野田祐希・中西義尚・長村篤記・金田重郎(同志社大)
- O-010 行動ターゲット広告におけるプライバシー保護の実現方式についての検討  
 ……○西村俊介・田中英彦(情報セキュリティ大)
- O-011 プレゼンテーションにおけるジェスチャーによるスライド操作機構の試作  
 ……○山田裕之・丹羽佑輔・白松 俊・大園忠親・新谷虎松(名工大)
- O-012 PC間の遠隔操作のためのキーボードイベント同期機構について  
 ……○丹羽佑輔・山田裕之・白松 俊・大園忠親・新谷虎松(名工大)
- O-013 ペーパーレス会議のためのPDF資料閲覧支援システムの実現  
 ……○武馬賢志郎・白松 俊・大園忠親・新谷虎松(名工大)

### 【センサー・環境】

- 9月9日(金) 13:00～16:00 6V会場(函館短期大学 3F S32) 座長 畑山 満則(京大)
- O-014 昼光照度の推定を基に個別照度環境を実現する照明システム  
 ……三木光範・○吉井拓郎・吉見真聡・笠原佳浩(同志社大)
- RO-001 哀情報による救急救命在宅ホームクラウドの提案  
 ……○野地 保・石川希人(東海大)・荻野 正(三菱電機インフォメーションテクノロジー)
- O-015 知的照明システムにおけるデジタル照度センサの試作  
 ……三木光範・吉見真聡・○吉田健太・笠原佳浩・下村浩史(同志社大)
- O-016 知的照明システムにおける照明デジタル制御とクラウド化の検討  
 ……三木光範・吉見真聡・○平野裕也・笠原佳浩(同志社大)
- O-017 分散制御モジュールを組み込んだ知的照明システムの基本的検討 ……○笠原佳浩・三木光範・吉見真聡(同志社大)

- O-018 エクササイズバイクを用いた照明制御 ……………三木光範・吉見真聡・◎藤本祥平・吉井拓郎・下村浩史 (同志社大)  
 O-019 トレーシングの物理的分割を可能にする機械可読コードの開発 ……………◎加藤あすか (はこだて未来大)・三上貞芳 (はこだて未来大/Nanyang Technological University)・長野 章 (はこだて未来大)

#### 【業務プロセス・システム】

- 9月7日(水) 09:30～12:00 1W 会場 (函館短期大学 3F N31) 座長 野地 保 (東海大)  
 O-020 スプレッドシートを利用した業務アプリケーションの実装 ……………○小池賢一・菅野幹人 (三菱)  
 O-021 オフィス作業の"ぶった切り"ビデオ観察手法の提案 ……………◎松村耕平・神田陽治 (北陸先端大)  
 O-022 業務ログから得られた業務フローの標準化レベルと業務フローの正規化  
 ……………○笹川文義 (富士通研)・川村 旭 (富士通)・金井 剛 (富士通研)  
 RO-002 業務プロセス自動可視化のための実践的アプローチ ……………○矢野啓介・野村佳秀・金井 剛 (富士通研)  
 O-023 ビジネス顕微鏡による組織コミュニケーション改革の定量的評価  
 ……………◎辻 聡美・佐藤信夫・森脇紀彦・矢野和男 (日立)  
 O-024 ビジネス顕微鏡による社員の行動変容を支援する人間行動フィードバックシステム  
 ……………◎紅山史子・辻 聡美・佐藤信夫・大塚理恵子 (日立)  
 O-025 ビジネス顕微鏡を用いたコミュニケーション・ロールの指標化の検討 ……………○佐藤信夫・辻 聡美・矢野和男 (日立)

#### 【安心・安全】

- 9月7日(水) 14:30～17:30 2W 会場 (函館短期大学 3F N31) 座長 清水 明宏 (高知工科大)  
 RO-003 プライバシー情報の安全な流通と利活用を実現するシステムのアーキテクチャと評価  
 ……………○宮川伸也・森 拓也・岡田 勲・佐治信之 (NEC)  
 O-026 使用目的を限定したソフトウェア仮想化環境のためのセキュアな USB メモリの活用  
 ……………◎高橋雅隆・納富一宏 (神奈川工科大)  
 RO-004 【FIT 論文賞受賞論文】  
 SSL における暗号設定確認ツールの提案と評価  
 ……………○佐藤亮太・吉田勝彦・知加良盛・関 良明・神田雅透・栢口 茂・平田真一 (NTT)  
 O-027 クラウド型哀情報 My カルテシステムの考察 ……………◎石川希人・野地 保 (東海大)  
 O-028 広域災害発生時における哀情報クラウドの可能性 ……………◎安達大貴・野地 保 (東海大)  
 O-029 インマルサット衛星を通じた遠隔医療システムの構築 ……………○千葉雅史・野地 保・田中滋樹・生方香代・藤田泰裕・海津 徹 (東海大)・千田洋士 (日本デジコム)  
 RO-005 災害時における情報システムの障害分類と分析に関する一考察 ……………◎安藤 恵・畑山満則 (京大)  
 RO-006 住宅周辺における非日常音検知技術の適用と評価 ……………◎川口貴之 (鹿島建設)・河本 満 (産総研)・伊藤智尋・松田元男 (鹿島建設)・車谷浩一 (産総研)

#### 【情報検索】

- 9月8日(木) 09:30～12:00 3W 会場 (函館短期大学 3F N31) 座長 谷本 茂明 (千葉工大)  
 RO-007 Web ページの分類と閲覧時間を利用したコンテンツフィルタリング  
 ……………◎大井彩香・寺田 実 (電通大)・丸山一貴 (東大)  
 O-030 教師データの投稿年代を考慮した有害情報の判定手法に関する検討 ……………◎岡慎一郎・中村健二・小柳 滋 (立命館大)  
 RO-008 検索新聞:「新聞形式型検索情報提示システムにおけるマイクロブログを用いたユーザ適応」  
 ……………◎関谷英樹・祖父江翔・田村哲嗣・速水 悟 (岐阜大)  
 O-031 タッチパネルを用いた学内検索システムの開発 ……………◎原田翔平・三谷芳弘 (宇部高専)  
 O-032 A Search Engine for Semantic Web ……………◎Mamdouh Farouk・石塚 満 (東大)  
 O-033 リンク特性分析による Web ドキュメント中のノイズデータ除去手法の提案  
 ……………◎堤 浩太・梅澤 猛・大澤範高 (千葉大)  
 O-034 Twitter のフォロワー関係による分類とその集団の可視化 ……………◎後迫康宏・◎大久保諒・森井昌克 (神戸大)

#### 【モデリング・一般】

- 9月8日(木) 15:30～17:30 4W 会場 (函館短期大学 3F N31) 座長 西 宏之 (崇城大)  
 O-035 ホワイトボックスモデルとブラックボックスモデルの組み合わせによる情報処理システムの性能評価  
 ……………○木村大地・榊 啓・矢野尾一男 (NEC)  
 O-036 (講演取消)  
 O-037 スマートコンセント制御における相互通信 ……………◎佐藤雄亮・三浦信一・武田利浩・平中幸雄 (山形大)  
 RO-009 グループ化した蓄積情報を活用する知識継承の一手法 ……………○白石善明・福山 悠 (名工大)・毛利公美 (岐阜大)  
 O-038 時間的ゆとりがある状況下での携帯メールによる働きかけに対する応答特性 ……………◎吉永直生・板谷聡子 (NEC)・Peter Davis (テレコグニクス)・田仲理恵・小西 琢・土井伸一・山田敬嗣 (NEC)  
 RO-010 Experiments on Music Therapy Support System  
 ……………○荻野 正 (三菱電機インフォメーションテクノロジー)・石川希人・野地 保 (東海大)

#### 【ライフログ・レコメンデーション】

- 9月9日(金) 09:30～12:00 5W 会場 (函館短期大学 3F N31) 座長 柿崎 淑郎 (東理大)  
 RO-011 Web 上のライフログの統合利用に向けたライフログリポジトリの構築 ……………◎出口貴也・奥野 拓 (はこだて未来大)  
 O-039 人間の基本的欲求を利用した異なるサービスをつなぐユニバーサル・プロフィールの提案と評価  
 ……………◎秋山高行・寺本やえみ・小原清弘・谷崎正明 (日立)  
 O-040 What to wear in different situations? A Content-based Recommendation System for Fashion Coordination  
 ……………◎趙 瑩・荒木健治 (北大)  
 O-041 グループ独自の性格を考慮したグループ向けコンテンツ推薦手法  
 ……………◎瀬古俊一・八木貴史・茂木 学・武藤伸洋 (NTT)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2011年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- O-042 GPS ログを利用した施設推薦 ……………◎片桐郭順・伊與田光宏（千葉工大）
- O-043 AR マーカと行動ログを活用した地域活性化プラットフォームの考察  
- e 空間実現のためのサービス実証実験 pin@clip 2010 -  
……………◎小柴 等（産総研）・相原健郎（NII）・門倉博之（東急総研）・峰崎大介・金山明煥（東急電鉄）
- O-044 携帯型デバイスを用いた催物向けのナビゲーションシステム ……………◎相曾 梓・小島一成（神奈川工科大）

**[Web サービス・クラウド]**

- 9月9日（金） 13:00～16:00 6W 会場（函館短期大学 3F N31） 座長 梶田 将司（名大）
- O-045 テレワークユーザビリティのネットワーク遅延時における帯域依存性評価 ……………◎青井 瑛・大木榮二郎（工学院大）
- O-046 ESB ログからのサービス障害検出の実装と性能に関する考察 ……………○竹田義聡・菅野幹人・郡 光則（三菱）
- O-047 仮想環境における Hadoop 処理時間予測に関する実験と考察  
……………◎古畑俊一郎・祖父江恒夫（日立）・菅原秀幸（日立ソリューションズ）
- O-048 （講演取消）
- RO-012 自律型 Web サービスにおける複数システム間での動的モデル協調……………◎大友浩照・大谷 真（湘南工科大）
- RO-013 クラウドコンピューティングによる遠方監視制御システムの試作 ……………○宮西洋太郎（アイエスイーエム）
- O-049 中小企業における事業継続管理に関するクラウド技術を用いることの利点と利用限界  
……………◎周木 翔・大木榮二郎（工学院大）

## FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム 論文査読者一覧

- 青木 直史 (北大)  
 赤松 茂 (法大)  
 浅野 陽子 (NTT)  
 阿部 匡伸 (岡山大)  
 天野 英晴 (慶大)  
 荒井 秀一 (東京都市大)  
 荒川 豊 (九大)  
 荒牧 英治 (東大)  
 樺 肅之 (NTT)  
 安藤 一秋 (香川大)  
 安藤 ハル (日立)  
 安藤英由樹 (阪大)  
 井口 和久 (NHK)  
 石井 大祐 (早大)  
 石尾 隆 (阪大)  
 石川 孝明 (早大)  
 石川 冬樹 (NII)  
 石原 亨 (京大)  
 磯 和之 (NTT)  
 板井 志郎 (早大)  
 市川 寛子 (中大)  
 市川 裕介 (NTT)  
 市瀬龍太郎 (NII)  
 市村 哲 (東京工科大)  
 伊藤 京子 (阪大)  
 伊藤 靖朗 (広島大)  
 井上 明 (甲南大)  
 井上 恵介 (北陸先端大)  
 井上 誠喜 (NHK 放送技研)  
 井上 智雄 (筑波大)  
 井原 雅行 (NTT)  
 今井 達也 (東工大)  
 今井 雅 (東大)  
 今堀 慎治 (名大)  
 入江 英嗣 (電通大)  
 岩沼 宏治 (山梨大)  
 岩橋 政宏 (長岡技科大)  
 ウ 小軍 (NTT)  
 上田 和紀 (早大)  
 植野 剛 (JST)  
 上原 隆平 (北陸先端大)  
 浮田 宗伯 (奈良先端大)  
 宇田川佳久 (東京工芸大)  
 内田 誠一 (九大)  
 内田 祐介 (KDDI 研)  
 鷗木 祐史 (北陸先端大)  
 梅津 高朗 (阪大)  
 梅村 浩之 (産総研)  
 越前 功 (NII)  
 大木 哲史 (早大)  
 大須賀昭彦 (電通大)  
 太田 陽基 (KDDI 研)
- 大槻 麻衣 (立命館大)  
 大西 仁 (放送大)  
 大野 健彦 (NTT)  
 大場みち子 (はこだて未来大)  
 岡崎 哲夫 (北海道工大)  
 岡田 譲二 (NTT データ)  
 岡本 秀輔 (成蹊大)  
 岡本 吉央 (北陸先端大)  
 小川 一美 (愛知淑徳大)  
 小川 貴弘 (北大)  
 小川 哲司 (早大)  
 小口 正人 (お茶の水女子大)  
 奥山 祐市 (会津大)  
 小渡 悟 (沖縄国際大)  
 小野 廣隆 (九大)  
 柿崎 淑郎 (東理大)  
 角所 考 (関西学院大)  
 風間 淳一 (NICT)  
 梶川 嘉延 (関西大)  
 柏崎 礼生 (東京藝大)  
 片岡 信弘 (東海大)  
 片上 大輔 (東京工芸大)  
 片山 徹郎 (宮崎大)  
 加藤 邦人 (岐阜大)  
 加藤 淳 (東大)  
 加藤 毅 (群馬大)  
 金井 敦 (法大)  
 金子 晴彦 (東工大)  
 金子 寛彦 (東工大)  
 神谷 祐樹 (NEC)  
 神山 直之 (中大)  
 河口 信夫 (名大)  
 河内 亮周 (東工大)  
 河地 庸介 (東北福祉大)  
 菊地 悠 (NTT ドコモ)  
 木谷 友哉 (静岡大)  
 北村 泰彦 (関西学院大)  
 木下 哲男 (東北大)  
 木全 英明 (NTT)  
 清河 幸子 (中部大)  
 桐生 昭吾 (東京都市大)  
 久我 守弘 (熊本大)  
 栗原 正仁 (北大)  
 黒瀬 晋 (NEC)  
 桑原 和宏 (立命館大)  
 國分 智晴 (東芝ソリューション)  
 爰川 知宏 (NTT)  
 小坂 哲夫 (山形大)  
 小尻 智子 (関西大)  
 小西 宏志 (NTT)  
 小林健太郎 (名大)  
 小林 聡 (電通大)
- 小林 稔 (NTT)  
 小松 聡 (東大)  
 小向 太郎 (情報通信総研)  
 小室 孝 (埼玉大)  
 小森 政嗣 (大阪電通大)  
 齋藤 寛 (会津大)  
 坂井 修一 (東大)  
 境田 慎一 (NHK)  
 坂下 秀 (アクタスソフトウェア)  
 坂下 善彦 (湘南工科大)  
 櫻井 祐子 (九大)  
 佐藤 健吾 (慶大)  
 三功 浩嗣 (KDDI 研)  
 塩見 彰陸 (静岡大)  
 重野 寛 (慶大)  
 繁樹 博昭 (高知工科大)  
 柴田 史久 (立命館大)  
 石充文 (NEC)  
 柴山 昌弘 (NICT)  
 地引 昌弘 (NICT)  
 渋井 進 (大学評価・学位授与機構)  
 渋谷 哲朗 (東大)  
 宿口 雅弘 (イーソル)  
 白石 善明 (名工大)  
 新川 芳行 (龍谷大)  
 新谷 虎松 (名工大)  
 菅 幹生 (千葉大)  
 須川 賢洋 (新潟大)  
 菅原 俊治 (早大)  
 杉本 麻樹 (慶大)  
 鈴木 聡 (高エネルギー加速器研)  
 関 良明 (NTT)  
 関 喜一 (産総研)  
 関嶋 政和 (東工大)  
 関谷 貴之 (東大)  
 妹尾 武治 (九大)  
 高木 幸一 (KDDI 研)  
 高田 喜朗 (高知工科大)  
 高田 秀志 (立命館大)  
 高田 桂太 (東大)  
 高橋 尚子 (國學院大)  
 高橋 由泰 (日立)  
 高村 誠之 (NTT)  
 田川 和義 (立命館大)  
 多川 孝央 (九大)  
 武内 良典 (阪大)  
 武田 敦志 (東北学院大)  
 竹中 要一 (阪大)  
 田坂 和之 (KDDI 研)  
 田邊 勝義 (名桜大)  
 谷川 一哉 (広島市大)  
 谷口 義明 (阪大)  
 田原 康之 (電通大)

田村 直良 (横浜国大)	服部 正泰 (東京工科大)	峯 恒憲 (九大)
辻 秀一 (東海大)	馬場 秋繼 (NHK 放送技研)	宮尾 祐介 (NII)
土田 正士 (日立)	浜田 宏一 (日立)	宮奥 健人 (NTT)
土屋 雅稔 (豊橋技科大)	林 勇吾 (立命館大)	宮寺 庸造 (東京学芸大)
角山 正博 (新潟工科大)	原 健二 (九大)	宮本 直人 (東北大)
鶴岡 行雄 (NTT)	坂東 幸浩 (NTT)	三好 健文 (電通大)
田 学軍 (愛知県大)	日置 尋久 (京大)	村尾 和哉 (神戸大)
道家 守 (NHK 放送技研)	檜垣 泰彦 (千葉大)	村上登志男 (学習院大)
床井 浩平 (和歌山大)	東中竜一郎 (NTT)	村上 陽平 (NICT)
鳥羽美奈子 (日立)	日吉 久礎 (青学大)	村田 真樹 (鳥取大)
富澤 眞樹 (前橋工科大)	平山 勝敏 (神戸大)	村松 茂樹 (KDDI 研)
富山 宏之 (立命館大)	平山 雅之 (日大)	持橋 大地 (統計数理研)
中嶋 卓雄 (東海大)	深澤 佑介 (NTT ドコモ)	森 辰則 (横浜国大)
永田 智大 (NTT ドコモ)	深田 秀実 (小樽商科大)	森田 裕介 (早大)
中野 浩嗣 (広島大)	福田 直樹 (静岡大)	森山 甲一 (阪大)
中野 裕司 (熊本大)	福本 聡 (首都大)	屋代 智之 (千葉工大)
中原 啓貴 (九工大)	藤澤 誠 (筑波大)	山井 成良 (岡山大)
中村 勝一 (福島大)	藤田 悟 (法大)	八横 博史 (名大)
中村 友洋 (日立)	藤田 茂 (千葉工大)	山口 一章 (神戸大)
中村 直人 (千葉工大)	藤村 考 (NTT)	山口 佳樹 (筑波大)
中村 匡秀 (神戸大)	藤本 雅清 (NTT)	山地 一禎 (NII)
鍋島 英知 (山梨大)	船越孝太郎 (ホンダ RIJ)	山田 武士 (NTT)
鳴海 拓志 (東大)	古隅 弘樹 (兵庫県大)	山田 裕 (東芝)
南條 浩輝 (龍谷大)	保坂 忠明 (東理大)	山中 克久 (岩手大)
新見 道治 (九工大)	星野 聖 (筑波大)	山元 規靖 (福岡工大)
西 宏之 (崇城大)	細谷 英一 (NTT)	横山 重俊 (NII)
西崎 真也 (東工大)	程島 奈緒 (東海大)	吉岡 真治 (北大)
西出 隆志 (九大)	堀 幸雄 (香川大)	吉川 大弘 (名大)
西村 明 (東京情報大)	堀 洋平 (産総研)	吉澤 信 (理研)
西村 竜一 (NICT)	堀米 明 (フィジオ)	吉田 享子 (専大)
西本 浩 (三菱)	堀山 貴史 (埼玉大)	吉永 努 (電通大)
西山 莉紗 (日本 IBM)	曲谷 一成 (東海大)	吉見 航介 (NEC)
沼尾 正行 (阪大)	梶井 文人 (北見工大)	吉本潤一郎
野一色裕人 (KDDI 研)	増原 英彦 (東大)	(沖縄科学技術研究基盤整備機構)
能登 肇 (NTT)	町田 欣史 (NTT データ)	若原 俊彦 (福岡工大)
野々部宏司 (法大)	松坂 要佐 (産総研)	鷲崎 早雄 (静岡産業大)
橋爪 正樹 (徳島大)	松崎 公紀 (高知工科大)	渡辺 健次 (佐賀大)
橋本 直 (JST)	松田 一朗 (東理大)	渡邊 豊英 (名大)
橋本 英樹 (名大)	松谷 宏紀 (慶大)	渡邊 伸行 (金沢工大)
橋本 正樹 (情報セキュリティ大)	松原 茂樹 (名大)	渡部 浩司 (阪大)
波多野賢治 (同志社大)	松村 耕平 (北陸先端大)	
畠山 一実 (奈良先端大)	満田 成紀 (和歌山大)	他 3名
八谷 大岳 (東工大)	三屋光史朗 (クウジット)	
服部 文夫 (立命館大)	御堂 義博 (阪大)	以上 計 286 名 (50 音順・敬称略)

## FIT 委員名簿

### FIT 推進委員会

IPSJ 委員長	水野忠則 (愛知工大)
IPSJ 副委員長	大田友一 (筑波大)
IPSJ 委員	茂木強 (三菱), 橋田浩一 (産総研), 岡田謙一 (慶大), 池内克史 (東大)
ISS 委員	北原格 (筑波大), 籠嶋岳彦 (東芝), 八木貴史 (NTT レゾナント), 宮野博義 (NEC 情報システムズ)
HCG 委員	湯浅将英 (電機大)
実行委員長	高橋修 (はこだて未来大 /FIT2011), 大田友一 (筑波大 /FIT2012)
プログラム委員長	井宮淳 (千葉大 /FIT2011), 橋田浩一 (産総研 /FIT2012)

### FIT2011 実行委員会

委員長	高橋修 (はこだて未来大)
幹事	片寄晴弘 (関学大 /IPSJ), 八木貴史 (NTT レゾナント /ISS)
会計幹事	茂木強 (三菱 /IPSJ), 根岸博康 (三菱 /ISS)
IPSJ 委員	大平茂輝 (名大), 来嶋秀治 (九大), 田中淳裕 (NEC), 中挾知延子 (東洋大), 中村宏 (東大), 畑山満則 (京大), 藤代一成 (慶大), 渡辺博芳 (帝京大)
ISS 委員	井澤淳 (電通大), 井宮淳 (千葉大), 上野洋史 (NEC), 北岡教英 (名大), 北原格 (筑波大), 佐藤洋一 (東大), 中尾敏康 (NEC), 浜口斉周 (NHK 放送技研), 横山昌平 (静岡大), 横山浩之 (KDDI 研)

### FIT2011 プログラム委員会

委員長	井宮淳 (千葉大)
幹事	中村宏 (東大 /IPSJ), 北原格 (筑波大 /ISS)
IPSJ 委員	飯田龍 (東工大), 岩井儀雄 (鳥取大), 片寄晴弘 (関学大), 金子格 (東京工芸大), 坂本大介 (東大), 関嶋政和 (東工大), 早川栄一 (拓殖大), 福井美佳 (東芝), 山口弘純 (阪大)
ISS 委員	石川冬樹 (NII), 大羽成征 (京大), 河内亮周 (東工大), 高田喜朗 (高知工科大), 三宅優 (KDDI 研), 八木貴史 (NTT レゾナント)
HCG 委員	蔵田武志 (産総研), 渋谷進 (大学評価・学位授与機構)

### FIT2011 担当委員

IPSJ 委員	阿部洋丈 (阪大), 飯田龍 (東工大), 石川孝明 (早大), 岩井儀雄 (鳥取大), 植原啓介 (慶大), 大平茂輝 (名大), 緒方淳 (産総研), 岡本真 (アカデミック・リソース・ガイド), 柏崎礼生 (東京藝大), 金井秀明 (北陸先端大), 金子格 (東京工芸大), 上地宏一 (大東文化大), 来嶋秀治 (九大), 北澤繁樹 (三菱), 坂田祐司 (NTT データ), 坂本大介 (東大), 佐藤寿倫 (福岡大), 関嶋政和 (東工大), 高田哲司 (電通大), 田坂和之 (KDDI 研), 田中淳裕 (NEC), 中野由章 (大阪電通大), 中挾知延子 (東洋大), 西崎真也 (東工大), 畑山満則 (京大), 浜中雅俊 (筑波大), 早川栄一 (拓殖大), 福井美佳 (東芝), 藤代一成 (慶大), 堀田一弘 (名城大), 三浦元喜 (九工大), 山口弘純 (阪大), 山室雅司 (NTT), 吉田浩章 (東大), Reijer Grimbergen (東京工科大), 若林伴典 (ベストシステムズ), 渡辺博芳 (帝京大)
ISS 委員	青木直史 (北大), 安達淳 (NII), 井口和久 (NHK 放送技研), 井澤淳 (電通大), 石川冬樹 (NII), 上野洋史 (NEC), 大羽成征 (京大), 岡田真人 (東大), 長名保範 (琉球大), 河内亮周 (東工大), 北岡教英 (名大), 北神正人 (千葉大), 栗原聡 (阪大), 佐藤洋一 (東大), 白銀純子 (東京女子大), 菅幹生 (千葉大), 高田喜朗 (高知工科大), 谷本茂明 (千葉工大), 中尾敏康 (NEC), 野地保 (東海大), 浜口斉周 (NHK 放送技研), 増市博 (富士ゼロックス), 三宅優 (KDDI 研), 宮寺庸造 (学芸大), 横山昌平 (静岡大), 横山浩之 (KDDI 研), 吉田正樹 (大阪電通大), 吉野孝 (和歌山大)
HCG 委員	岡崎哲夫 (北海道工大), 蔵田武志 (産総研), 渋谷進 (NIAD-UE), 若月大輔 (筑波技術大)

### FIT2011 現地実行委員会

委員長	高橋修 (はこだて未来大)
副委員長	松原仁 (はこだて未来大)
幹事	藤野雄一 (はこだて未来大), 白石陽 (はこだて未来大)
委員	伊藤恵 (はこだて未来大), 大場みち子 (はこだて未来大), 奥野拓 (はこだて未来大), 加納洋人 (函館短大), 神谷年洋 (はこだて未来大), 白勢政明 (はこだて未来大), 綱島由人 (函館大), 寺沢憲吾 (はこだて未来大), 戸田真志 (はこだて未来大), 長崎健 (はこだて未来大), 中村嘉隆 (はこだて未来大), 新美礼彦 (はこだて未来大), 野又淳司 (函館大), 林原和哉 (函館短大), 溝田 春夫 (函館大), 和田雅昭 (はこだて未来大)

この度のFIT開催にあたりましては、函館大学様・函館短期大学様よりキャンパスを会場としてご提供頂き誠にありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。